

**我孫子市子ども総合計画に係るニーズ調査
調査結果報告書**

令和6年3月

我孫子市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的と方法等について	1
2	当報告書の見方	1
II	調査結果	2
1	未就学児の保護者	2
(1)	子どもと家族の状況について	2
(2)	子どもの育ちをめぐる環境について	3
(3)	保護者の就労状況について	10
(4)	子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	17
(5)	地域の子育て支援事業の利用状況について	27
(6)	土曜日・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について	31
(7)	お子さんの病気の際の対応について	34
(8)	子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	40
(9)	育児休業や短時間勤務制度等、職場の両立支援制度について	44
(10)	小学校就学後の放課後等の過ごし方について	54
2	小学生の保護者	63
(1)	子どもと家族の状況について	63
(2)	子どもの育ちをめぐる環境について	64
(3)	保護者の就労状況について	69
(4)	病気の際の対応について	76
(5)	子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	82
(6)	子どもの放課後等の過ごし方について	86

I 調査の概要

1 調査の目的と方法等について

本調査は、令和7年度を初年度とする「第五次我孫子市子ども総合計画」の策定にあたり、就学前教育・保育サービスや地域の子どもの子育て支援事業について、実際に子育てに関わる市民の方の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、「利用量の見込み」を算出するために、調査を実施するものです。

(1) 調査対象者

未就学児童保護者及び小学生保護者

(2) 調査方法

WEBアンケートによるオンライン調査にて実施

(3) 調査期間

令和5年11月1日～12月31日

(4) 配付方法

①0歳～3歳（令和2年4月2日～令和5年11月1日生まれ）：郵送 2,355通

②3歳～6歳（年少～年長）：園を通じて配付 2,298通

③6歳～12歳（小学1年生～小学6年生）：学校を通じて配付 5,604通

(5) 回収結果

・未就学児 1,944件

・小学生 1,539件

2 当報告書の見方

○表中の「単一回答」とは、質問の回答肢から一つを選択、「複数回答」は回答肢から一つ以上を選択して回答する質問であることを表しています。

○グラフ中の「n」(net)とは、その質問への回答者数を表しています。

○調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出しているため、四捨五入の関係で合計が100.0%にならない場合があります。なお、「複数回答」では合計が100.0%を超える場合があります。

○クロス集計では性別・年齢といった質問の回答を回答者属性に設定し、属性ごとの回答の内訳を表しています。そのため、属性が得られなかった回答は対象外となるため、同じ質問であっても、単純集計とクロス集計の回答者数に差異が生じる場合があります。

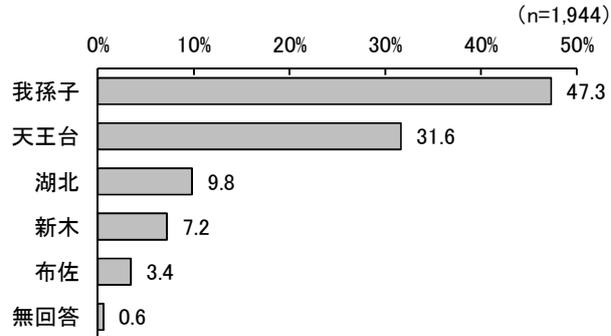
II 調査結果

1 未就学児の保護者

(1) 子どもと家族の状況について

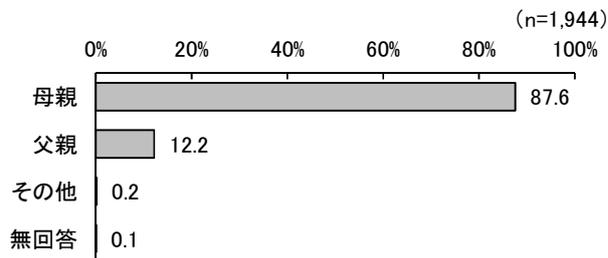
問1 あなたがお住まいの地区はどちらですか。

「我孫子」47.3%、「天王台」31.6%、「湖北」9.8%、「新木」7.2%、「布佐」3.4%となっています。



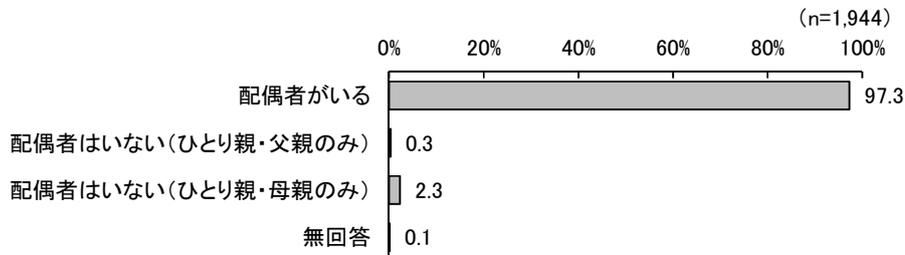
問2 この調査にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

「母親」87.6%、「父親」12.2%となっています。



問3 この調査にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

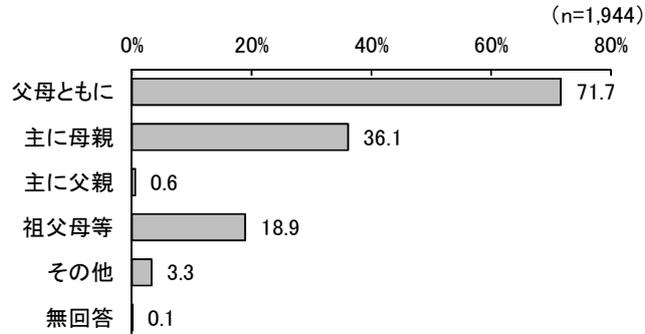
「配偶者がいる」97.3%、「配偶者がいない(ひとり親・母親のみ)」2.3%、「配偶者がいない(ひとり親・父親のみ)」0.3%となっています。



(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問4 お子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるものをすべて選んでください。

「父母ともに」71.7%、「主に母親」36.1%、「祖父母等」18.9%、「主に父親」0.6%となっています。



【子どもの年齢別】

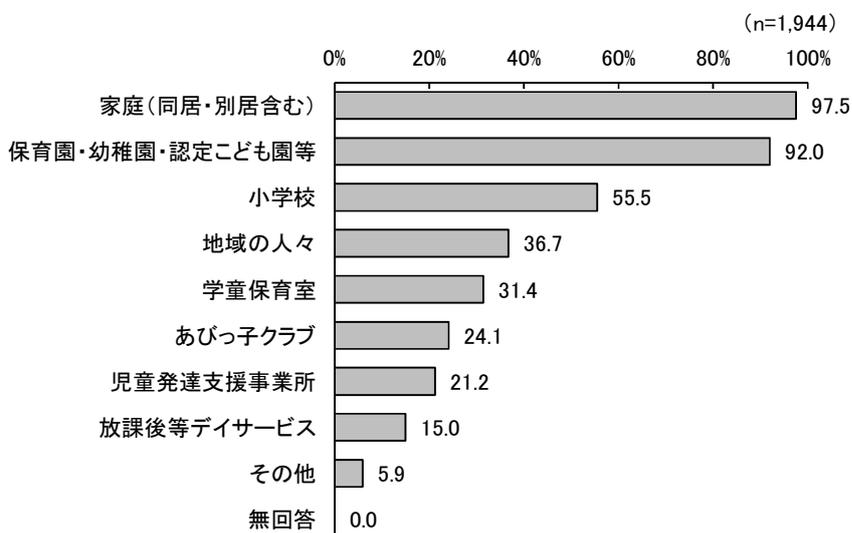
子どもの年齢別でみると、「父母ともに」は1～2歳79.3%、0歳74.1%、0～1歳73.0%となっています。「主に母親」は4～5歳40.2%、0～1歳39.2%、5～6歳38.5%となっています。「祖父母等」は4～5歳23.8%、0歳20.2%で2割を超えています。

単位: %

	(n=)	父母ともに	主に母親	主に父親	祖父母等	その他	無回答
0歳	263	74.1	34.6	0.4	20.2	3.4	0.8
0～1歳	237	73.0	39.2	0.4	13.9	2.5	0.0
1～2歳	266	79.3	33.5	0.4	19.9	5.3	0.0
2～3歳	337	71.5	32.6	1.5	18.7	3.3	0.0
3～4歳	276	68.8	34.4	0.7	19.2	2.5	0.0
4～5歳	244	69.3	40.2	0.0	23.8	2.0	0.0
5～6歳	260	67.3	38.5	0.4	16.9	3.5	0.0

問5 お子さんの子育てに影響すると思われる環境をすべて選んでください。

「家庭（同居・別居含む）」97.5%が最も多く、次いで「保育園・幼稚園・認定こども園等」92.0%、「小学校」55.5%、「地域の人々」36.7%、「学童保育室」31.4%、「あびっ子クラブ」24.1%、「児童発達支援事業所」21.2%、「放課後等デイサービス」15.0%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、「保育園・幼稚園・認定こども園等」は4～5歳97.5%、5～6歳96.9%、3～4歳95.7%、1～2歳91.0%となっています。

また、「地域の人々」は1～2歳41.0%でやや多く、「学童保育室」「あびっ子クラブ」は4～5歳及び5～6歳でやや多くなっています。

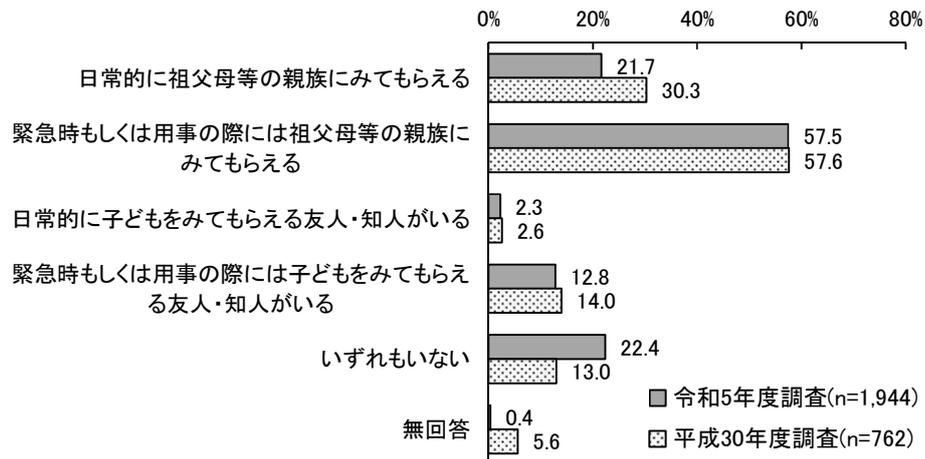
単位: %

年齢	(n=)	家庭 同居 別居 含む	保育園 幼稚園 認定こども園等	小学校	地域の人々	学童 保育室	あびっ子 クラブ	児童 発達 支援 事業 所	放課後等 デイサ ービス	その他	無 回 答
0歳	263	97.0	89.4	58.6	38.4	34.2	20.2	21.3	14.8	5.3	0.0
0～1歳	237	97.5	86.5	49.4	32.9	29.5	19.8	22.8	15.2	4.2	0.0
1～2歳	266	97.0	91.0	53.4	41.0	31.6	20.7	20.3	18.4	6.0	0.0
2～3歳	337	97.6	88.7	49.0	35.3	30.3	19.9	20.2	14.8	7.4	0.0
3～4歳	276	98.2	95.7	56.2	39.9	28.6	24.6	21.0	14.5	7.2	0.0
4～5歳	244	98.0	97.5	62.7	37.3	34.0	31.6	26.2	15.6	4.9	0.0
5～6歳	260	97.7	96.9	64.6	35.0	34.2	34.6	18.8	13.5	5.8	0.0

問6 日頃お子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。当てはまるものをすべて選んでください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」57.5%が最も多く、次いで「いずれもない」22.4%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」21.7%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」12.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が減り、「いずれもない」が10ポイント近く増えています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」は、0～1歳が61.2%と最も多くなっています。「いずれもない」は、1～2歳25.9%、0～1歳24.5%で多くなっています。

【地区別】

地区別でみると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は布佐が38.8%と最も多く、次いで湖北30.9%、新木27.1%が比較的多くなっています。「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」についても布佐7.5%が最も多くなっています。「いずれもない」は我孫子24.3%、天王台21.5%で2割を超えます。

単位: %

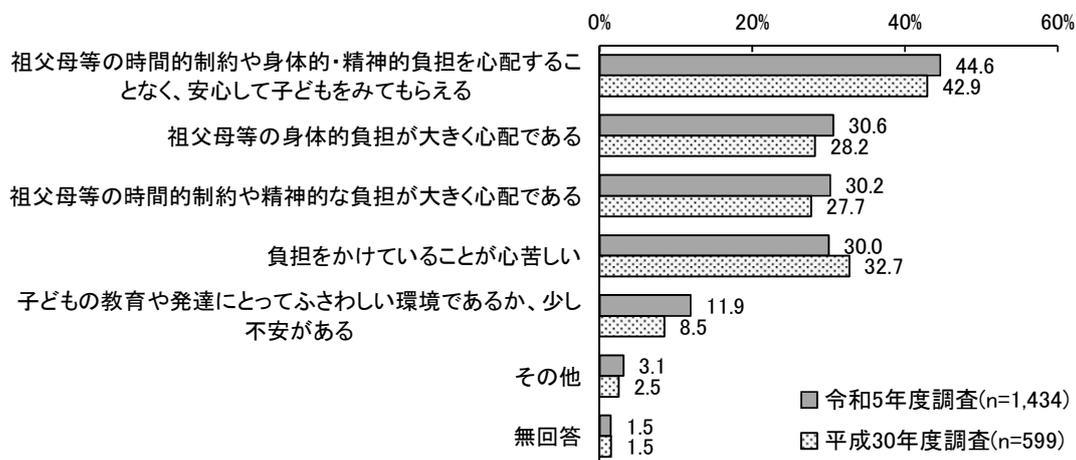
		(n=)	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
子どもの年齢	0歳	263	22.8	56.7	0.4	11.4	20.5	0.0
	0～1歳	237	16.0	61.2	1.3	11.4	24.5	0.0
	1～2歳	266	24.1	57.1	2.3	7.9	25.9	0.0
	2～3歳	337	20.5	59.3	2.7	12.2	20.5	0.6
	3～4歳	276	23.2	58.3	2.9	13.0	21.7	0.0
	4～5歳	244	26.2	52.9	1.2	14.3	21.3	1.6
	5～6歳	260	18.5	58.1	4.6	19.6	20.8	0.4
地区	我孫子	920	18.4	56.8	1.4	12.4	24.3	0.5
	天王台	615	20.8	58.7	2.8	12.4	21.5	0.5
	湖北	191	30.9	58.6	2.1	18.8	18.3	0.0
	新木	140	27.1	59.3	3.6	11.4	18.6	0.0
	布佐	67	38.8	50.7	7.5	9.0	17.9	0.0

問6で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した方

問6-1 親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまるものをすべて選んでください。

「祖父母等の時間的制約や身体的・精神的負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」44.6%が最も高く、次いで、ほとんど差がなく「祖父母等の身体的負担が大きく心配である」30.6%、「祖父母等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」30.2%、「負担をかけていることが心苦しい」30.0%と続き、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」11.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母等の時間的制約や身体的・精神的負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」「祖父母等の身体的負担が大きく心配である」「祖父母等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」いずれもやや増えています。また、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」もやや増えています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、「祖父母等の時間的制約や身体的・精神的負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」は、0歳の51.3%が他の年代を上回ります。また、祖父母等の負担の心配は、1歳以上でやや多く、「負担を掛けていることが心苦しい」は4～5歳33.1%が最も多くなっています。

単位: %

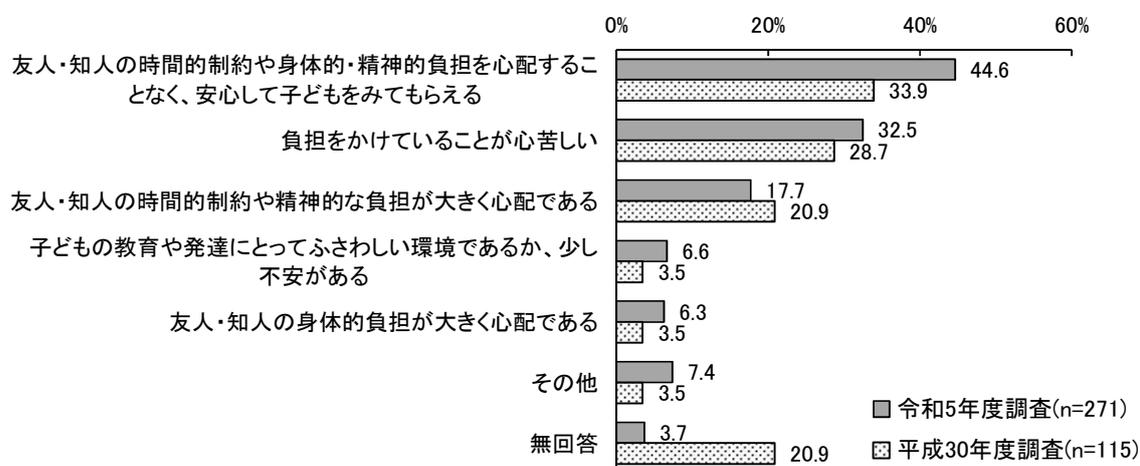
	(n=)	祖父母等の時間的制約や身体的・精神的負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	祖父母等の身体的負担が大きく心配である	祖父母等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	負担を掛けていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
0歳	197	51.3	26.4	27.4	29.9	10.7	2.5	2.0
0～1歳	172	45.9	26.2	27.3	29.7	12.8	5.8	1.2
1～2歳	194	46.4	31.4	30.9	28.9	11.9	3.6	1.5
2～3歳	255	44.3	34.9	29.8	28.6	8.6	1.6	0.8
3～4歳	207	42.0	28.0	35.7	31.9	13.0	3.9	1.0
4～5歳	181	39.2	32.6	28.2	33.1	12.7	2.2	2.2
5～6歳	189	41.3	32.8	31.2	29.6	14.3	3.7	2.1

問6で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した方

問6-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまるものをすべて選んでください。

「友人・知人の時間的制約や身体的・精神的負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」44.6%が最も高く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」32.5%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」17.7%、となっています。

平成30年度調査と比較すると、「友人・知人の時間的制約や身体的・精神的負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」は、10ポイント以上増えています。また、「負担をかけていることが心苦しい」「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」いずれも増えています。唯一、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」は、やや減っています。



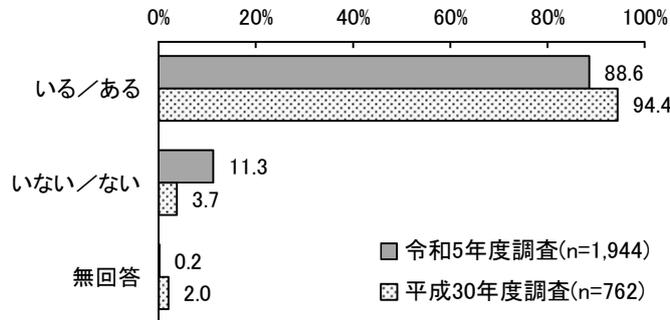
【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、「負担をかけていることが心苦しい」は、3～4歳が48.8%と高く、次いで5～6歳38.6%、0～1歳34.5%となっています。

		単位:%						
	(n=)	子どもをみてもらえる友人・知人の時間的制約や身体的・精神的負担を心配することなく、安心して	友人・知人の身体的負担が大きく心配である	友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
0歳	31	41.9	6.5	25.8	29.0	9.7	9.7	0.0
0～1歳	29	34.5	6.9	13.8	34.5	6.9	6.9	3.4
1～2歳	23	56.5	4.3	21.7	8.7	8.7	8.7	4.3
2～3歳	44	56.8	2.3	4.5	27.3	6.8	6.8	4.5
3～4歳	41	31.7	7.3	19.5	48.8	7.3	7.3	4.9
4～5歳	36	47.2	11.1	19.4	27.8	8.3	5.6	5.6
5～6歳	57	42.1	7.0	22.8	38.6	3.5	5.3	3.5

問7 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所
はありますか。

「いる／ある」が88.6%、「いない／ない」が11.3%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「いる／ある」は減り、「いない／ない」が増えています。

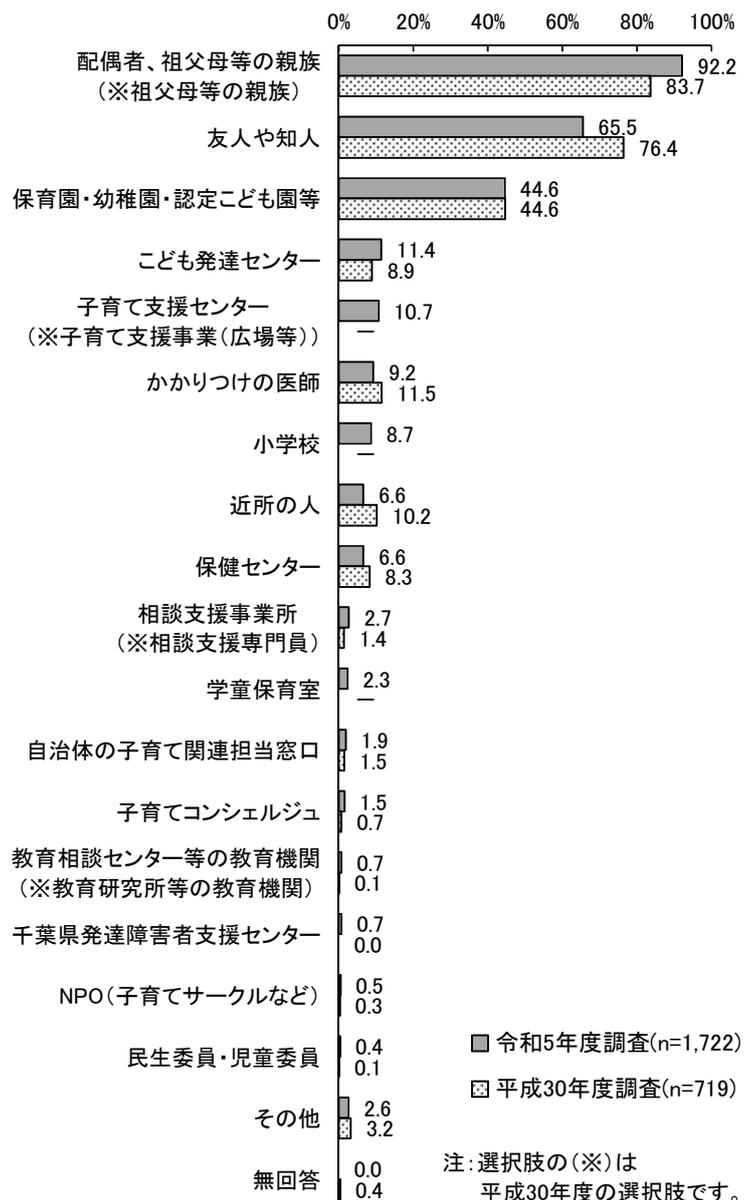


問7で「いる／ある」と回答した方

問7-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまるものをすべて選んでください。

「配偶者、祖父母等の親族」92.2%、
「友人や知人」65.5%、「保育園・幼稚園・認定こども園等」44.6%、次は差があつて「こども発達センター」11.4%、「子育て支援センター」10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「配偶者、祖父母等の親族」が増え、「友人や知人」「近所の人」などが減っています。



注：選択肢の(※)は平成30年度の選択肢です。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、年齢が上がるにつれ「保育園・幼稚園・認定こども園等」が増え、3～4歳以上では5割を超えます。「子育て支援センター」は0～3歳で、「こども発達センター」は2歳以上で多くなっています。

単位：％

	(n=)	親族 配偶者 祖父母等の	友人や知人	保育園 幼稚園 認定こども園等	こども発達センター	子育て支援センター	かかりつけの医師	小学校	近所の人	保健センター	相談支援事業所
0歳	229	93.0	69.9	25.8	6.6	16.2	10.0	3.5	6.6	11.4	1.7
0～1歳	208	93.8	61.5	31.3	5.8	19.7	12.5	3.8	4.8	7.7	3.4
1～2歳	230	93.0	63.0	43.5	7.8	16.5	12.2	4.8	5.2	7.4	0.0
2～3歳	294	92.2	66.0	46.6	11.6	10.5	8.2	8.2	5.8	6.8	4.8
3～4歳	252	91.3	63.5	56.0	17.9	5.6	5.6	14.7	8.7	5.2	4.0
4～5歳	218	90.8	63.3	54.6	18.8	5.0	8.7	12.4	6.4	4.1	2.3
5～6歳	235	90.2	70.6	51.1	11.9	3.0	8.9	12.3	8.5	3.8	2.6

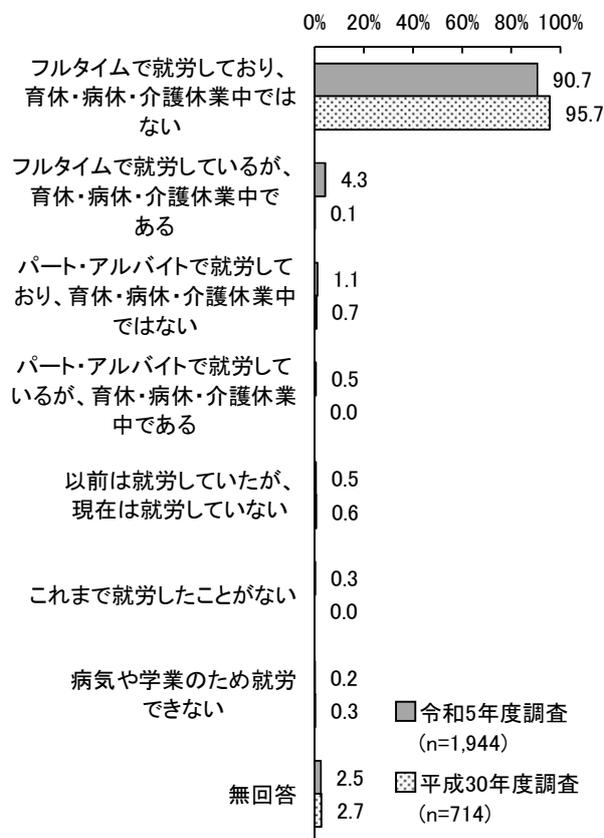
	(n=)	学童保育室	自治体の子育て関連 担当窓口	子育てコンシェルジュ	教育相談センター等の 教育機関	千葉県発達障害者 支援センター	その他 子育てサークル など	民生委員 児童委員	その他	無回答
0歳	229	1.3	0.9	1.7	0.9	0.9	0.4	0.4	2.2	0.0
0～1歳	208	1.9	2.4	1.9	0.5	0.5	0.5	1.0	2.4	0.0
1～2歳	230	1.7	0.9	2.2	0.9	0.4	0.4	0.0	2.2	0.0
2～3歳	294	2.0	3.1	1.7	0.7	0.3	0.7	0.7	3.7	0.0
3～4歳	252	3.2	2.4	1.2	0.8	0.4	0.0	0.8	3.6	0.0
4～5歳	218	3.7	1.4	0.5	0.9	0.9	0.0	0.0	0.5	0.0
5～6歳	235	2.6	1.7	1.3	0.4	1.3	1.3	0.0	3.8	0.0

(3) 保護者の就労状況について

問8 保護者の現在の就労状況について、当てはまるものを選んでください。

①父親

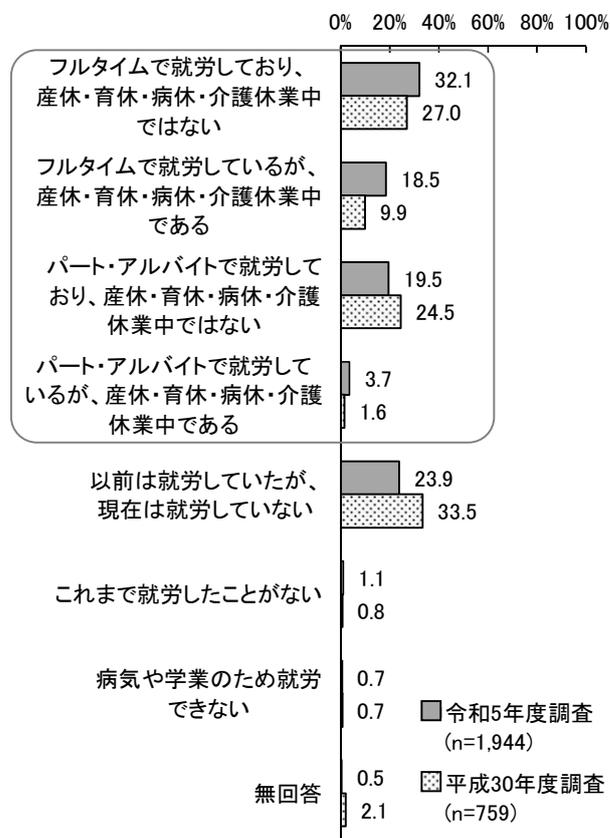
「フルタイムで就労しており、育休・病休・介護休業中ではない」が90.7%となっています。「フルタイムで就労しているが、育休・病休・介護休業中である」は増加しています。



②母親

就労している母親（グラフの囲み部分）は73.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、就労している母親は10.8ポイント増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は9.6ポイント減少しています。また、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・病休・介護休業中である」は8.8ポイント増加しています。

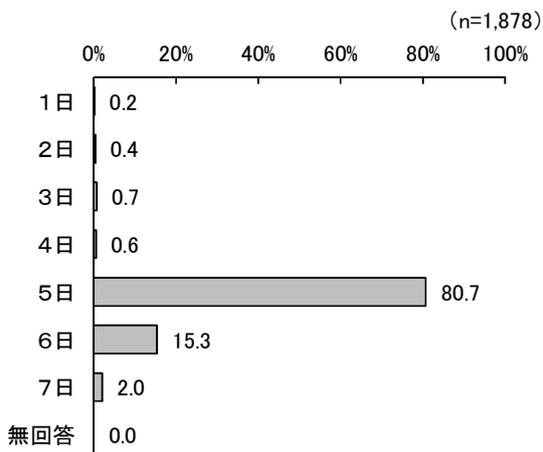


問8で「フルタイムで就労しており、(産休・)育休・病休・介護休業中ではない」から「パート・アルバイトで就労しているが、(産休・)育休・病休・介護休業中である」と回答した方(問8-4まで同様)

問8-1 1週当たりの就労日数(土日・祝日を含む)は何日ですか。就労日数が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

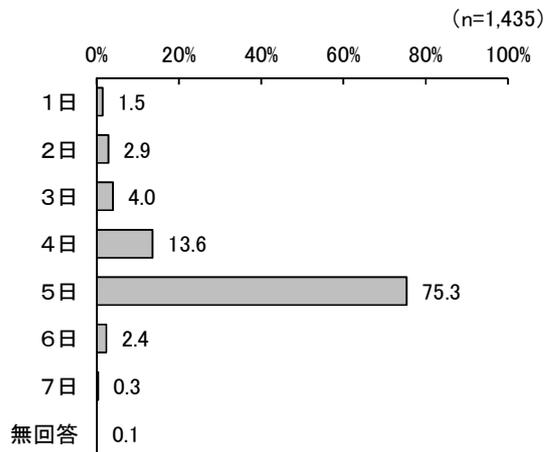
①父親

「5日」が80.7%、次いで「6日」15.3%となっています。



②母親

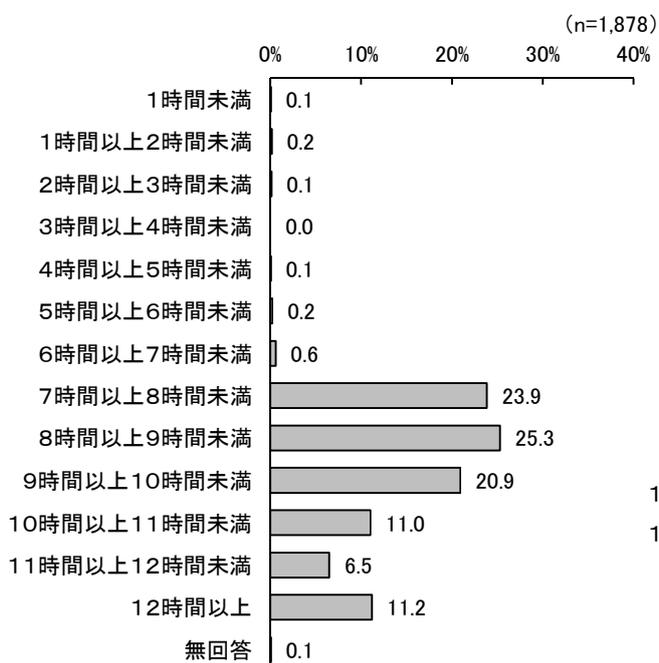
「5日」が75.3%、次いで「4日」13.6%となっています。



問8-2 1日当たりの勤務時間(残業時間を含む)は何時間ですか。勤務時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

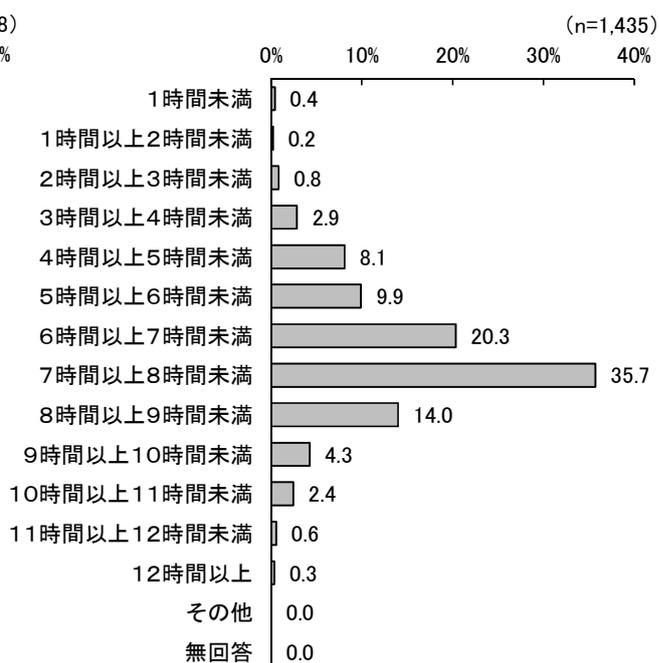
①父親

「8時間以上9時間未満」25.3%、「7時間以上8時間未満」23.9%、「9時間以上10時間未満」20.9%となっています。



②母親

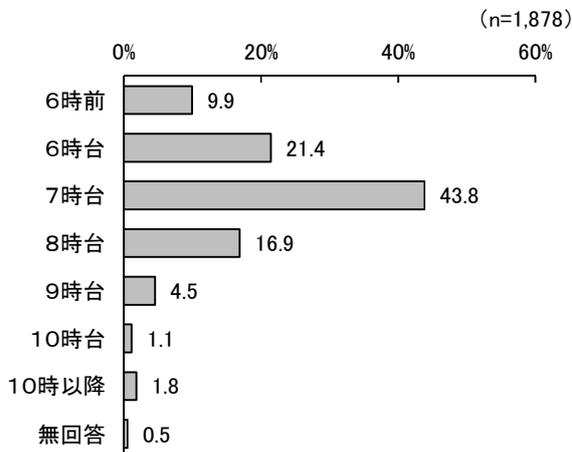
「7時間以上8時間未満」35.7%、「6時間以上7時間未満」20.3%、「8時間以上9時間未満」14.0%となっています。



問8-3 家を出る時間は何時ですか。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

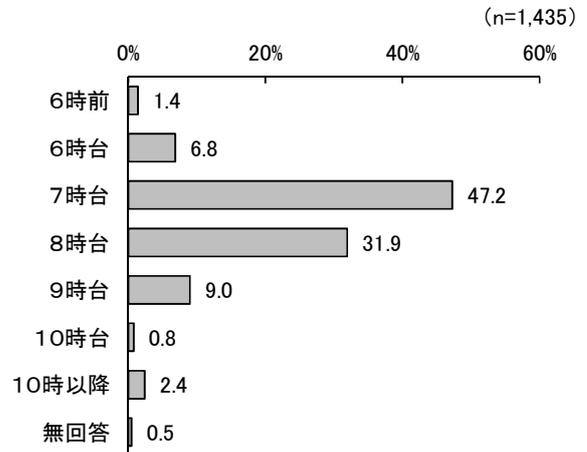
①父親

「7時台」43.8%、「6時台」21.4%、「8時台」16.9%となっています。



②母親

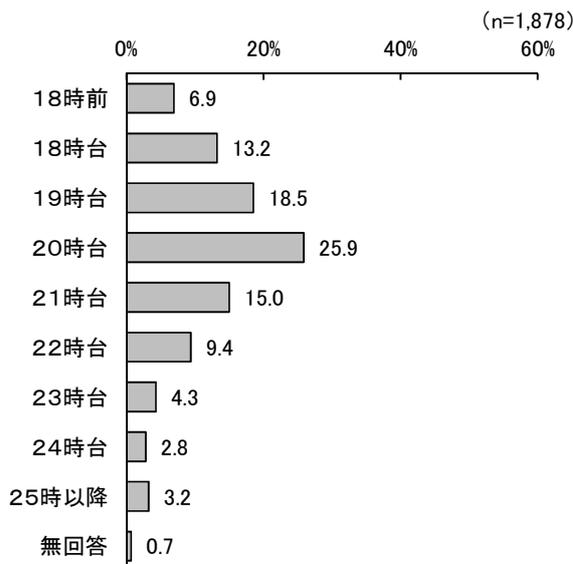
「7時台」47.2%、「8時台」31.9%、「9時台」9.0%となっています。



問8-4 帰宅時間は何時ですか。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

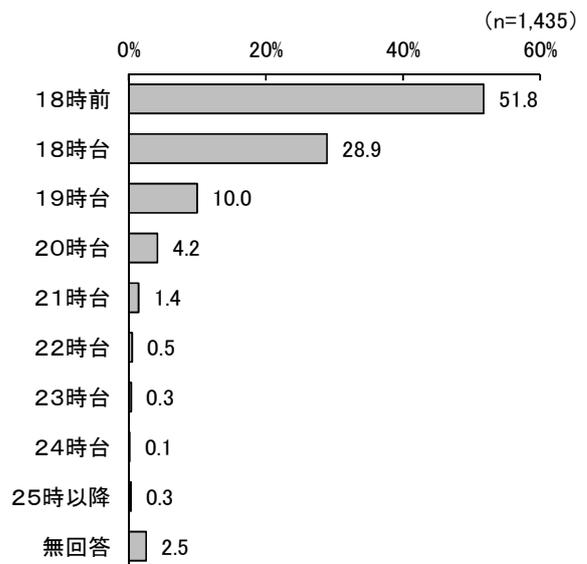
①父親

「20時台」25.9%、「19時台」18.5%、「21時台」15.0%、「18時台」13.2%となっています。



②母親

「18時前」51.8%、「18時台」28.9%、「19時台」10.0%となっています。

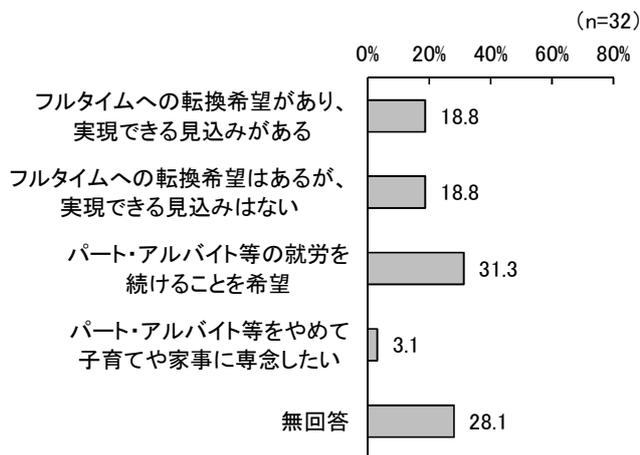


問8で「パート・アルバイトで就労しており、(産休・)育休・病休・介護休業中ではない」「パート・アルバイトで就労しているが、(産休・)育休・病休・介護休業中である」と回答した方

問8-5 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまるものを選んでください。

①父親

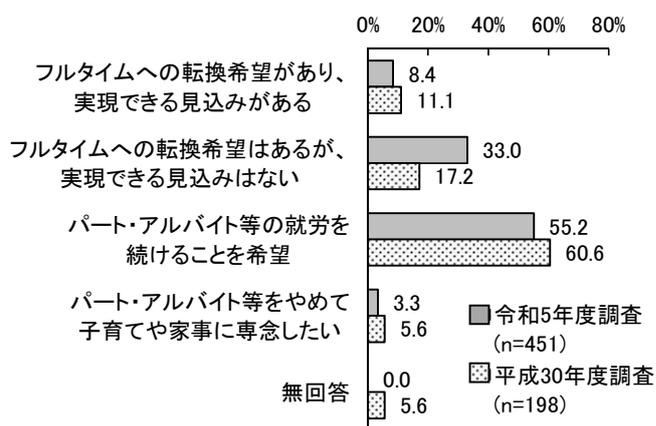
「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」とともに6件、各18.8%となっています。「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が10件、31.3%となっています。



②母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が55.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」33.0%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」8.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は減少しており、フルタイムへの転換希望は見込みにかかわらず増加しています。

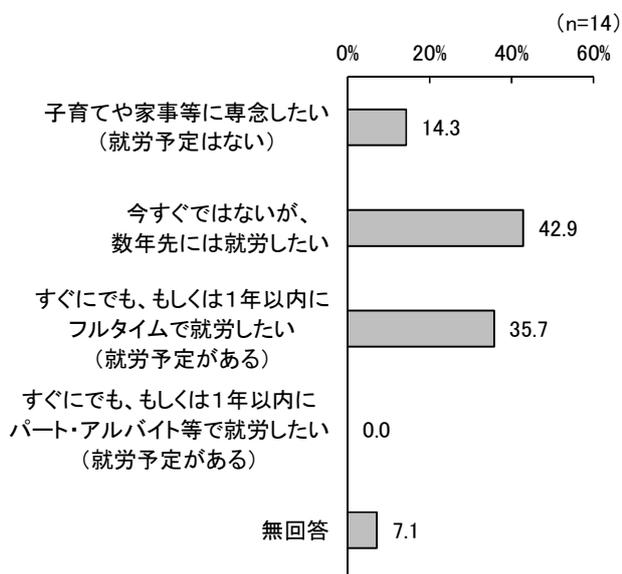


問8で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と回答した方

問8-6 就労したいという希望はありますか。当てはまるものを選んでください。

①父親

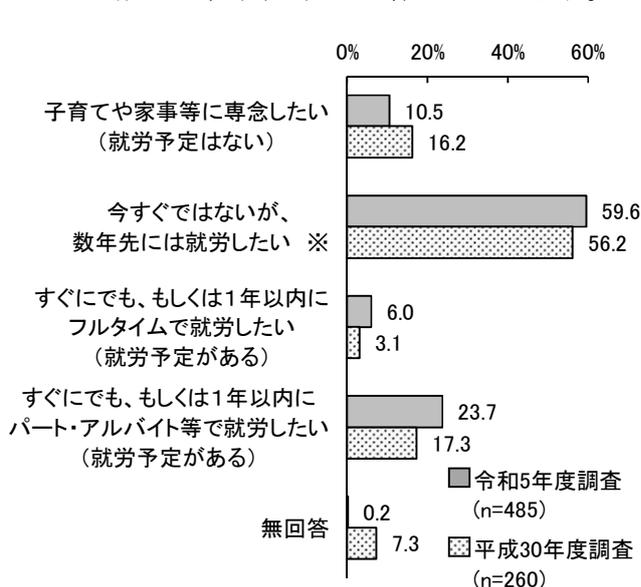
「今すぐではないが、数年先には就労したい」6件、42.9%、「すぐにでも、もしくは1年以内にフルタイムで就労したい（就労予定がある）」が5件、35.7%となっています。



②母親

「今すぐではないが、数年先には就労したい」59.6%、「すぐにでも、もしくは1年以内にパート・アルバイト等で就労したい（就労予定がある）」23.7%、「子育てや家事等に専念したい（就労予定はない）」10.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事等に専念したい（就労予定はない）」が減少し、就労希望が増加しています。



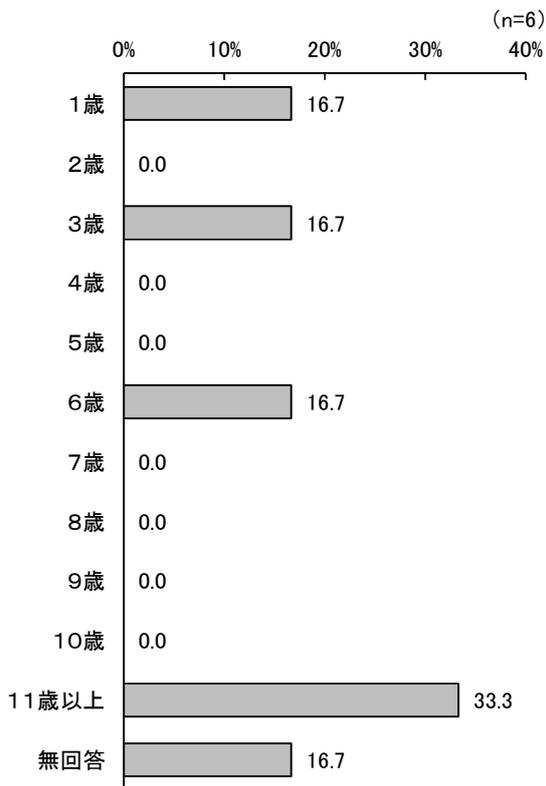
※平成30年度調査では、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」

問8-6で「今すぐではないが、数年先には就労したい」と回答した方

問8-7 一番下の子どもが何歳になったところに就労したいですか。

①父親

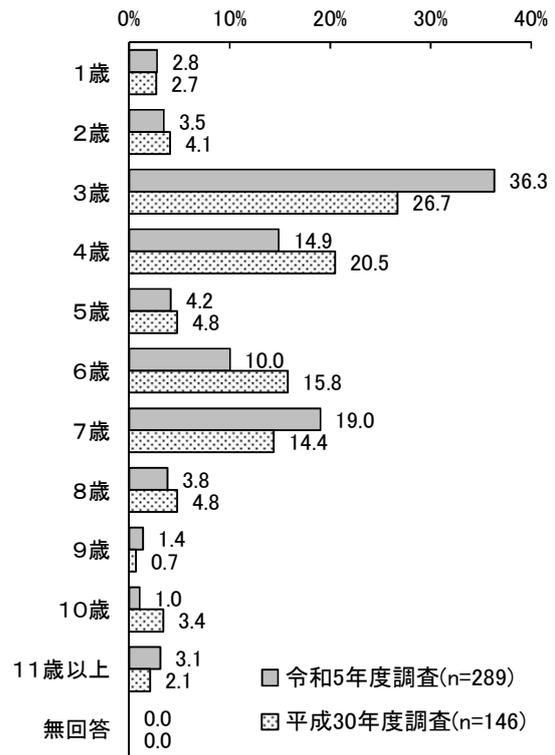
「11歳以上」が2件、「1歳」「3歳」「6歳」がそれぞれ1件となっています。



②母親

「3歳」36.3%が最も高く、次いで「7歳」19.0%、「4歳」14.9%、「6歳」10.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3歳」「7歳」が増加し、「4歳」「6歳」が減少しています。



問8-6で「すぐにでも、もしくは1年以内にパート・アルバイト等で就労したい（就労予定がある）」と回答した方

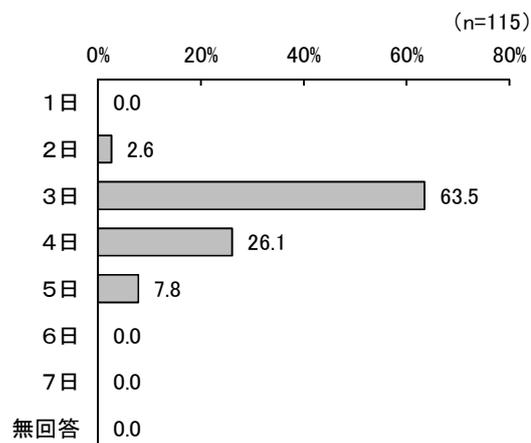
問8-8 希望する就労形態は1週当たり何日ですか。

①父親

有効回答はありません。

②母親

「3日」63.5%、「4日」26.1%となっています。



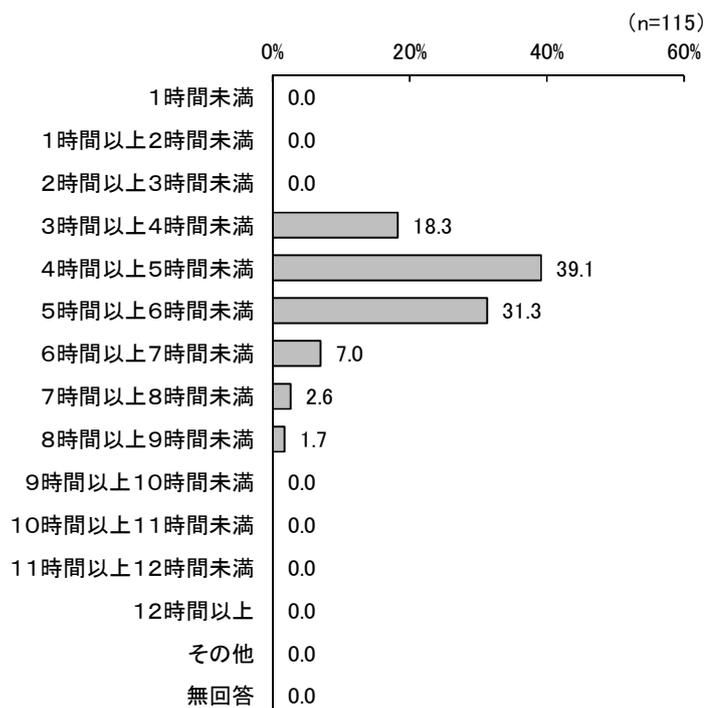
問8-9 希望する就労形態は1日当たり何時間ですか。

①父親

有効回答はありません。

②母親

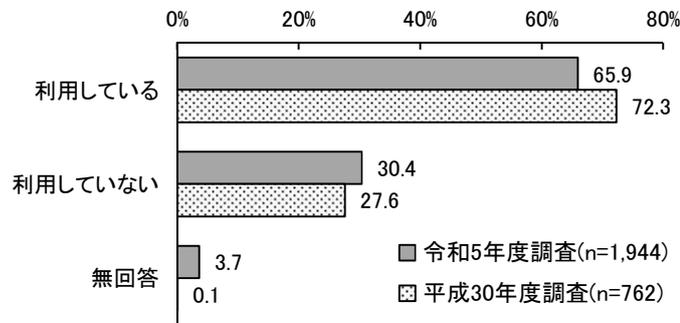
「4時間以上5時間未満」39.1%、「5時間以上6時間未満」31.3%、「3時間以上4時間未満」18.3%となっています。



(4) 子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問9 お子さんは現在、幼稚園や保育園等の「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

「利用している」65.9%、「利用していない」30.4%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「利用している」が減っています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、年齢が上がるにつれ「利用している」が高くなっています。

【地域別】

地区別でみると、新木で「利用していない」が40.0%と多くなっています。

単位：%

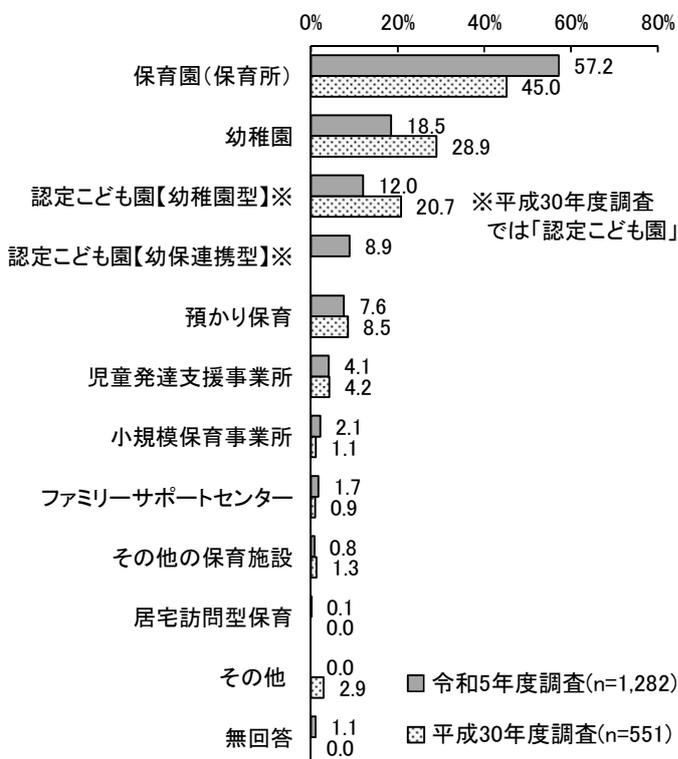
		(n=)	利用している	利用していない	無回答
子どもの年齢	0歳	263	9.5	88.2	2.3
	0～1歳	237	35.9	63.7	0.4
	1～2歳	266	59.8	39.8	0.4
	2～3歳	337	73.6	26.1	0.3
	3～4歳	276	97.1	2.9	0.0
	4～5歳	244	97.5	1.6	0.8
	5～6歳	260	99.6	0.4	0.0
地区	我孫子	920	68.3	27.9	3.8
	天王台	615	64.9	32.0	3.1
	湖北	191	64.4	29.3	6.3
	新木	140	57.9	40.0	2.1
	布佐	67	67.2	29.9	3.0

問9で「利用している」と回答した方（問11-7まで同様）

問9-1 平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまるものをすべて選んでください。

「保育園（保育所）」が57.2%と6割近くを占めています。次いで「幼稚園」18.5%、「認定こども園【幼稚園型】」12.0%、「認定こども園【幼保連携型】」8.9%、「預かり保育」7.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「保育園（保育所）」が10ポイント以上増えているのに対し、「幼稚園」は約10ポイントの減少となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、「保育園（保育所）」は0歳 84.0%、0～1歳 81.2%、1～2歳 79.9%、2歳 66.1%、3歳以降になると5割を割り込みます。

「認定こども園【幼稚園型】」は3～4歳 21.6%、4～5歳 15.5%、5～6歳 14.7%であり、「認定こども園【幼保連携型】」は2～3歳及び4～5歳でともに10.1%となっています。「幼稚園」は3～4歳 24.3%、4～5歳 30.7%、5～6歳 29.7%となっています。

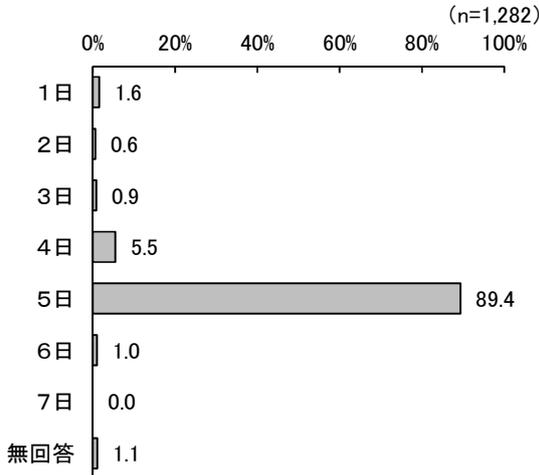
単位：%

	(n=)	保育園 保育所	幼稚園	認定こども園 【幼稚園型】	認定こども園 【幼保連携型】	預かり 保育	児童発達 支援事業 所	小規模 保育事業 所	ファミ リサポ ートセ ンター	その 他の 保育 施設	居 宅 訪 問 型 保 育	その 他	無 回 答
0歳	25	84.0	8.0	4.0	0.0	4.0	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0
0～1歳	85	81.2	2.4	0.0	7.1	3.5	0.0	5.9	5.9	1.2	0.0	0.0	1.2
1～2歳	159	79.9	0.0	1.3	7.5	1.9	0.6	4.4	3.8	3.8	0.0	0.0	0.6
2～3歳	248	66.1	7.3	7.3	10.1	2.8	3.6	4.4	0.8	0.8	0.4	0.0	2.4
3～4歳	268	45.1	24.3	21.6	8.6	12.3	4.9	1.1	0.7	0.0	0.0	0.0	1.1
4～5歳	238	45.8	30.7	15.5	10.1	11.3	8.4	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.4
5～6歳	259	47.1	29.7	14.7	9.3	8.9	3.9	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.4

問9-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、最も多く利用している事業は、現在、1週当たり何日利用していますか。また、希望としては、1週当たり何日利用したいですか。

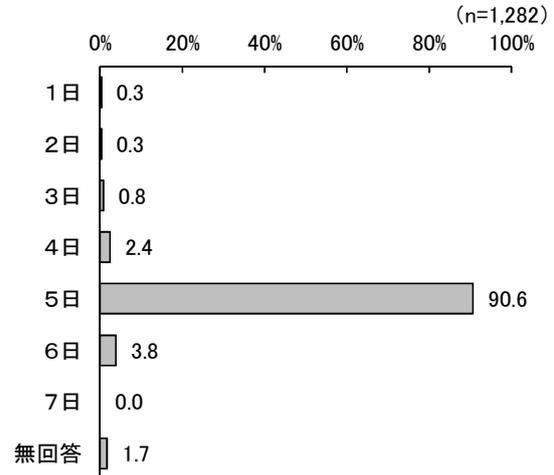
①現在

「5日」が89.4%と最も高くなっています。



②希望

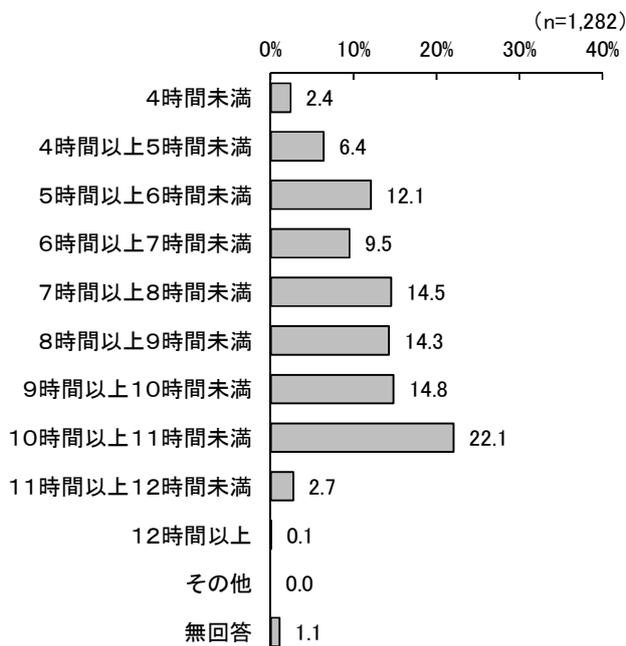
「5日」が90.6%と最も高くなっています。



問9-3 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、最も多く利用している事業は、現在、1日あたり何時間利用していますか。また、希望としては、1日あたり何時間利用したいですか。

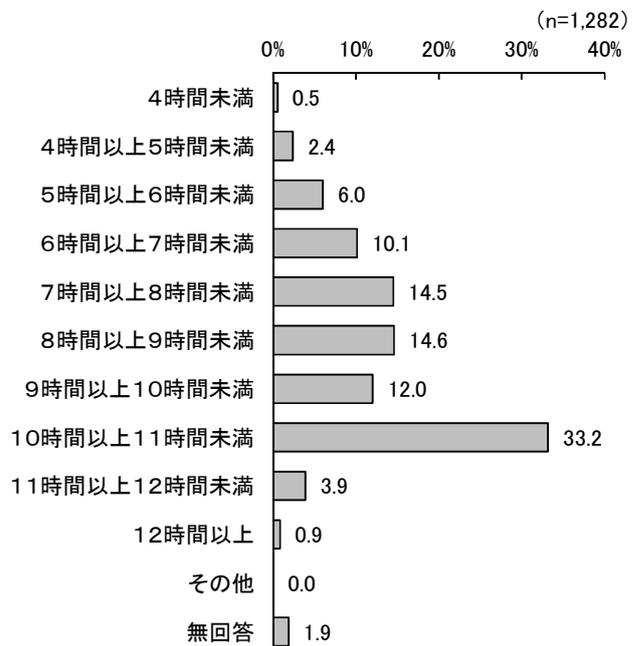
①現在

「10時間以上11時間未満」が22.1%、次いで「9時間以上10時間未満」14.8%、「7時間以上8時間未満」14.5%、「8時間以上9時間未満」14.3%、「5時間以上6時間未満」12.1%となっています。



②希望

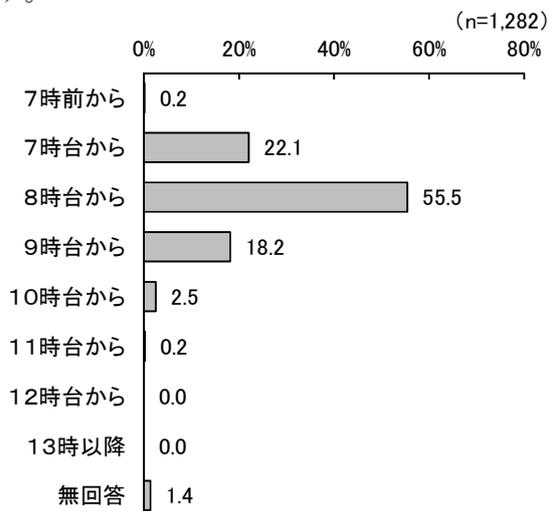
「10時間以上11時間未満」33.2%、「8時間以上9時間未満」14.6%、「7時間以上8時間未満」14.5%、「9時間以上10時間未満」12.0%、「6時間以上7時間未満」10.1%となっています。



問9-4 平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、最も多く利用している事業は、現在、何時から利用していますか。また、希望としては、何時から利用したいですか。

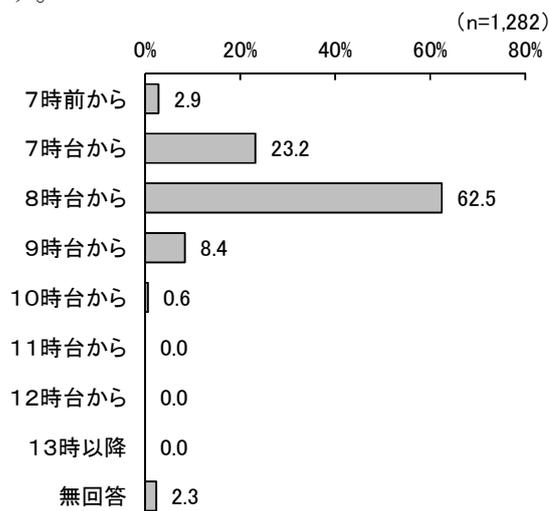
①現在

「8時台から」55.5%、「7時台から」22.1%、「9時台から」18.2%となっています。



②希望

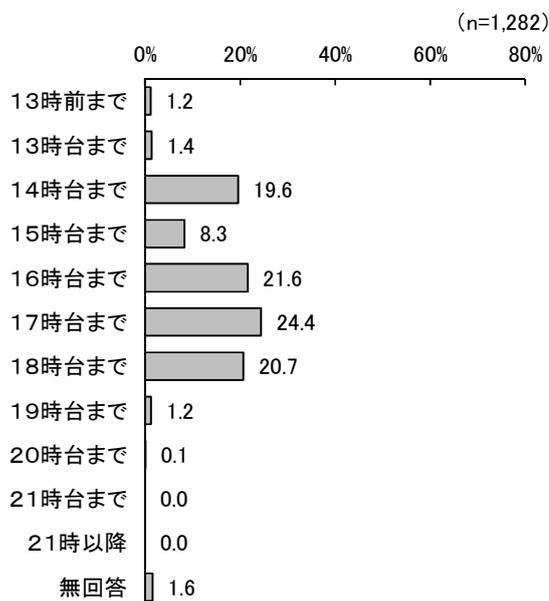
「8時台から」62.5%、「7時台から」23.2%、「9時台から」8.4%となっています。



問9-5 平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、最も多く利用している事業は、現在、何時まで利用していますか。また、希望としては、何時まで利用したいですか。

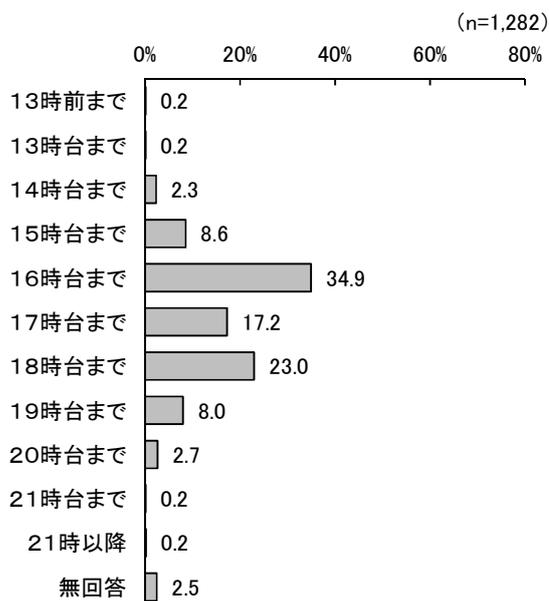
①現在

「17時台まで」24.4%、「16時台まで」21.6%、「18時台まで」20.7%、「14時台まで」19.6%となっています。



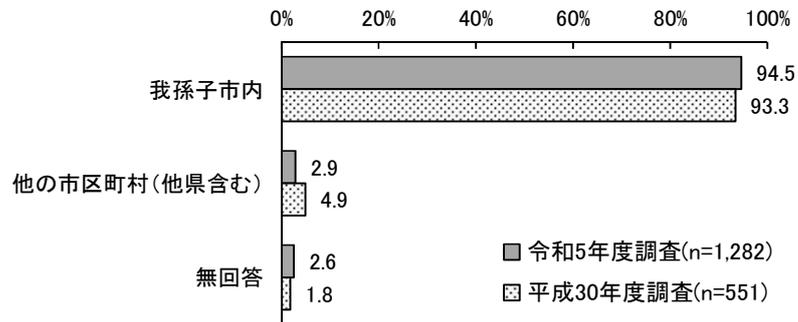
②希望

「16時台まで」34.9%、「18時台まで」23.0%、「17時台まで」17.2%となっています。



問9-6 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。

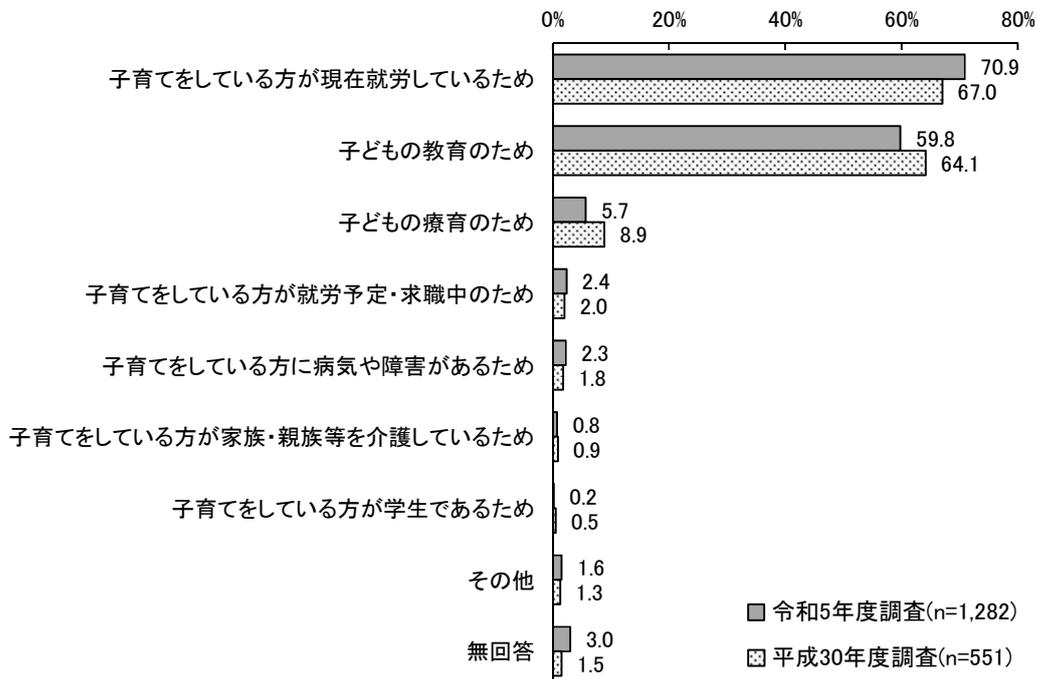
「我孫子市内」が94.5%、「他の市区町村（他県含む）」2.9%となっています。



問9-7 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由をうかがいます。主な理由として当てはまるものをすべて選んでください。

「子育てをしている方が現在就労しているため」が70.9%、7割、「子どもの教育のため」が59.8%、6割となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てをしている方が現在就労しているため」が増加、「子どもの教育のため」が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、「子育てをしている方が現在就労しているため」は、1～2歳 92.5%、0～1歳 83.5%、2～3歳 78.6%で多く、他の年代は6割台となっています。「子どもの教育のため」は、5～6歳 70.3%、4～5歳 67.2%となっています。0歳はいずれも 60.0%です。

単位：%

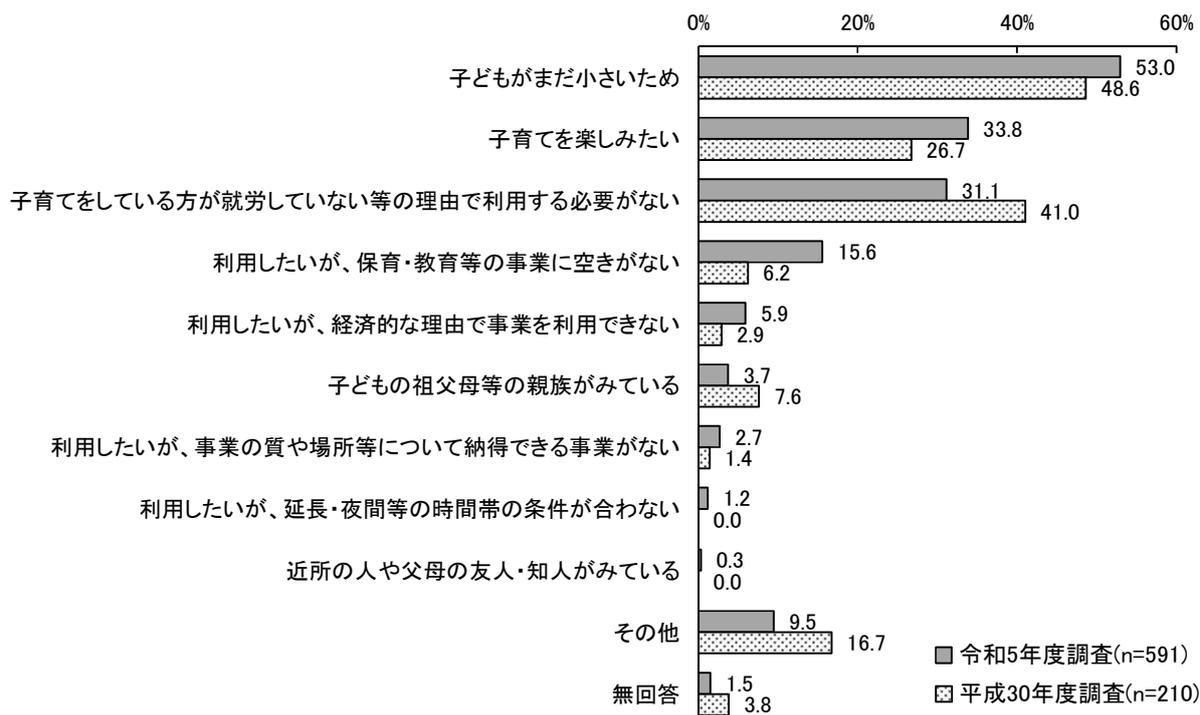
	(n=)	子育てをしている方が 現在就労しているため	子どもの教育のため	子どもの療育のため	子育てをしている方が 就労予定 求職中のため	子育てをしている方に 病気や障害があるため	子育てをしている方が 家族 親族等を介護して いるため	子育てをしている方が 学生であるため	その他	無回答
0歳	25	60.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	20.0
0～1歳	85	83.5	48.2	3.5	3.5	2.4	0.0	0.0	1.2	2.4
1～2歳	159	92.5	42.1	1.9	0.6	3.8	0.6	0.0	2.5	2.5
2～3歳	248	78.6	52.0	6.0	2.4	2.8	1.6	0.4	3.6	3.2
3～4歳	268	66.0	64.6	7.1	1.1	2.6	1.1	0.0	0.7	3.7
4～5歳	238	61.8	67.2	8.8	3.8	1.3	0.8	0.4	0.4	1.3
5～6歳	259	60.6	70.3	4.6	3.5	1.5	0.0	0.0	1.2	2.7

問9で「利用していない」と回答した方

問9-8 利用していない理由をうかがいます。理由として当てはまるものをすべて選んでください。

「子どもがまだ小さいため」53.0%、「子育てを楽しみたい」33.8%、「子育てをしている方が就労していない等の理由で利用する必要がない」31.1%、「利用したいが、保育・教育等の事業に空きがない」15.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てをしている方が就労していない等の理由で利用する必要がない」は減っています。また、「子どもがまだ小さいため」や「子育てを楽しみたい」に加え、利用したいが利用できない回答も増えています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、「子どもがまだ小さいため」は0歳70.3%、0～1歳47.7%、2～3歳42.0%であり、「子育てを楽しみたい」は0歳28.9%ですが、0～1歳41.1%、2～3歳37.5%となっています。「利用したいが、保育・教育等の事業に空きがない」は3～4歳50.0%（ただし、件数は8件と少ない）、0～1歳21.9%、1～2歳18.9%、2～3歳15.9%となっています。

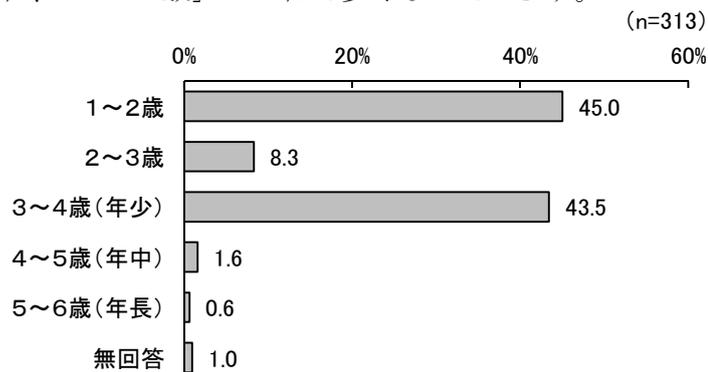
単位：%

	(n=)	子どもがまだ小さいため	子育てを楽しみたい	子育てをしている方が就労していない等の理由で利用する必要がない	子育てをしている方が保育・教育等の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	子どもの祖父母等の親族がみている	利用したいが、事業の質や場所等について納得できる事業がない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	近所の人や父母の友人・知人がみている	その他	無回答
0歳	232	70.3	28.9	22.8	9.1	2.6	2.6	2.2	0.4	0.0	5.6	2.6
0～1歳	151	47.7	41.1	33.8	21.9	7.3	2.0	2.0	0.7	0.7	8.6	0.0
1～2歳	106	36.8	32.1	43.4	18.9	10.4	6.6	3.8	0.9	0.0	14.2	1.9
2～3歳	88	42.0	37.5	37.5	15.9	8.0	6.8	4.5	4.5	1.1	12.5	1.1
3～4歳	8	0.0	12.5	12.5	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0
4～5歳	4	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
5～6歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問9-8で「子どもがまだ小さいため」と回答した方

問9-9 お子さんが何歳くらいになったら利用しようと考えていますか。

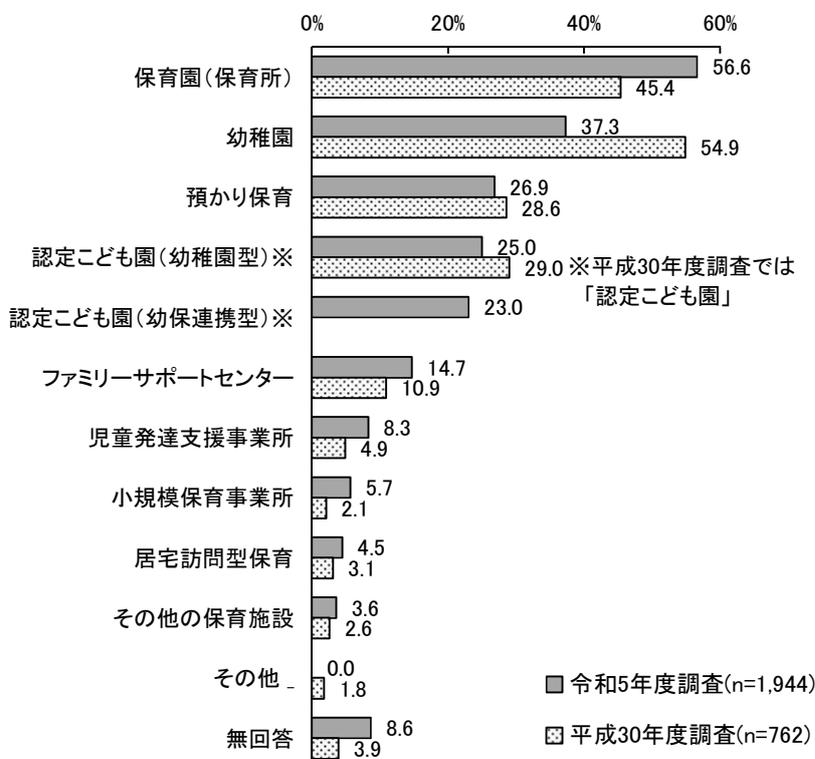
「1～2歳」45.0%、「3～4歳」43.5%で多くなっています。



問10 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまるものをすべて選んでください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

「保育園（保育所）」56.6%、次いで「幼稚園」37.3%、「預かり保育」26.9%、「認定こども園（幼稚園型）」25.0%、「認定こども園（幼保連携型）」23.0%、「ファミリーサポートセンター」14.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「保育園（保育所）」が増加し、「幼稚園」が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、「保育園（保育所）」がいずれの年齢も最も高く、なかでも0歳では79.8%と約8割があげています。

【地区別】

地区別でみると、「保育園（保育所）」がすべての地区で最も高く、なかでも天王台、我孫子では各59.3%、58.6%と6割近くとなっています。

単位：%

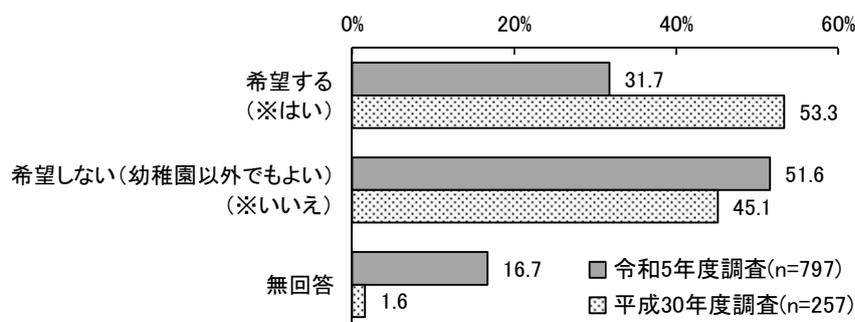
	(n=)	保育園 保育所	幼稚園	預かり 保育	認定こども園 幼稚園型	認定こども園 幼保連携型	ファミリー サポート センター	児童発達 支援事業所	小規模 保育事業所	居宅訪問型 保育	その他の 保育施設	その他	無回答
		子どもの年齢											
0歳	263	79.8	30.4	24.7	23.2	27.4	12.5	4.2	8.4	3.4	6.1	0.0	7.6
0～1歳	237	68.4	39.7	28.3	23.6	26.6	18.6	4.6	10.5	5.1	2.5	0.0	3.8
1～2歳	266	66.9	37.2	24.4	26.7	25.9	14.3	6.0	7.1	4.1	4.5	0.0	5.3
2～3歳	337	51.0	37.4	24.9	24.6	22.0	14.5	8.9	4.7	4.7	4.2	0.0	6.8
3～4歳	276	47.5	37.7	29.7	29.3	19.9	14.9	11.2	4.3	5.1	3.3	0.0	6.2
4～5歳	244	48.0	47.1	32.0	26.6	23.8	16.8	15.2	3.7	6.6	2.0	0.0	3.3
5～6歳	260	50.0	41.2	31.2	26.5	21.9	14.6	9.6	2.7	3.5	3.1	0.0	6.5
地区													
我孫子	920	58.6	39.1	28.0	25.1	19.0	17.6	8.0	5.2	4.0	3.5	0.0	8.6
天王台	615	59.3	36.6	27.8	23.1	23.3	12.5	9.8	7.2	5.9	3.3	0.0	8.5
湖北	191	46.1	34.0	24.6	26.2	36.1	9.4	6.8	5.2	4.2	6.3	0.0	12.0
新木	140	52.1	30.7	18.6	30.0	25.0	12.1	5.0	3.6	1.4	2.1	0.0	8.6
布佐	67	41.8	41.8	25.4	28.4	38.8	11.9	9.0	3.0	6.0	3.0	0.0	3.0

問10で「幼稚園」または「預かり保育」に○をつけ、かつ「保育園（保育所）」「認定こども園」からその他の保育施設にも○をつけた方

問10-1 特に幼稚園の利用を強く希望しますか。

「希望しない」51.6%が「希望する」31.7%を上回ります。

平成30年度と比較すると、「希望する」が減り、「希望しない」が増えています。



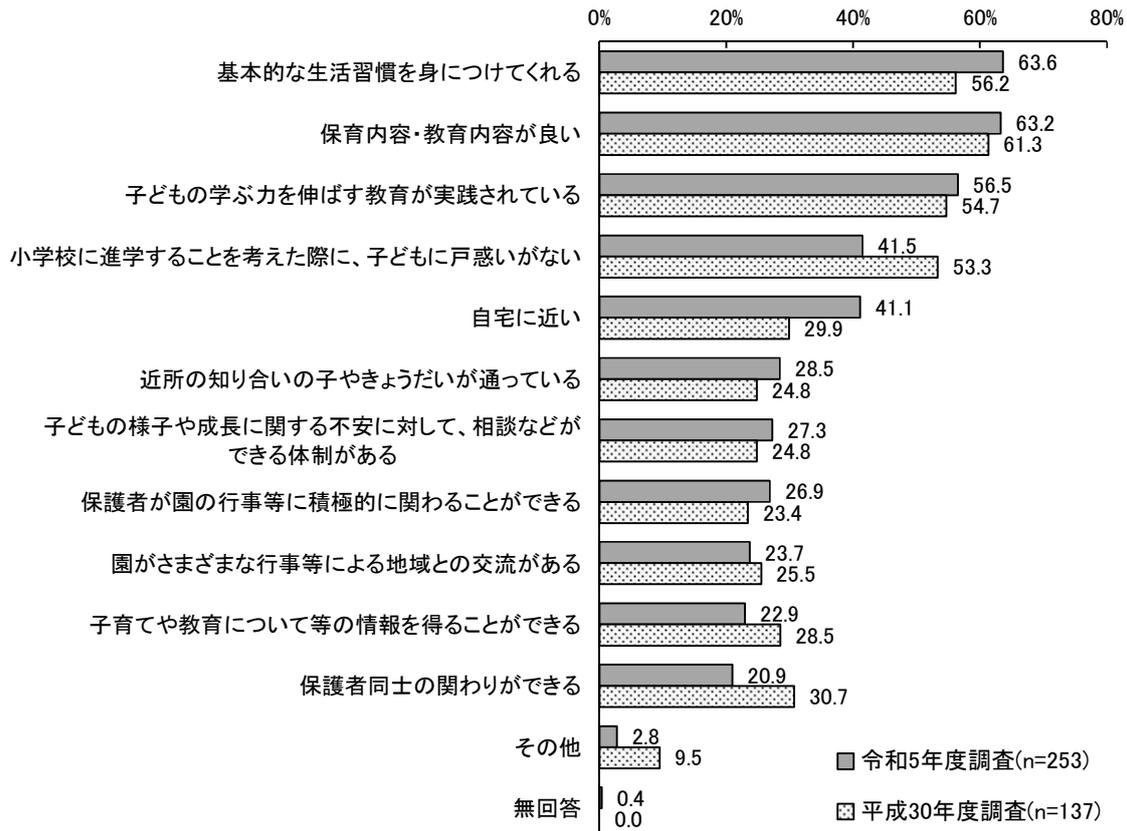
注：選択肢の(※)は平成30年度の選択肢です。

問 10-1 で「希望する」と回答した方

問 10-2 特に幼稚園を希望する理由をうかがいます。当てはまるものをすべて選んでください。

「基本的な生活習慣を身につけてくれる」が 63.6%、次いで「保育内容・教育内容が良い」63.2%、「子どもの学ぶ力を伸ばす教育が実践されている」56.5%となっています。

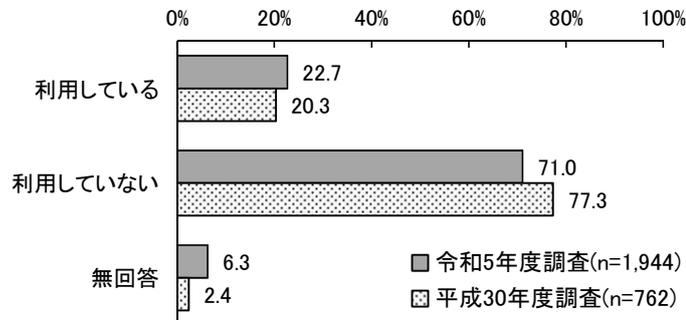
平成 30 年度調査と比較すると、「基本的な生活習慣を身につけてくれる」「自宅に近い」などが増え、「小学校に進学することを考えた際に、子どもに戸惑いがない」や「保護者同士の関わりができる」「園がさまざまな行事等による地域との交流がある」などは減っています。



(5) 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 11 現在、お子さんは子育て支援センターを利用していますか。

子育て支援センターを「利用している」22.7%、「利用していない」71.0%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「利用している」が増え、「利用していない」が減っています。



注:平成30年度は「子育て支援施設(広場)」

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、「利用している」は、0～1歳が最も高く40.5%、次いで1～2歳35.7%、0歳28.5%、2～3歳22.0%となっています。

【地区別】

地区別で見ると、「利用している」は布佐の17.9%を除いては、いずれの地区も2割台となっています。

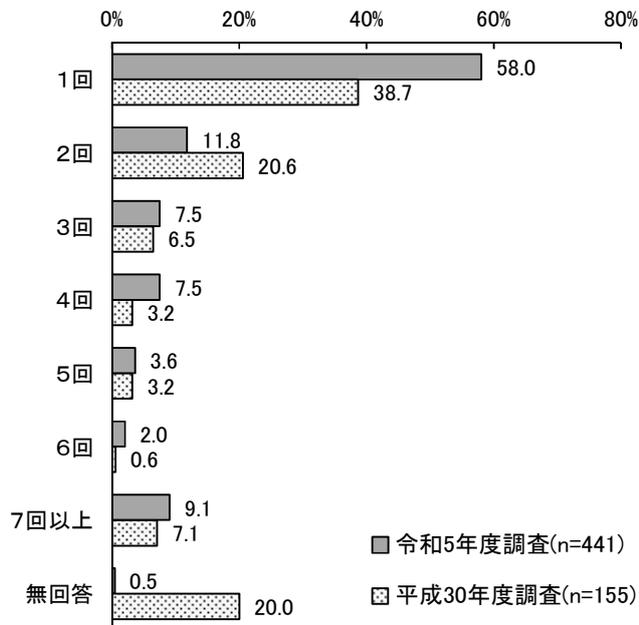
単位: %

		(n=)	利用している	利用していない	無回答
子どもの年齢	0歳	263	28.5	65.8	5.7
	0～1歳	237	40.5	57.8	1.7
	1～2歳	266	35.7	61.3	3.0
	2～3歳	337	22.0	74.5	3.6
	3～4歳	276	12.3	84.8	2.9
	4～5歳	244	14.8	82.8	2.5
	5～6歳	260	11.5	85.0	3.5
地区	我孫子	920	23.5	70.3	6.2
	天王台	615	22.8	71.2	6.0
	湖北	191	22.5	68.6	8.9
	新木	140	20.0	74.3	5.7
	布佐	67	17.9	77.6	4.5

問 11 で「利用している」と回答した方

問 11-1 現在、お子さんは子育て支援センターを1ヶ月あたりおおよそ何回利用していますか。

「1回」58.0%が最も高く、次いで「2回」11.8%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「1回」が増え、「2回」が減っていますが、「3回」以上はやや増えています。

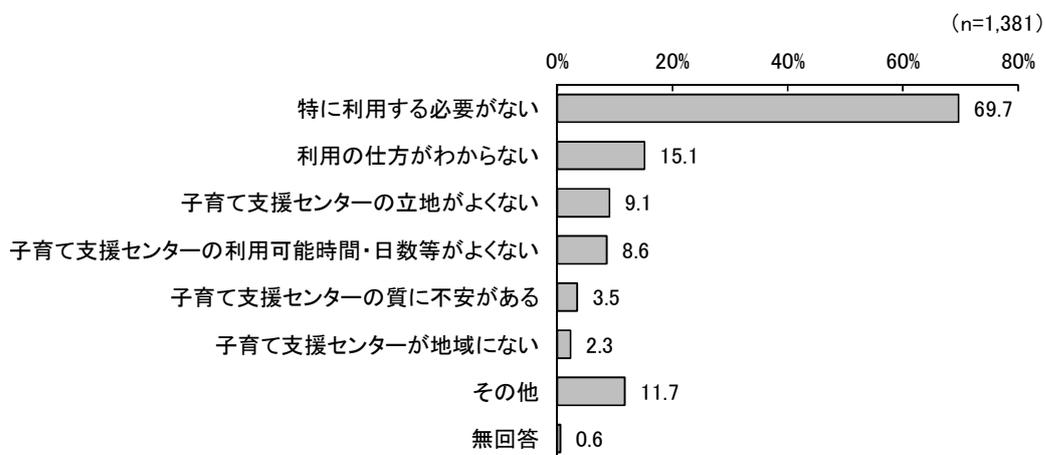


注:平成30年度は「子育て支援施設(広場)」

問 11 で「利用していない」と回答した方

問 11-2 お子さんが子育て支援センターを利用していない理由をお答えください。

「特に利用する必要がない」69.7%ですが、次に「利用の仕方がわからない」15.1%があげられています。



【子どもの年齢別】

「利用の仕方がわからない」は、0歳 22.0%、0～1歳 18.2%がやや高く、「子育て支援センターの利用可能時間・日数等がよくない」は1～2歳で 14.7%と2ケタあげられています。

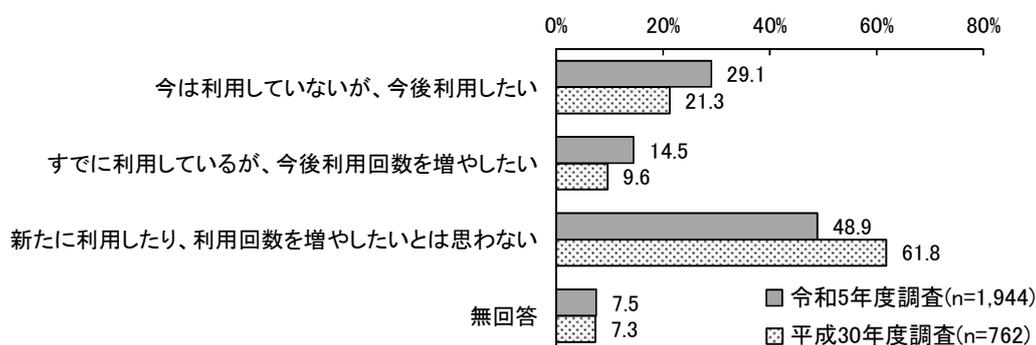
単位：%

	(n=)	特に利用する必要がない	利用の仕方がわからない	子育て支援センターの立地がよくない	子育て支援センターの利用可能時間・日数等がよくない	子育て支援センターの質に不安がある	子育て支援センターが地域にない	その他	無回答
0歳	173	58.4	22.0	8.7	2.9	2.3	3.5	18.5	0.6
0～1歳	137	56.2	18.2	19.7	8.8	4.4	4.4	17.5	0.0
1～2歳	163	66.9	13.5	11.0	14.7	4.3	1.8	9.8	0.6
2～3歳	251	67.3	16.7	8.4	8.8	4.8	0.8	11.6	0.8
3～4歳	234	74.8	12.4	6.8	9.8	3.0	1.7	10.3	1.7
4～5歳	202	78.2	13.9	7.9	8.9	2.5	3.0	8.4	0.0
5～6歳	221	78.3	11.3	5.4	6.8	3.2	2.3	9.0	0.0

問 12 子育て支援センターについて、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。なお、これらの事業の利用は基本的に無料ですが、一部参加費（工作の材料費等）がかかる場合があります。

子育て支援センターを「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」48.9%、次いで「今は利用していないが、今後利用したい」29.1%、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」14.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」が減り、「今は利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」が増えています。



注：平成30年度は「子育て支援施設（広場）」

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳を除いては「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」が最も高く、0歳では「今は利用していないが、今後利用したい」が47.9%と最も高くなっています。「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」は0～1歳27.0%、1～2歳24.8%と多くなっています。

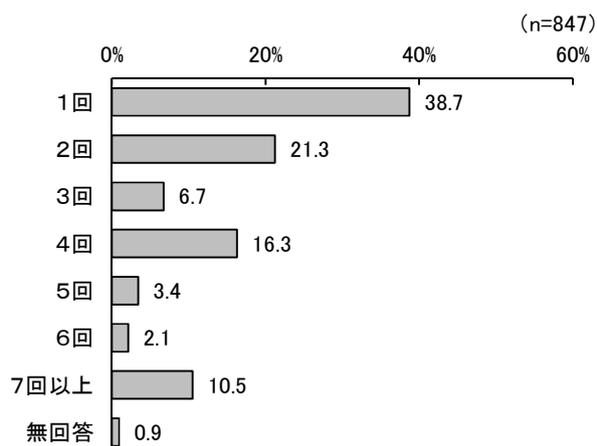
単位:%

	(n=)	今は利用して いないが 今後利用し たい	すでに利用して いるが今後利 用回数を 増やしたい	新たに利用し たり利用回 数を増やし たいと思わ ない	無 回 答
0歳	263	47.9	19.8	24.7	7.6
0～1歳	237	29.1	27.0	41.4	2.5
1～2歳	266	29.3	24.8	41.7	4.1
2～3歳	337	28.8	14.2	52.5	4.5
3～4歳	276	30.1	7.6	58.0	4.3
4～5歳	244	23.4	7.4	65.6	3.7
5～6歳	260	21.2	5.0	68.8	5.0

問 12 で「今は利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」と回答した方

問 12-1 今後、お子さんは子育て支援センターを1ヶ月あたりおおよそ何回利用したいですか。

「1回」が38.7%と最も高く、次いで「2回」21.3%、「4回」16.3%、「7回以上」10.5%となっています。



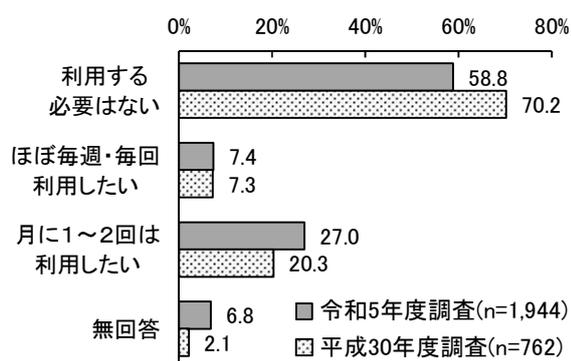
(6) 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について

問 13 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます) 当てはまるものを選んでください。

①土曜日

「利用する必要はない」は 58.8%、「月に1～2回は利用したい」は 27.0%となっています。

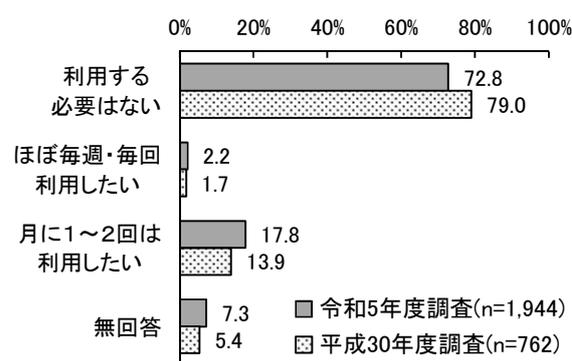
平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」が減り、「月に1～2回は利用したい」が増えています。



②日曜日・祝日

「利用する必要はない」は 72.8%、「月に1～2回は利用したい」は 17.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」が減り、「月に1～2回は利用したい」が増えています。



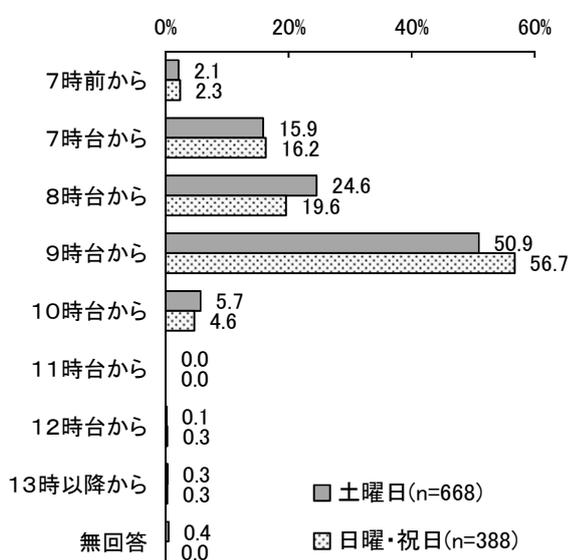
問 13 で「ほぼ毎週・毎回利用したい」「月に1～2回は利用したい」と回答した方

問 13-1 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業を何時から利用したいですか。また、何時まで利用したいですか。

①利用開始時刻

土曜日では、「9時台から」50.9%、「8時台から」24.6%、「7時台から」15.9%となっています。

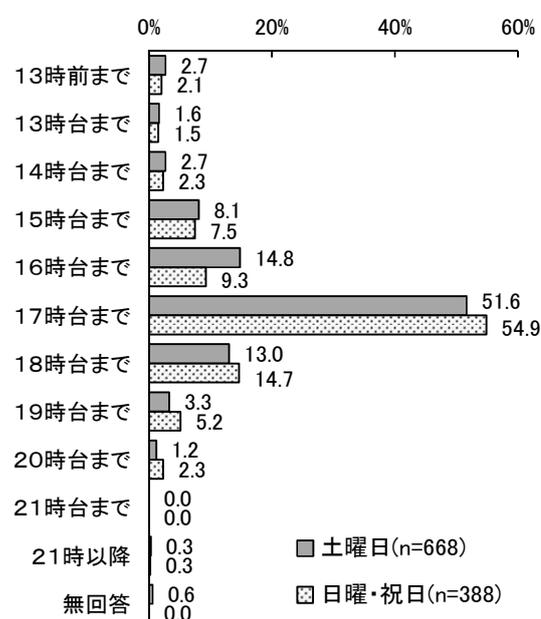
日曜日・祝日では、「9時台から」56.7%、「8時台から」19.6%、「7時台から」16.2%となっています。



②利用終了時刻

土曜日では、「17時台まで」51.6%、「16時台まで」14.8%、「18時台まで」14.7%となっています。

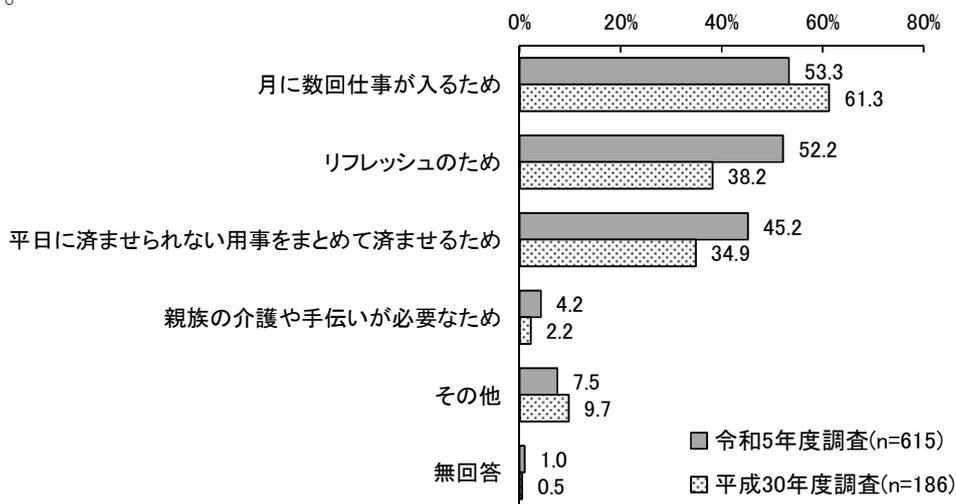
日曜日・祝日では、「17時台まで」54.9%、「18時台まで」14.7%、「16時台まで」9.3%となっています。



問 13 で「ほぼ毎週・毎回利用したい」「月に1～2回は利用したい」と回答した方

問 13-2 お子さんについて、土曜日や日曜日等に、定期的な教育・保育事業を利用したい理由はなんですか。当てはまるものをすべて選んでください。

「月に数回仕事が入るため」53.3%と「リフレッシュのため」52.2%がほぼ同じくらいあげられています。次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」45.2%となっています。

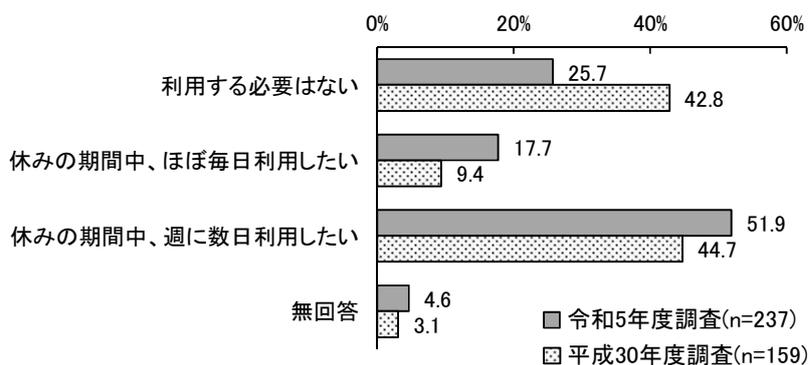


幼稚園を利用されている方

問 14 幼稚園を利用されているお子さんについて、夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。

「休みの期間中、週に数日利用したい」51.9%、「利用する必要はない」25.7%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」17.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「休みの期間中、週に数日利用したい」「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が増え、「利用する必要はない」が減っています。

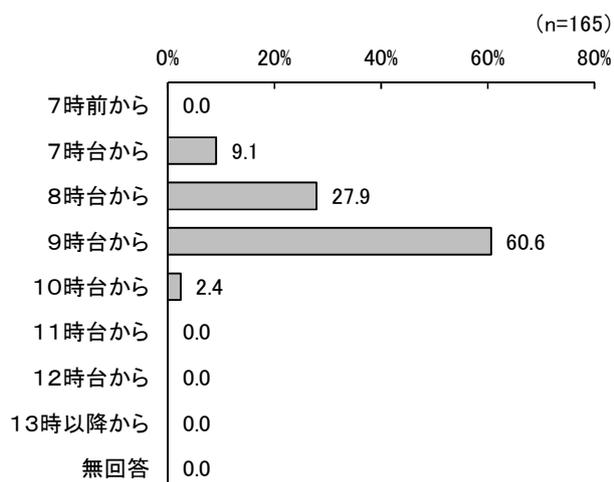


問 14 で「休みの期間中、週に数日利用したい」「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と回答した方

問 14-1 幼稚園を利用されているお子さんについて、夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中は何時から教育・保育事業を利用したいですか。また、何時まで利用したいですか。

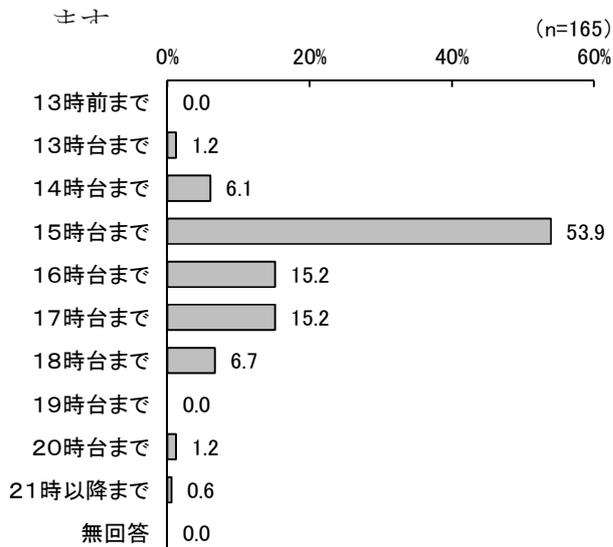
①利用開始時刻

「9時台から」が60.6%、「8時台から」27.9%となっています。



②利用終了時刻

「15時台まで」が53.9%、「16時台まで」及び「17時台まで」15.2%となっています。

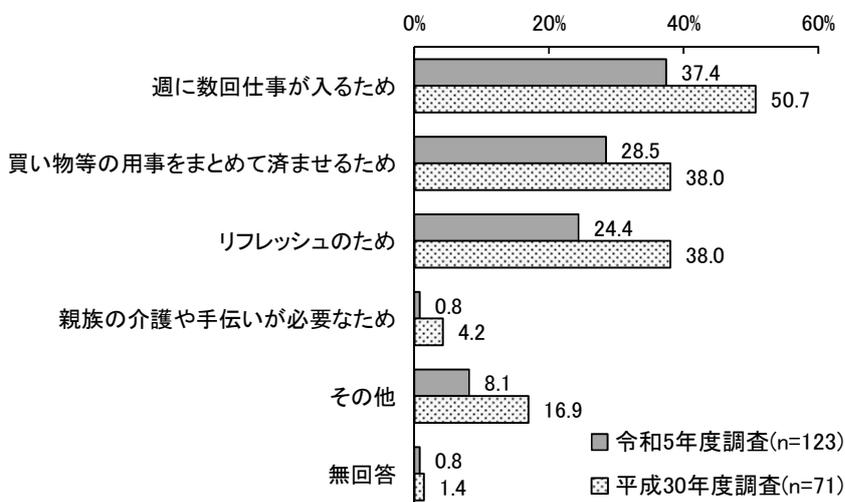


問 14 で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方

問 14-2 幼稚園を利用しているお子さんについて、夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中に、教育・保育事業を週に数回利用したい理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。

「週に数回仕事が入るため」が37.4%、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」28.5%、「リフレッシュのため」24.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、いずれの理由も減少しています。



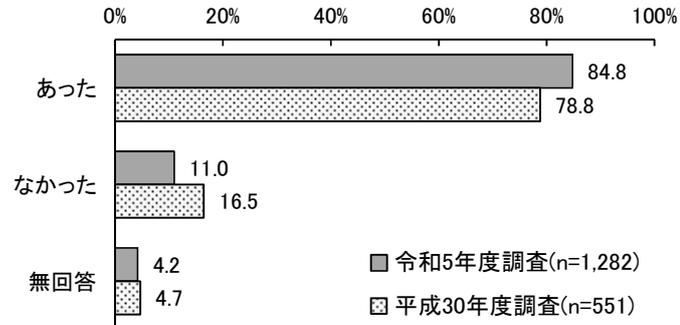
(7) お子さんの病気の際の対応について

平日の定期的な教育・保育の施設や事業を利用していると答えた方(問 11 で「利用している」)

問 15 この1年間に、お子さんが病気やケガで保育園・幼稚園等に行けなかったことはありますか。

「あった」は84.8%、「なかった」は11.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あった」が増えています。



【子どもの年齢別】

「あった」は1～2歳が最も多く91.2%、次いで4～5歳89.1%、3～4歳84.7%、2～3歳83.9%となっています。

単位:%

	(n=)	あ た	な か た	無 回 答
0歳	25	64.0	12.0	24.0
0～1歳	85	87.1	9.4	3.5
1～2歳	159	91.2	5.7	3.1
2～3歳	248	83.9	10.5	5.6
3～4歳	268	84.7	11.2	4.1
4～5歳	238	89.1	8.4	2.5
5～6歳	259	79.2	17.4	3.5

問 15 で「あった」と回答した方

問 15-1 お子さんが病気やケガで保育園・幼稚園等に行けなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまるものの日数を選んでください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

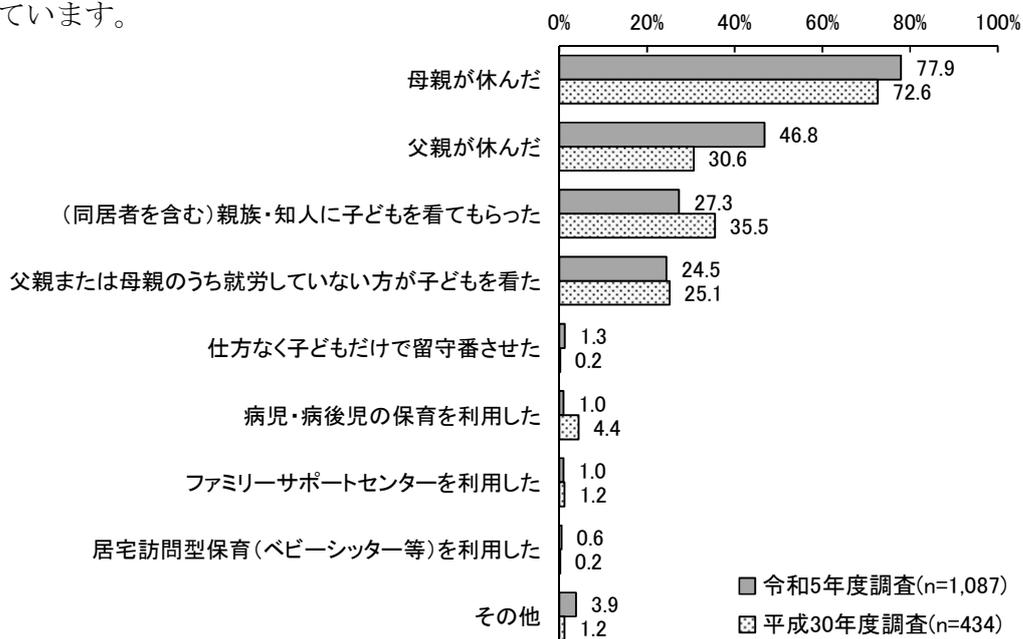
「1日～4日」から「50日以上」の合計は、「母親が休んだ」が最も多く77.9%、次いで「父親が休んだ」46.8%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」27.3%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」24.5%となっています。

日数は、「父親が休んだ」は「0日」51.9%、「1日～4日」23.8%が多いのに対し、「母親が休んだ」は「5～9日」18.8%、「10～19日」27.3%で多くなっています。

単位:%

(n=1,087)	0日	1日～4日	5日～9日	10日～19日	20日～29日	30日～49日	50日以上	無回答	1日～50日以上
父親が休んだ	51.9	23.8	13.6	7.6	1.2	0.6	0.0	1.3	46.8
母親が休んだ	20.7	12.5	18.8	27.3	11.4	5.7	2.2	1.4	77.9
父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た	74.2	5.3	6.2	7.7	3.0	1.6	0.6	1.3	24.5
(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった	71.4	10.0	8.6	6.0	1.6	0.7	0.4	1.3	27.3
病児・病後児の保育を利用した	97.6	0.5	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	1.4	1.0
居宅訪問型保育(ベビーシッター等)を利用した	98.2	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.6
ファミリーサポートセンターを利用した	97.7	0.6	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	1.3	1.0
仕方なく子どもだけで留守番させた	97.4	0.8	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	1.3	1.3
その他	94.8	1.0	1.3	1.1	0.1	0.1	0.3	1.3	3.9

「1日～4日」から「50日以上」の合計を平成30年度調査と比較すると、「母親が休んだ」「父親が休んだ」とともに増加し、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」が減っています。



【子どもの年齢別】

「1日～4日」から「50日以上」の合計を子どもの年齢別でみると、「母親が休んだ」は1～2歳 96.6%、0～1歳 85.1%、2～3歳 82.7%となっています。また、「父親が休んだ」「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」ともに1～2歳で多くなっています。

【地区別】

「1日～4日」から「50日以上」の合計を地区別でみると、いずれの地区も「母親が休んだ」が多く、なかでも新木 83.6%、天王台 80.4%は8割を超えます。また、「父親が休んだ」は、布佐を除いたいずれの地区も4割を越えます。

単位：%

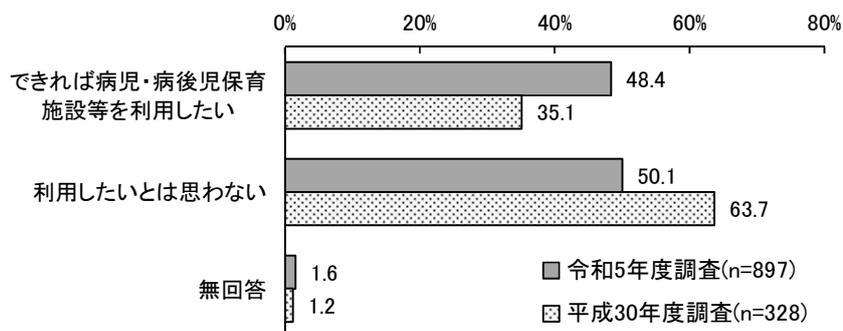
		(n=)	父親が休んだ	母親が休んだ	父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	同居者を含む親族知人に子どもを看てもらった	病児病後児の保育を利用した	居宅訪問型保育ベビーマー等を利用した	ファミリーサポートセンターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番させた	その他
子どもの年齢	0歳	16	31.3	75.0	0.0	25.0	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3
	0～1歳	74	56.8	85.1	10.8	25.7	2.7	0.0	0.0	1.4	4.1
	1～2歳	145	69.0	96.6	11.7	39.3	0.0	0.7	2.8	0.0	2.1
	2～3歳	208	51.4	82.7	21.6	32.2	1.9	1.0	0.5	1.0	1.9
	3～4歳	227	41.0	70.5	29.5	21.1	1.3	0.4	0.0	0.4	7.0
	4～5歳	212	39.6	72.6	26.9	25.9	0.0	0.5	0.5	3.8	3.8
	5～6歳	205	38.0	71.2	35.1	22.9	0.5	0.5	2.0	1.0	3.4
地区	我孫子	544	47.8	75.7	25.0	26.5	1.1	0.6	1.7	1.1	4.2
	天王台	332	47.6	80.4	23.2	28.0	1.2	0.3	0.3	0.6	3.0
	湖北	103	41.7	79.6	23.3	31.1	0.0	1.9	0.0	4.9	4.9
	新木	67	46.3	83.6	25.4	29.9	1.5	0.0	0.0	0.0	4.5
	布佐	37	37.8	70.3	32.4	18.9	0.0	0.0	2.7	2.7	2.7

問 15-1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」と回答した方

問 15-2 父親または母親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまるものを選んでください。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」48.4%、「利用したいとは思わない」50.1%、ほぼ同じとなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が増加し、「利用したいとは思わない」が減少しています。

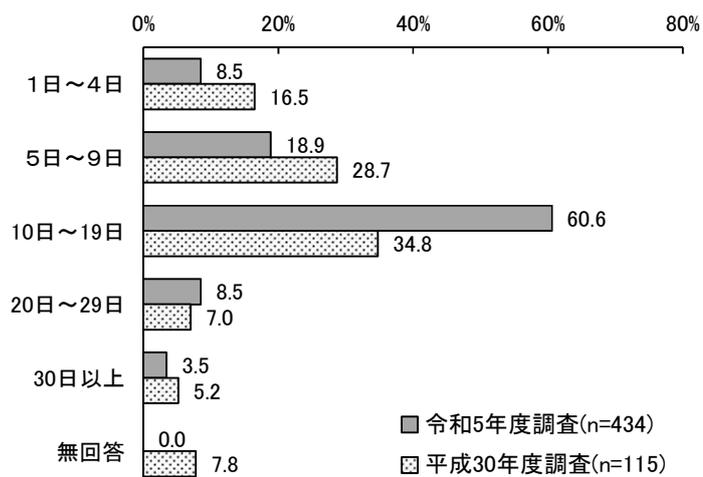


問 15-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方

問 15-3 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われた利用希望日数は年間何日ですか。

「10日～19日」が60.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「10日～19日」は実に 25.8 ポイントの増加となっています。

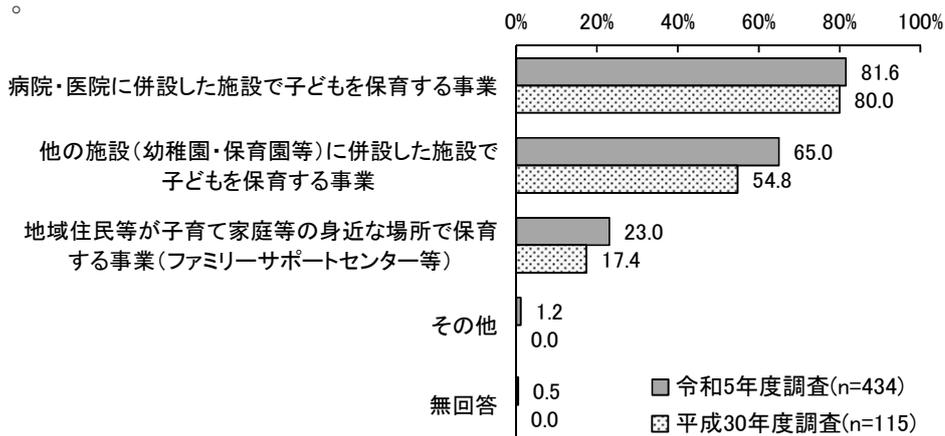


問 15-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方

問 15-4 病児・病後児の子どもを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまるものをすべて選んでください。

「病院・医院に併設した施設で子どもを保育する事業」が 81.6%、「他の施設（幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」65.0%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリーサポートセンター等）」23.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、いずれの回答も増えていますが、なかでも「他の施設（幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」は約 10 ポイントの増加となっています。

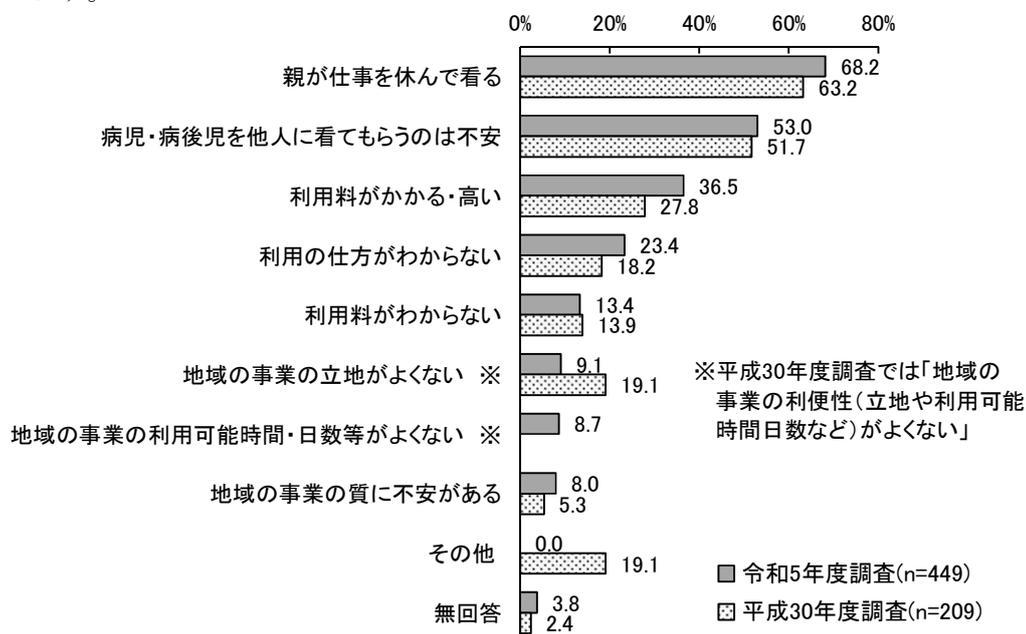


問 15-2 で「利用したいと思わない」と回答した方

問 15-5 「利用したいと思わない」理由として、当てはまるものをすべて選んでください。

「親が仕事を休んで見る」68.2%、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」53.0%、「利用料がかかる・高い」36.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「親が仕事を休んで見る」「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」「利用料がかかる・高い」「利用の仕方がわからない」「地域の事業の質に不安がある」いずれも増加していますが、なかでも「利用料がかかる・高い」は約 10 ポイントの増加となっています。

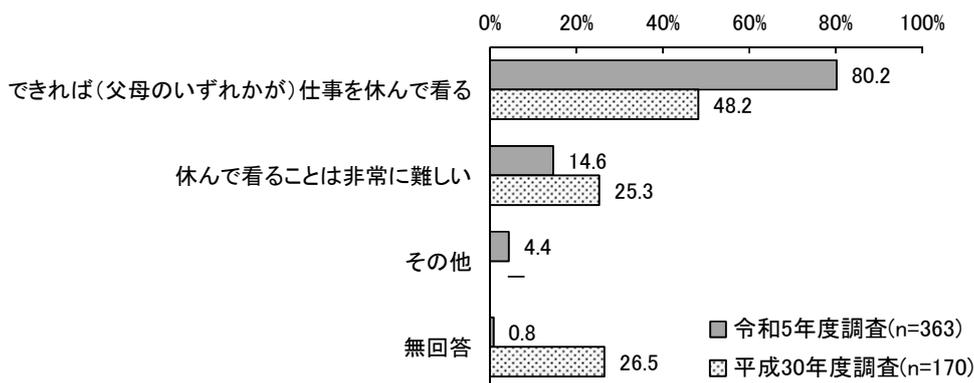


問 15-1 で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを見てもらった」から「その他」と回答した方

問 15-6 お子さんが病気やケガで保育園・幼稚園等に行けなかった際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまるものを選んでください。

「できれば(父母のいずれかが)仕事を休んで見る」80.2%、「休んで見ることは非常に難しい」14.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「休んで見ることは非常に難しい」が減り。「できれば(父母のいずれかが)仕事を休んで見る」は48.2%から80.2%と倍近く増えています。

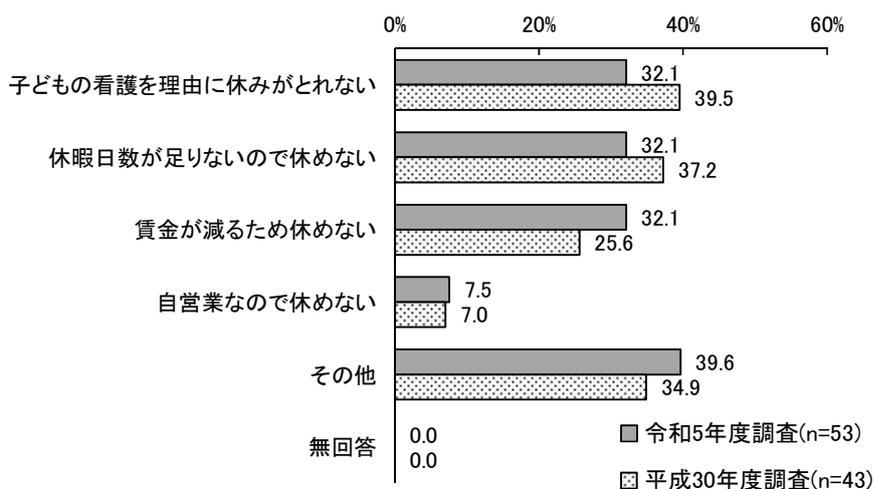


問 15-6 で「休んで見ることは非常に難しい」と回答した方

問 15-7 「休んで見ることは非常に難しい」と思う理由について、当てはまるものをすべて選んでください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」「休暇日数が足りないので休めない」「賃金が減るため休めない」いずれも32.1%となっています。

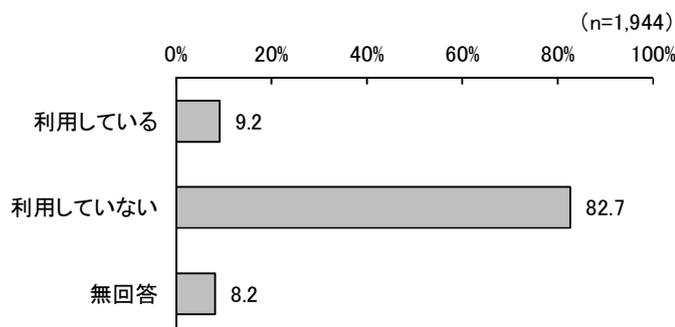
平成30年度調査と比較すると、「賃金が減るため休めない」が増加しています。



(8) 子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 16 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、お子さんについて、一時預かり、預かり保育、ファミリーサポートセンター等の事業を不定期で利用していますか。

「利用している」9.2%、「利用していない」82.7%となっています。



問 16 で「利用している」と回答した方

問 16-1 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期で利用している事業について、当てはまるものすべての事業と、その1年間の利用日数(おおよそ)を選んでください。

「1日～4日」から「50日以上」の合計は、「預かり保育」「ファミリーサポートセンター」とともに30.3%、次いで「一時預かり」25.3%となっています。

利用している日数(年間)について、「一時預かり」では「1日～4日」、「預かり保育」では「1日～4日」、「10～19日」及び「50日以上」と広範囲にわたります。また、「ファミリーサポートセンター」は「1日～4日」「5日～9日」に多くなっています。

単位: %

(n=178)	0日	1日 ～4日	5日 ～9日	10日 ～19日	20日 ～29日	30日 ～49日	50日 以上	無回答	1日 ～50日 以上
一時預かり	73.0	10.7	3.4	5.1	1.1	3.9	1.1	1.7	25.3
預かり保育	68.0	6.7	5.1	6.7	2.8	1.7	7.3	1.7	30.3
ファミリーサポートセンター	68.0	11.2	7.9	4.5	0.6	2.8	3.4	1.7	30.3
子ども短期入所事業	98.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0
居宅訪問型保育	95.5	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7	2.8
その他	92.1	0.0	2.8	0.0	0.6	0.0	2.8	1.7	6.2

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、「一時預かり」は1～2歳で51.7%と多くなっています。また、「ファミリーサポートセンター」は0～1歳で50.0%、1～2歳で48.3%と多くなっています。

【地区別】

地区別でみると、我孫子は「ファミリーサポートセンター」35.0%、天王台は「預かり保育」37.8%が多くなっています。

単位：％

		(n=)	一時預かり	預かり保育	ファミリーサポートセンター	子ども短期入所事業	居宅訪問型保育	その他
子どもの年齢	0歳	9	22.2	11.1	33.3	0.0	11.1	0.0
	0～1歳	18	22.2	0.0	50.0	0.0	0.0	11.1
	1～2歳	29	51.7	6.9	48.3	0.0	6.9	6.9
	2～3歳	22	40.9	9.1	27.3	0.0	9.1	9.1
	3～4歳	32	15.6	43.8	21.9	0.0	0.0	0.0
	4～5歳	34	14.7	52.9	29.4	0.0	0.0	5.9
	5～6歳	34	14.7	50.0	14.7	0.0	0.0	8.8
地区	我孫子	103	28.2	28.2	35.0	0.0	1.9	4.9
	天王台	45	17.8	37.8	26.7	0.0	4.4	6.7
	湖北	18	33.3	22.2	16.7	0.0	5.6	5.6
	新木	6	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	布佐	5	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0

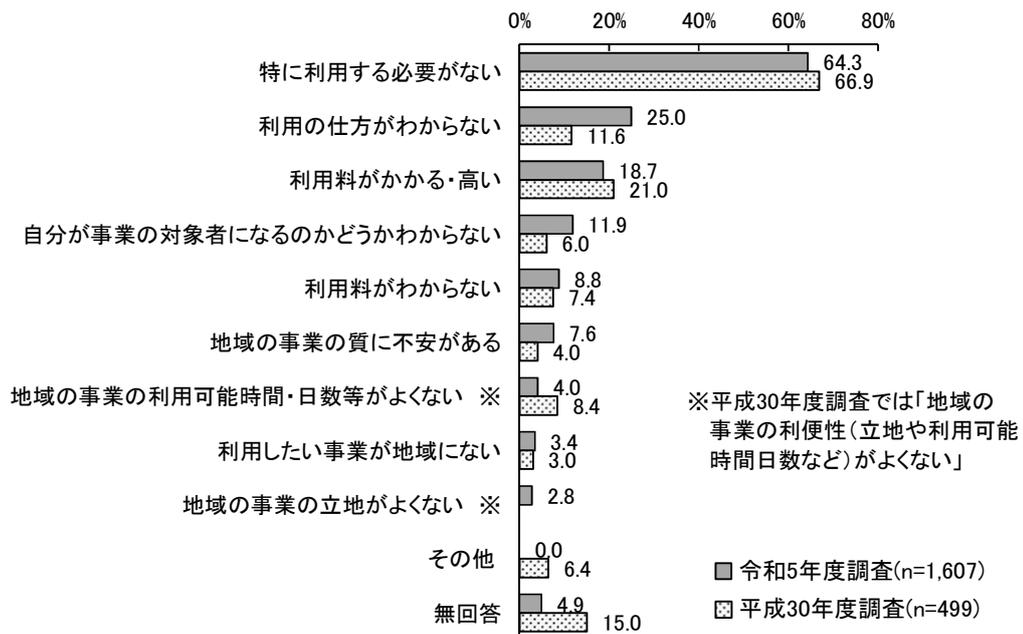
「1～4日」から「50日以上」の合計

問 16 で「利用していない」と回答した方

問 16-2 現在利用していない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。

「特に利用する必要がない」64.3%、次いで「利用の仕方がわからない」25.0%、「利用料がかかる・高い」18.7%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」11.9%、「利用料がわからない」8.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用の仕方がわからない」が増加しています。



【地区別】

地区別にみると、「特に利用する必要がない」は新木 70.0%、布佐 69.5%、湖北 69.3%でやや多くなっています。「利用の仕方がわからない」は、いずれの地区も2割を超え、「利用料がかかる・高い」は布佐 25.4%、湖北 22.2%のみ2割を超えています。また、「地域の事業の質に不安がある」は、布佐のみ2ケタとなっています。

単位：%

		(n=)	特に利用する必要がない	利用の仕方がわからない	利用料がかかる高い	自分が事業の対象者になるのかわからない	利用料がわからない	地域の事業の質に不安がある	地域の事業の利用可能時間日数等がよくない	利用したい事業が地域にない	地域の事業の立地がよくない	その他	無回答
地区	我孫子	744	61.7	25.7	19.1	12.5	7.8	8.9	4.6	3.8	2.7	0.0	5.4
	天王台	521	65.5	25.1	16.1	11.9	9.0	7.3	4.0	3.1	3.1	0.0	4.6
	湖北	153	69.3	22.2	22.2	13.7	11.8	2.6	2.6	0.7	1.3	0.0	4.6
	新木	120	70.0	21.7	18.3	7.5	10.0	5.0	0.8	5.0	3.3	0.0	5.0
	布佐	59	69.5	25.4	25.4	8.5	10.2	13.6	8.5	6.8	3.4	0.0	1.7

問 16 で「利用している」と回答した方

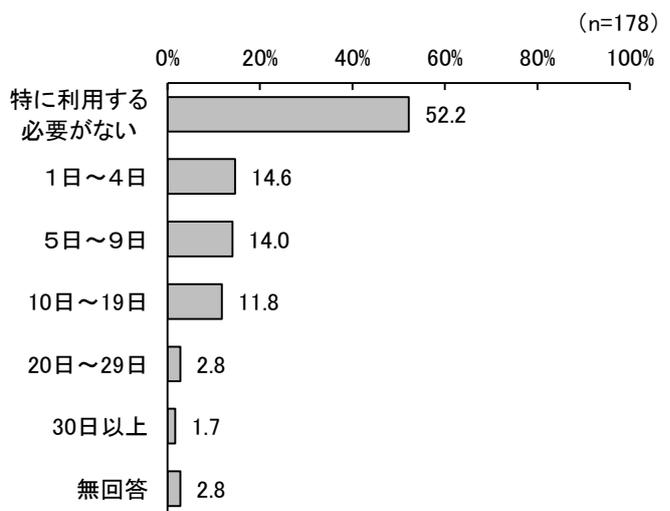
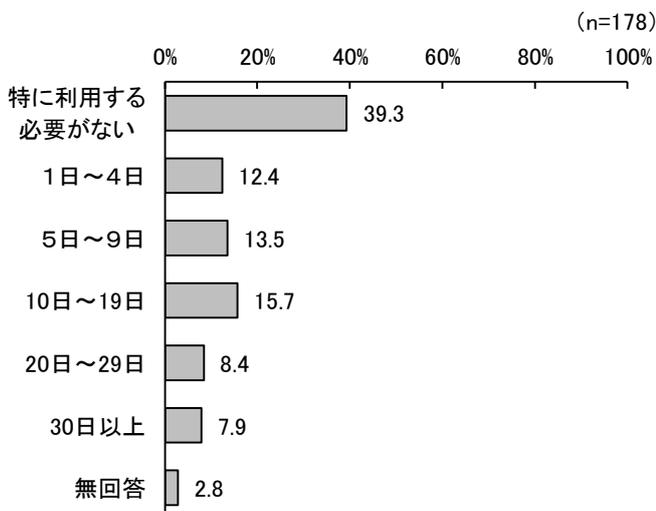
問 16-3 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、お子さんについて、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。必要な日数を選んでください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

①私用（買い物、きょうだいや親の習い事等）
リフレッシュ目的

「10日～19日」15.7%、「5日～9日」13.5%、「1日～4日」12.4%となっています。

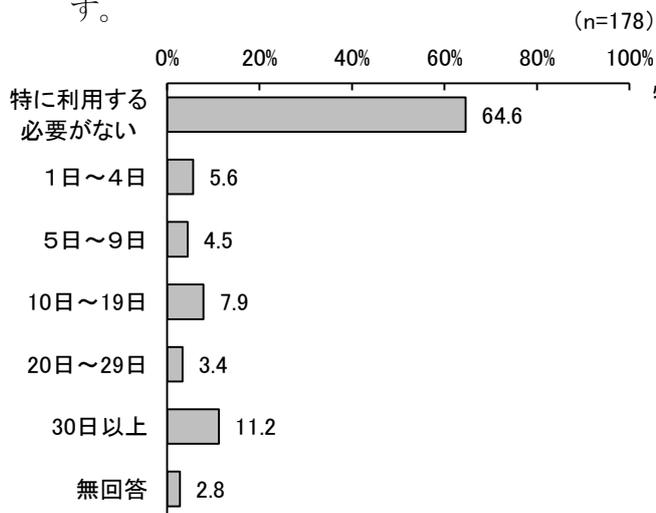
②冠婚葬祭、学校行事、きょうだいや親の通院等

「1日～4日」14.6%、「5日～9日」14.0%、「10～19日」11.8%となっています。



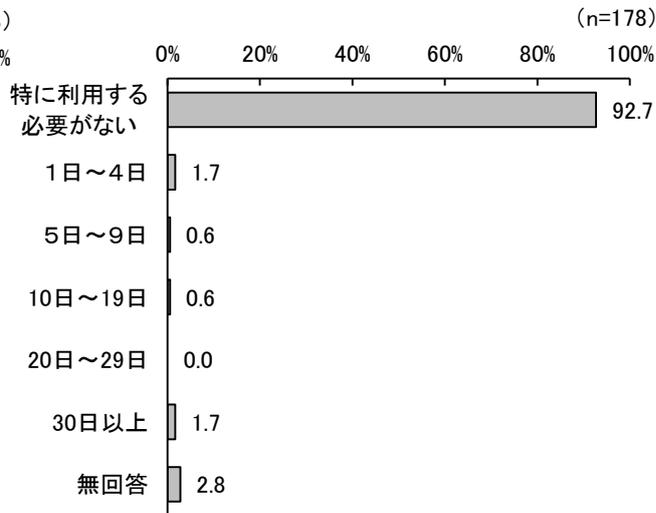
③不定期の就労

「30日以上」11.2%、「10日～19日」7.9%、「1日～4日」5.6%となっています。



④その他

「1日～4日」及び「30日以上」とともに1.7%となっています。

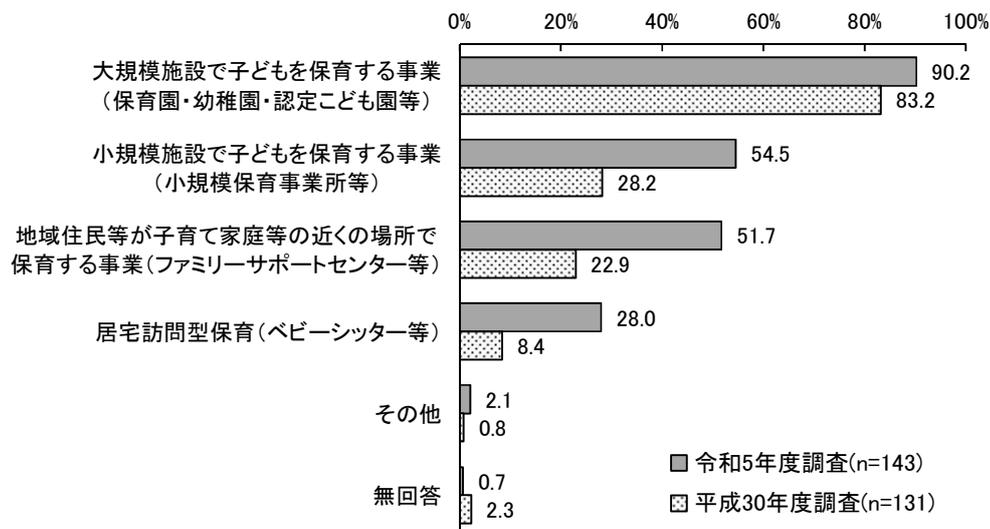


問 16 で「利用している」と回答した方

問 16-4 お子さんを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまるものをすべて選んでください。

「大規模施設で子どもを保育する事業（保育園・幼稚園・認定こども園等）」が90.2%、「小規模施設で子どもを保育する事業（小規模保育事業所等）」54.5%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（ファミリーサポートセンター等）」51.7%、「居宅訪問型保育（ベビーシッター等）」28.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、いずれの事業形態も増加していますが、なかでも「小規模施設で子どもを保育する事業（小規模保育事業所等）」「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（ファミリーサポートセンター等）」「居宅訪問型保育（ベビーシッター等）」が大きく増加しています。



問 17 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。子ども短期入所事業（ショートステイ）（児童養護施設「晴香園」で子どもを預かる事業）の利用希望がある場合は、目的ごとに利用したい泊数を選んでください。

いずれも「0泊」が多くなっており、次いで「1～4泊」は「冠婚葬祭」15.6%、「保護者や家族（きょうだい含む）の育児疲れ・不安」15.9%、「保護者や家族（きょうだい含む）の病気」14.2%となっています。「5泊～9泊」は、「保護者や家族の病気」4.5%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」3.1%となっています。

単位：%

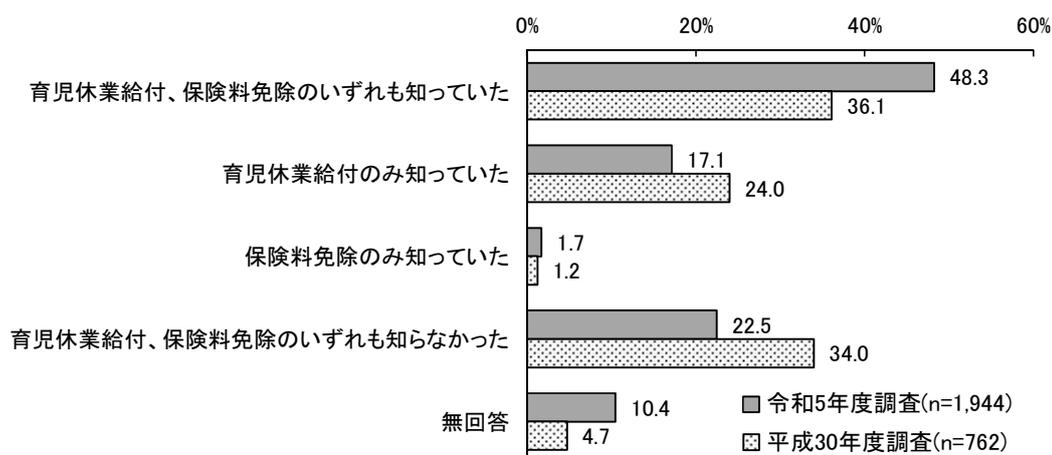
(n=1,944)	0泊	1日～4泊	5日～9泊	10泊以上	無回答
冠婚葬祭	74.5	15.6	0.7	0.1	9.1
保護者や家族(きょうだい含む)の育児疲れ・不安	69.6	15.9	3.1	2.4	9.0
保護者や家族(きょうだい含む)の病気	70.1	14.2	4.5	2.2	9.0
その他	90.3	0.5	0.2	0.1	9.0

(9) 育児休業や短時間勤務制度等、職場の両立支援制度について

問 18 育児休業給付が支給される仕組みや期間、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」48.3%、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」22.5%、「育児休業給付のみ知っていた」17.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」は、10ポイント以上増加しています。

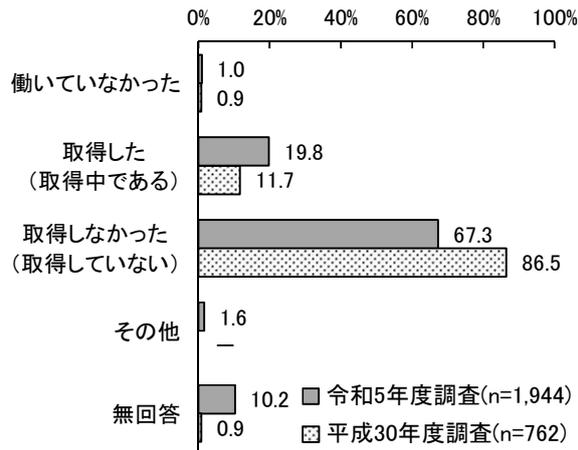


問 19 お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。

①父親

「取得しなかった（取得していない）」
67.3%に対し、「取得した（取得中である）」
19.8%となっています。

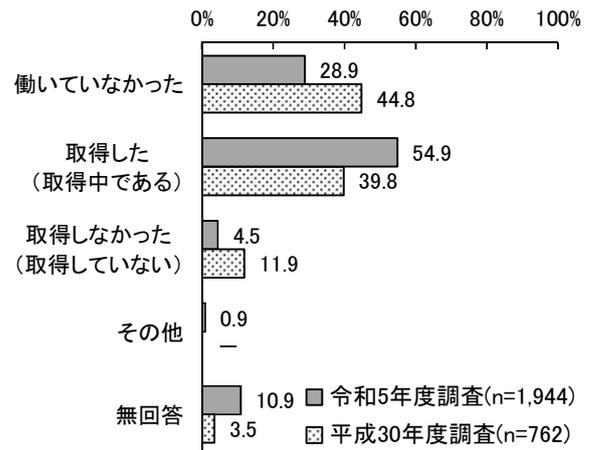
平成 30 年度調査と比較すると、「取得し
た（取得中である）」が増加しています。



②母親

「取得した（取得中である）」が 54.9%
と、「取得しなかった（取得していない）」
4.5%を大きく上回ります。

平成 30 年度調査と比較すると、「取得し
た（取得中である）」が増加し、「働いてい
なかった」は 10 ポイント以上減少してい
ます。



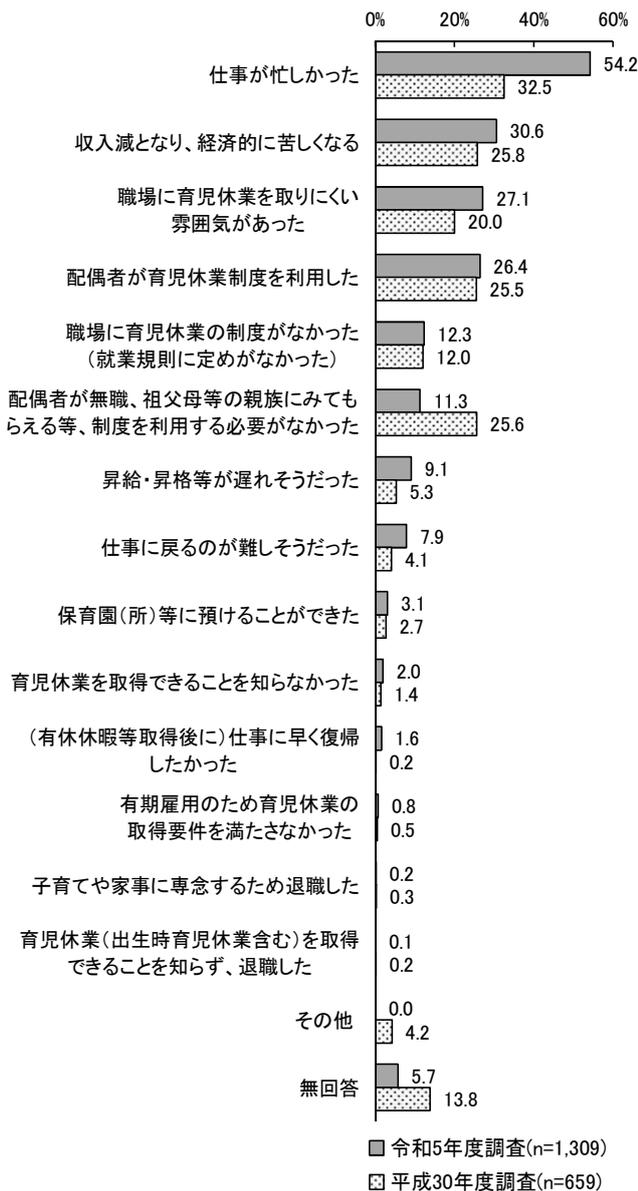
問 19 で「取得しなかった（取得していない）」とお答えの方

問 19-1 育児休業を取得しなかった（していない）理由をすべてお答えください。

①父親

「仕事が忙しかった」54.2%が最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」30.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」27.1%、「配偶者が育児休業制度を利用した」26.4%となっています。

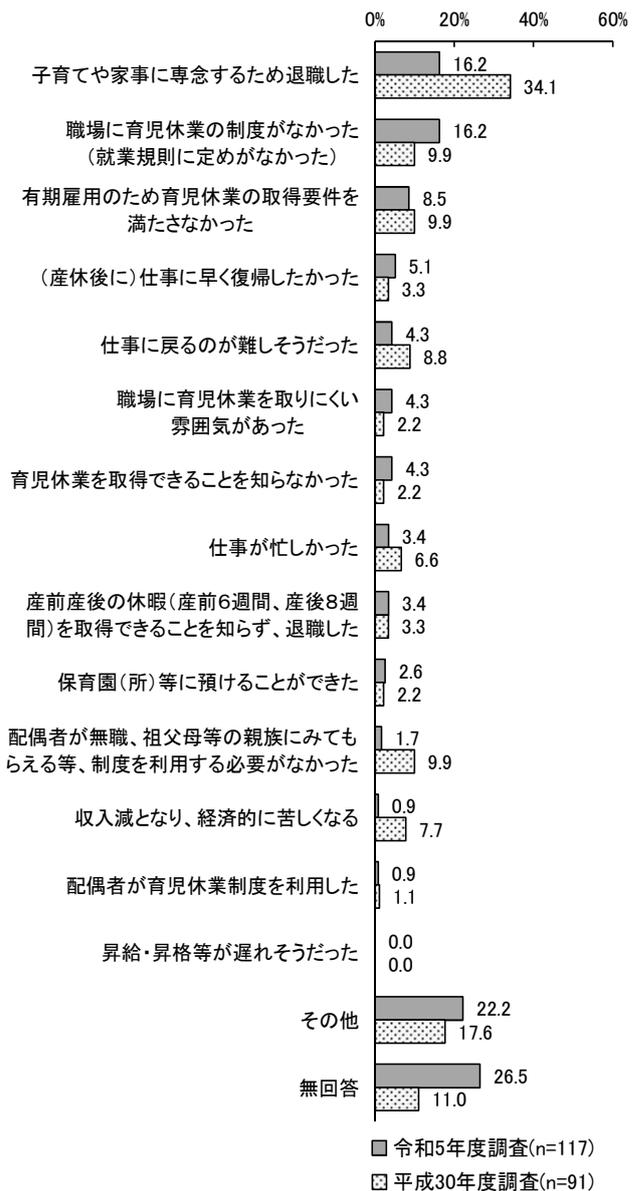
平成 30 年度調査と比較すると、多くの項目で増加となっていますが、なかでも「仕事が忙しかった」は 20 ポイント以上増加しています。また、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」も増加が目立ちます。



②母親

「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」ともに 16.2%で最も多くなっています。次いで「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」8.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が大きく増加し、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」なども増加しています。また、「子育てや家事に専念するため退職した」は 20 ポイント近く減少しています。



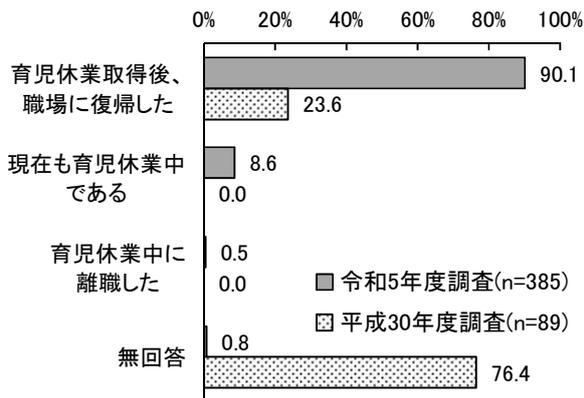
問 19 で「取得した（取得中である）」とお答えの方（問 21-12 まで同様）

問 19-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

①父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」90.1%、「現在も育児休業中である」8.6%となっています。

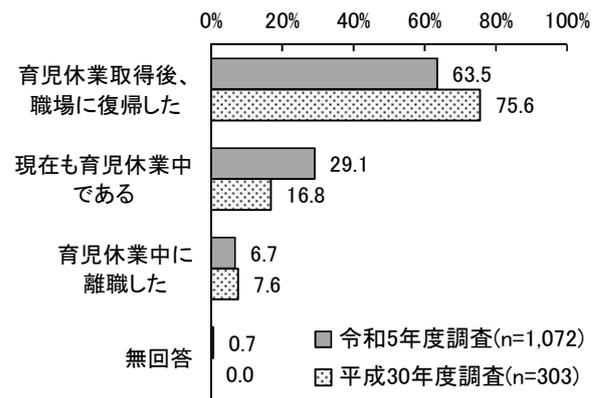
平成 30 年度調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が圧倒的に多くなっています。



②母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」63.5%、「現在も育児休業中である」29.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「現在も育児休業中である」が増えています。

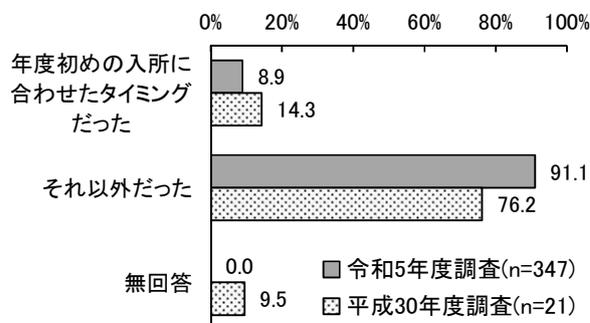


問 19-3 育児休業取得後、職場復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。

①父親

「それ以外だった」91.1%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」8.9%となっています。

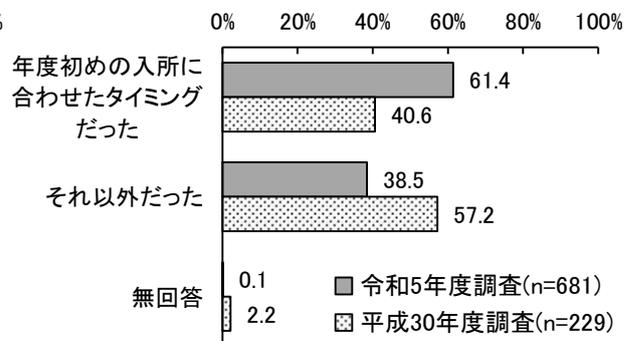
平成 30 年度調査と比較すると、「それ以外だった」が増加しています。



②母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」61.4%、「それ以外だった」38.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が増加しています。

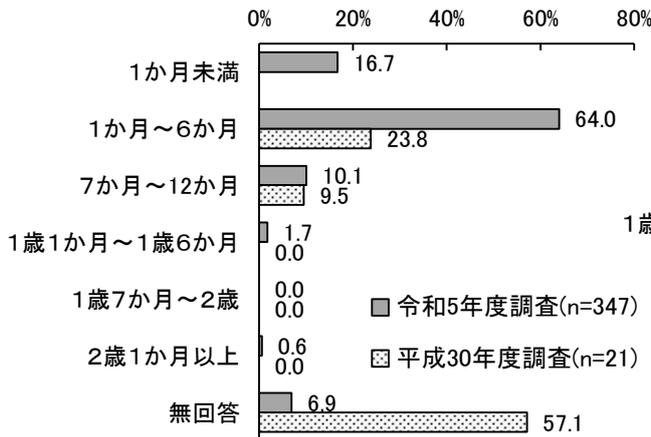


問 19-4 実際に、育児休業から職場復帰したのはお子さんが何歳何ヶ月のときでしたか。(例：1歳6ヶ月)

①父親

「1か月～6か月」64.0%、「1か月未満」16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1か月～6か月」が増加しています。

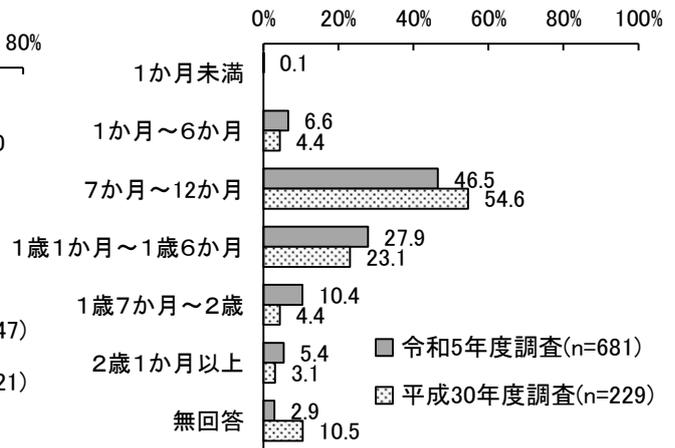


「1か月未満」は前回にない項目です。

②母親

「7か月～12か月」46.5%、「1歳1か月～1歳6か月」27.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、1歳1か月以上の回答がすべて増加しています。

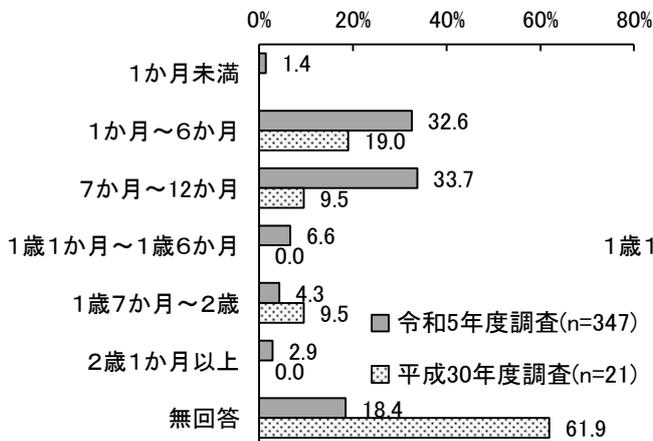


問 19-5 希望としては、お子さんが何歳何ヶ月のときに、育児休業から職場復帰したかったですか。(例：1歳6ヶ月)

①父親

「7か月～12か月」33.7%、「1か月～6か月」32.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳7か月～2歳」が減少し、他の回答は増加しています。

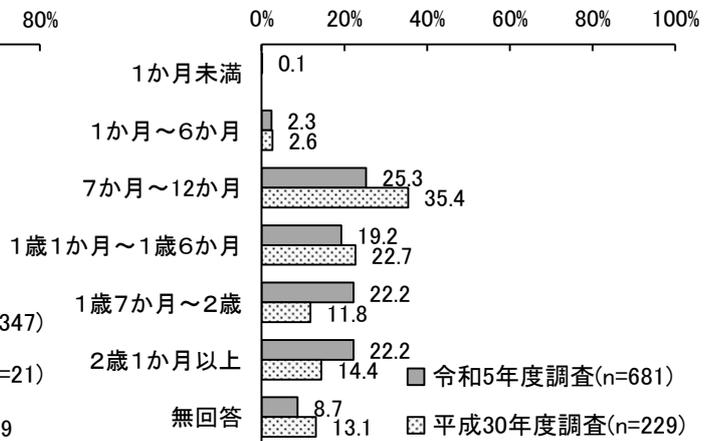


「1か月未満」は前回にない項目です。

②母親

「7か月～12か月」25.3%、「1歳7か月～2歳」22.2%、「2歳1か月以上」22.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、1歳7か月以上の回答が増加しています。

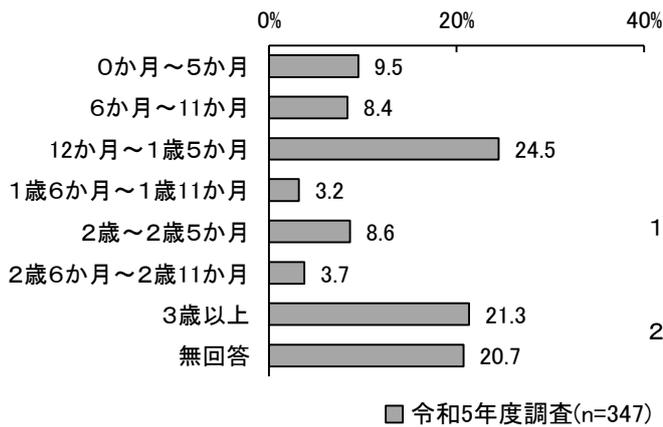


問 19-6 お勤め先に3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としては、お子さんが何歳何ヶ月のときに、育児休業から職場復帰したかったですか。（例：2歳6ヶ月）

①父親

「12か月～1歳5か月」24.5%、「3歳以上」21.3%となっています。

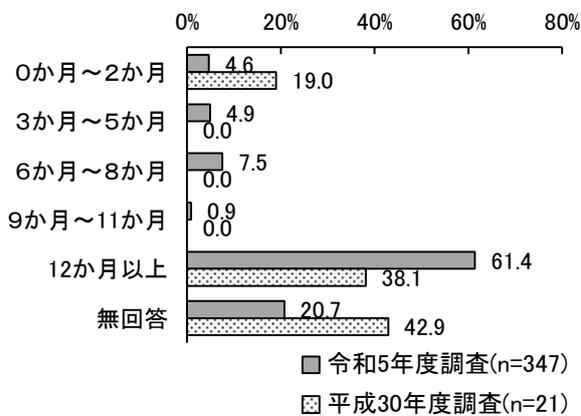
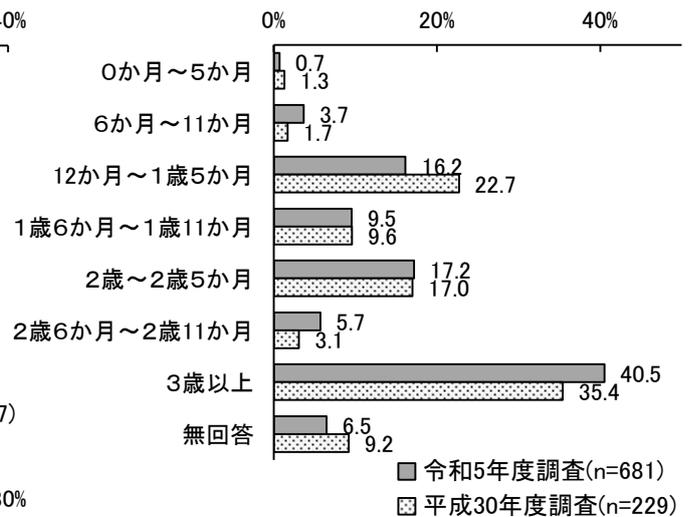
平成30年度調査と比較すると、「0か月～2か月」が減少し、「12か月以上」が増加しています。



②母親

「3歳以上」40.5%、「2歳～2歳5か月」17.2%となっています。

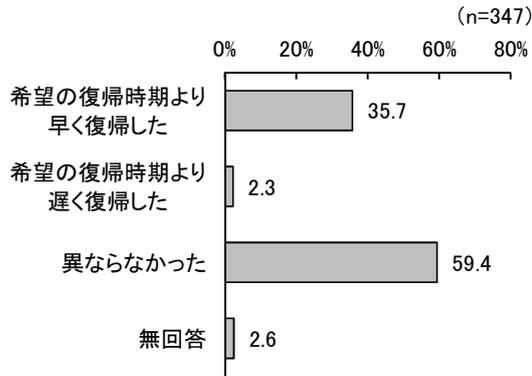
平成30年度調査と比較すると、「12か月～1歳5か月」が減少し、「3歳以上」が増加しています。



問 19-7 育児休業について、実際の復帰時期と希望の復帰時期は異なりましたか。

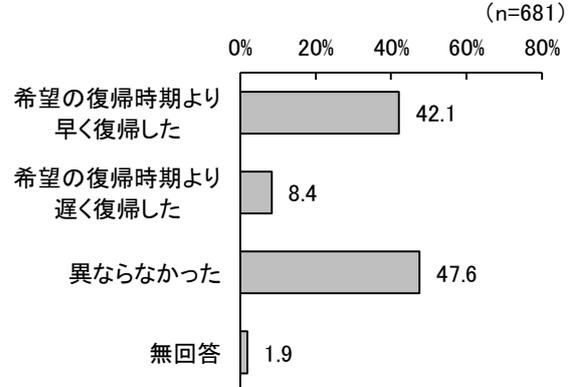
①父親

「異ならなかった」59.4%、「希望の復帰時期より早く復帰した」35.7%となっています。



②母親

「異ならなかった」47.6%、「希望の復帰時期より早く復帰した」42.1%となっています。

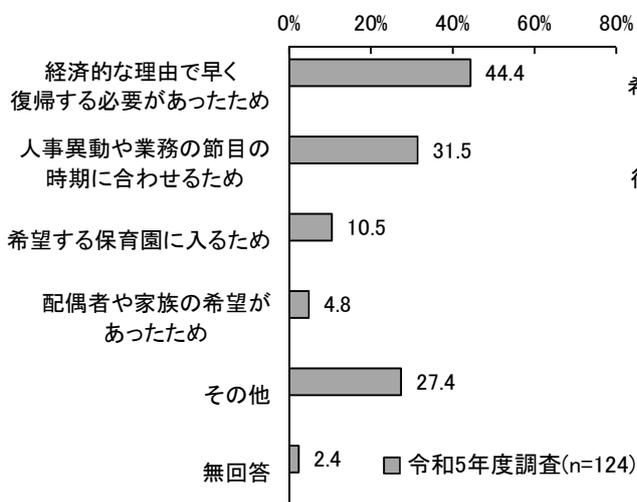


問 19-8 育児休業について、希望の復帰時期より早く復帰した理由についてうかがいます。当てはまるものをすべて選んでください。

①父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」44.4%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」31.5%、「希望する保育園に入るため」10.5%となっています。

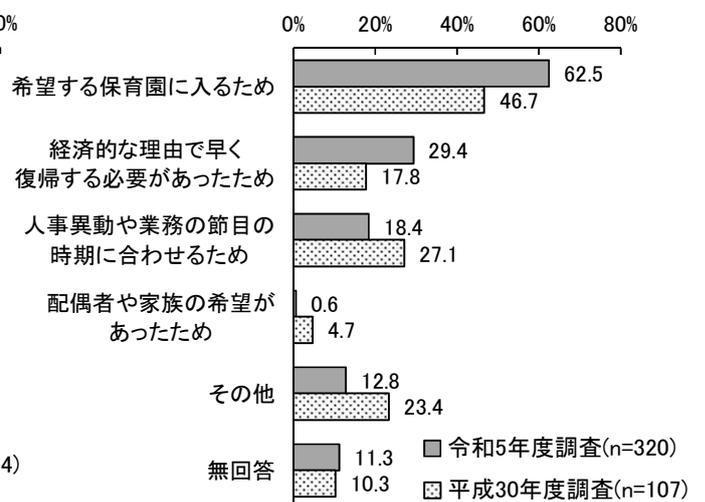
平成 30 年度調査では、有効回答がありません。



②母親

「希望する保育園に入るため」62.5%、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」29.4%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」18.4%となっています。

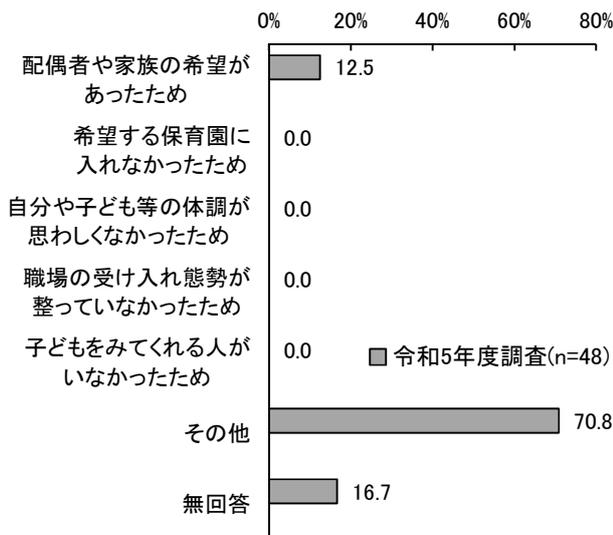
平成 30 年度調査と比較すると、「希望する保育園に入るため」及び「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が増加し、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が減少しています。



問 19-9 育児休業について、希望の復帰時期より遅く復帰した理由についてうかがいます。
当てはまるものをすべて選んでください。

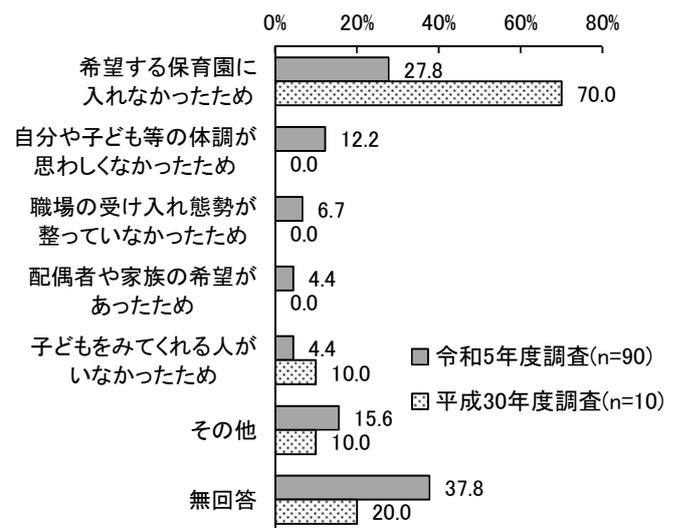
①父親

「配偶者や家族の希望があったため」
12.5%、「その他」70.8%となっています。



②母親

「希望する保育園に入れなかったため」
27.8%、「自分や子ども等の体調が思わしくなかったため」
12.2%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「希望する保育園に入れなかったため」は大幅に減少しています。

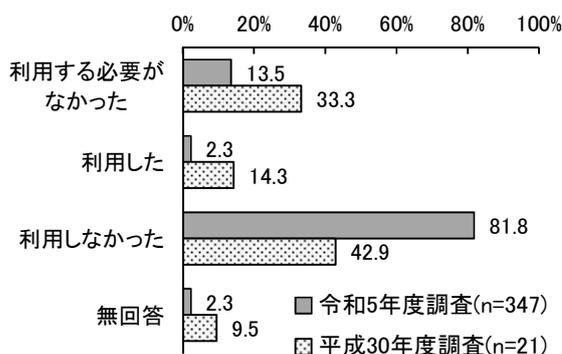


問 19-10 育児休業から職場復帰した際、短時間勤務制度を利用しましたか。

①父親

「利用しなかった」81.8%、「利用する必要がなかった」13.5%、「利用した」2.3%
となっています。

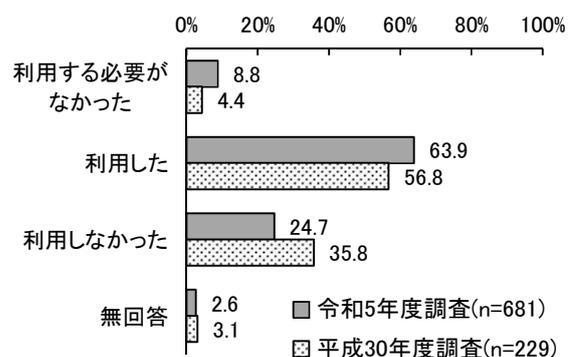
平成30年度調査と比較すると、「利用しなかった」が増加し、「利用する必要がなかった」「利用した」が減少しています。



②母親

「利用した」63.9%、「利用しなかった」
24.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用した」が増加し、「利用しなかった」が減少しています。



問 19-11 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。

①父親

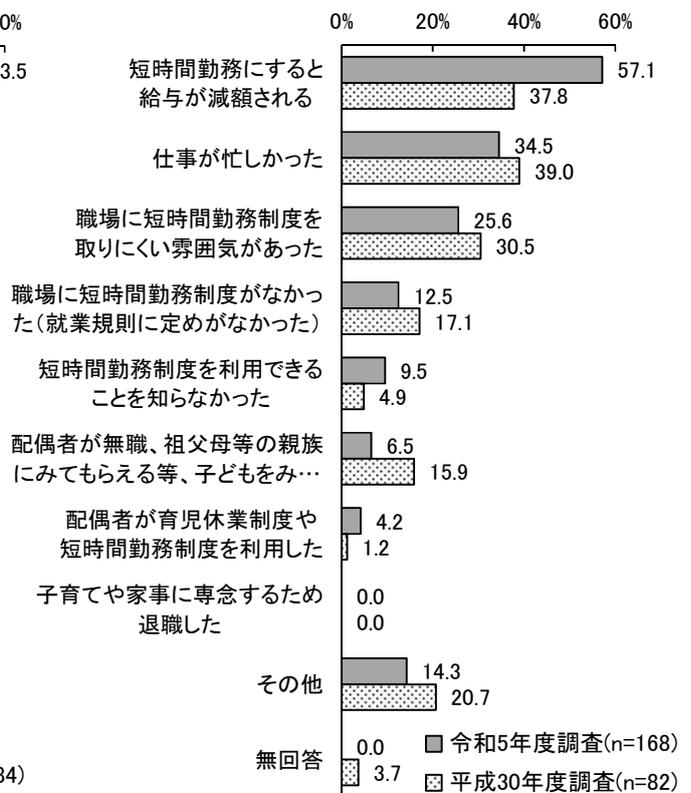
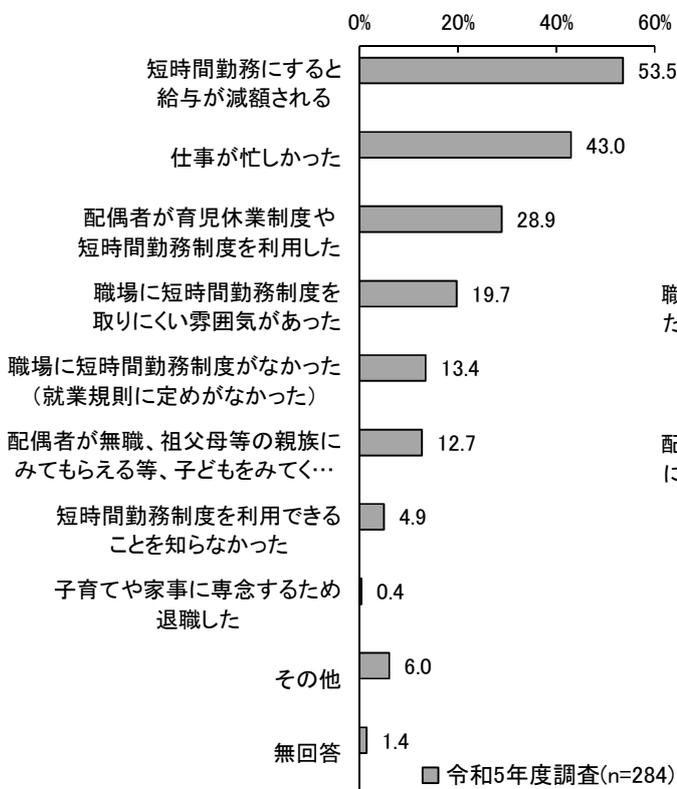
「短時間勤務にすると給与が減額される」53.5%、「仕事が忙しかった」43.0%、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」28.9%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」19.7%となっています。

平成30年度調査では、有効回答がありません。

②母親

「短時間勤務にすると給与が減額される」57.1%、「仕事が忙しかった」34.5%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」25.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「短時間勤務にすると給与が減額される」が大幅に増加しています。

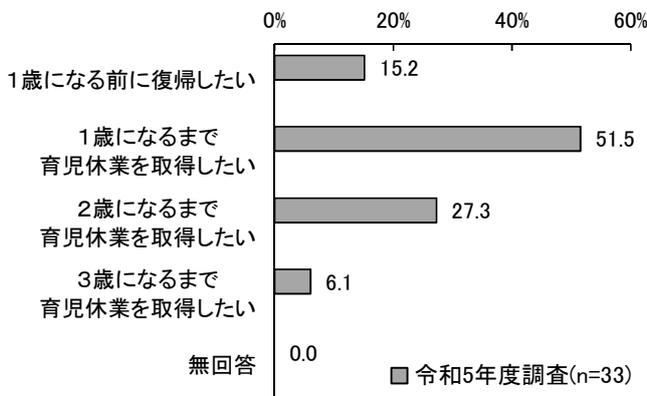


問 19-12 育児休業明けに必ず利用できる事業があれば、何歳になるまで育児休業を取得しますか。

①父親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」51.5%、「2歳になるまで育児休業を取得したい」27.3%、「1歳になる前に復帰したい」15.2%となっています。

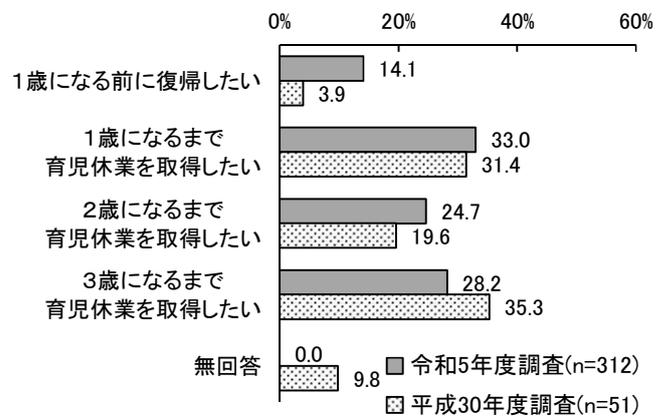
平成30年度調査では、有効回答がありません。



②母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」33.0%、「3歳になるまで育児休業を取得したい」28.2%、「2歳になるまで育児休業を取得したい」24.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3歳になるまで育児休業を取得したい」以外は増加となっています。



(10) 小学校就学後の放課後等の過ごし方について

問 20 お子さんについて、小学生の間は、放課後（平日の小学校終了後）、土曜日、日曜日・祝日、夏休み等の長期休暇期間の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれの週当たり日数を選んでください。

「習い事」で1日 14.3%、2日 18.7%、「学童保育室」5日 21.0%が多くなっています。

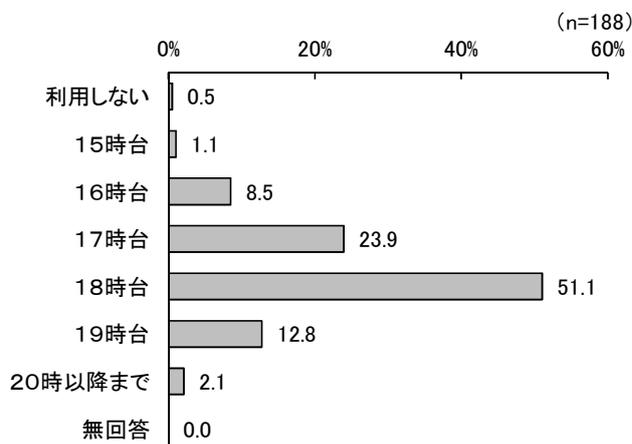
単位:%

(n=504)	利用する 予定はない	利用したい							無回答
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	
自宅	29.0	7.5	16.7	8.9	5.4	8.9	2.6	10.7	10.3
祖父母宅や友人・知人の家	67.3	12.5	5.4	2.0	0.6	1.4	0.0	1.0	9.9
習い事(ピアノ教室、サッカー クラブ、学習塾等)	47.6	14.3	18.7	6.2	1.0	1.4	0.2	0.8	9.9
あびっ子クラブ(子どもの居場 所事業)	53.4	9.5	7.5	6.2	3.2	9.1	0.4	0.6	10.1
学童保育室	52.8	1.2	1.8	5.2	6.0	21.0	0.8	1.4	9.9
ファミリーサポートセンター	89.5	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.1
児童発達支援事業所	85.9	1.0	1.8	0.6	0.2	0.6	0.0	0.0	9.9
その他(公民館、近隣セン ター、図書館、公園等)	74.6	5.8	4.6	2.8	0.8	1.4	0.0	0.2	9.9

問 20 で学童保育室を利用したいとお答えの方

問 20-1 お子さんが小学生の間は、平日、学童保育室を下校時から何時まで利用したいですか。

「18 時台」が 51.1%と最も多く、次いで「17 時台」23.9%、「19 時台」12.8%となっています。



【地区別】

「18 時台」は我孫子 58 人、天王台 24 人、「17 時台」は我孫子 19 人、天王台 12 人、「19 時台」は我孫子 14 人で、我孫子のみ 2 ケタとなっています。

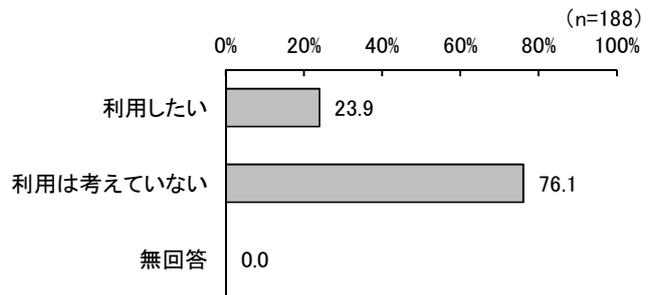
単位:人

	(n=)	利用 しない	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降 まで	無回答
我孫子	101	1	0	7	19	58	14	2	0
天王台	53	0	1	5	12	24	9	2	0
湖北	12	0	1	2	6	2	1	0	0
新木	11	0	0	0	3	8	0	0	0
布佐	10	0	0	2	5	3	0	0	0

問 20 で学童保育室を利用したいとお答えの方

問 20-2 お子さんが小学生の間は、土曜日に学童保育室を利用したいですか。

「利用したい」23.9%、「利用は考えていない」76.1%となっています。



【子どもの年齢別】

「利用したい」は、4～5歳（年中）が22人、5～6歳（年長）が23人となっています。

【地区別】

「利用したい」は、我孫子22人、天王台16人、新木3人、湖北及び布佐ともに2人となっています。

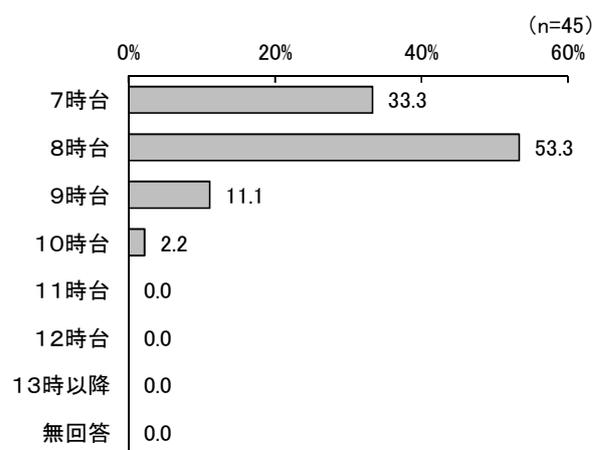
単位:人

		(n=)	利用したい	利用は考えていない	無回答
の 子 年 ど 齢 も	4～5歳	90	22	68	0
	5～6歳	98	23	75	0
地 区	我孫子	101	22	79	0
	天王台	53	16	37	0
	湖北	12	2	10	0
	新木	11	3	8	0
	布佐	10	2	8	0

問 20-2 で「利用したい」とお答えの方

問 20-3 お子さんが小学生の間は、土曜日に学童保育室を何時から利用したいですか。

「8時台」53.3%、「7時台」33.3%、「9時台」11.1%となっています。



【子どもの年齢別】

4～5歳（年中）は「8時台」13人、「7時台」8人、「10時台」1人、5～6歳（年長）は「8時台」11人、「7時台」7人、「9時台」5人となっています。

【地区別】

「8時台」は、我孫子16人、天王台5人、湖北、新木及び布佐いずれも1人となっています。「7時台」は天王台10人、我孫子及び新木ともに2人、湖北1人となっています。

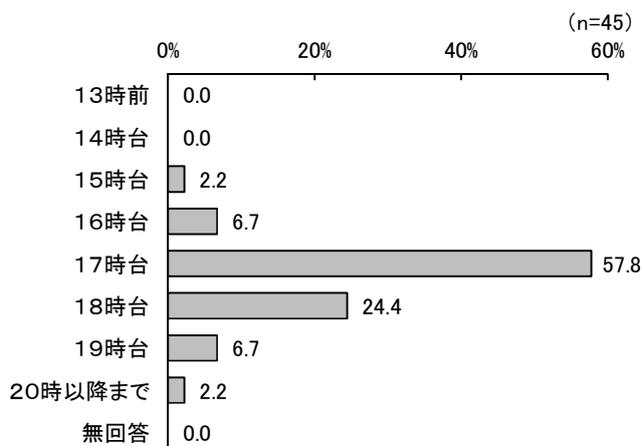
単位:人

		(n=)	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時以降	無回答
の子ども年齢も	4～5歳	22	8	13	0	1	0	0	0	0
	5～6歳	23	7	11	5	0	0	0	0	0
地区	我孫子	22	2	16	4	0	0	0	0	0
	天王台	16	10	5	0	1	0	0	0	0
	湖北	2	1	1	0	0	0	0	0	0
	新木	3	2	1	0	0	0	0	0	0
	布佐	2	0	1	1	0	0	0	0	0

問 20-2 で「利用したい」とお答えの方

問 20-4 お子さんが小学生の間は、土曜日に学童保育室を何時まで利用したいですか。

「17時台」57.8%、「18時台」24.4%、「16時台」及び「19時台」とともに6.7%となっています。



【子どもの年齢別】

「17時台」は4～5歳（年中）及び5～6歳（年長）ともに13人となっています。

【地区別】

「17時台」は我孫子16人、天王台5人、新木及び布佐ともに2人、湖北1人となっています。

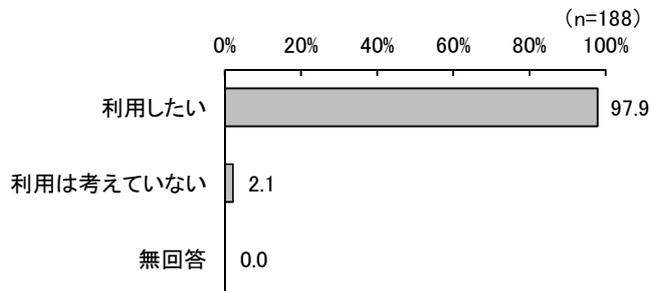
単位:人

		(n=)	13時前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降まで	無回答
の子ども年齢も	4～5歳	22	0	0	1	1	13	7	0	0	0
	5～6歳	23	0	0	0	2	13	4	3	1	0
地区	我孫子	22	0	0	0	2	16	2	2	0	0
	天王台	16	0	0	0	1	5	8	1	1	0
	湖北	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0
	新木	3	0	0	0	0	2	1	0	0	0
	布佐	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0

問 20 で学童保育室を利用したいとお答えの方

問 20-5 お子さんが小学生の間は、夏休み等の長期休業期間に学童保育室を利用したいですか。

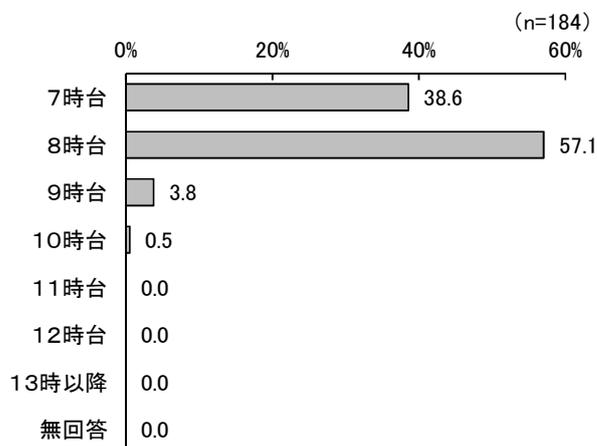
「利用したい」97.9%、「利用は考えていない」2.1%となっています。



問 20-5 で「利用したい」とお答えの方

問 20-6 お子さんが小学生の間は、夏休み等の長期休業期間に学童保育室を何時から利用したいですか。

「8時台」57.1%、「7時台」38.6%、「9時台」3.8%、「10時台」0.5%となっています。



【子どもの年齢別】

「8時台」は、4～5歳（年中）49人、5～6歳（年長）56人となっています。

【地区別】

新木を除いては「8時台」が最も多く、我孫子56人、天王台31人、湖北10人、布佐6人、新木2人となっています。「7時台」は我孫子36人、天王台21人、新木8人、布佐3人、湖北2人となっています。

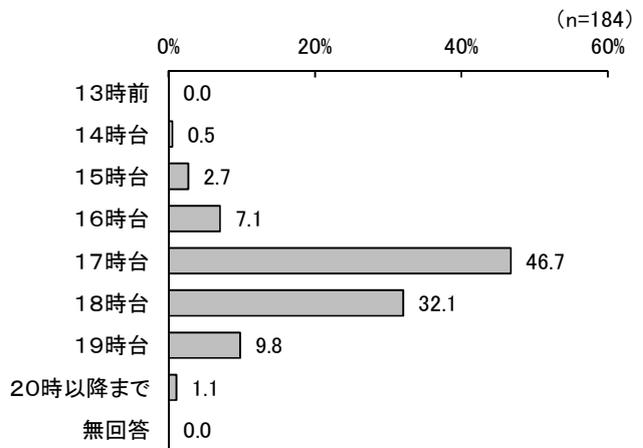
単位:人

		(n=)	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時以降	無回答
の子ども年齢も	4～5歳	88	35	49	4	0	0	0	0	0
	5～6歳	96	36	56	3	1	0	0	0	0
地区	我孫子	99	36	56	6	1	0	0	0	0
	天王台	53	21	31	1	0	0	0	0	0
	湖北	12	2	10	0	0	0	0	0	0
	新木	10	8	2	0	0	0	0	0	0
	布佐	9	3	6	0	0	0	0	0	0

問 20-5 で「利用したい」とお答えの方

問 20-7 お子さんが小学生の間は、夏休み等の長期休業期間に学童保育室を何時まで利用したいですか。

「17 時台」46.7%、18 時台 32.1%、「19 時台」9.8%、「16 時台」7.1%となっています。



【子どもの年齢別】

「17 時台」は、4～5 歳（年中）は 38 人、5～6 歳（年長）は 48 人となっています。

【地区別】

いずれの地区も「17 時台」が最も多く、我孫子 44 人、天王台 22 人、湖北 8 人、新木及び布佐ともに 6 人となっています。

単位:人

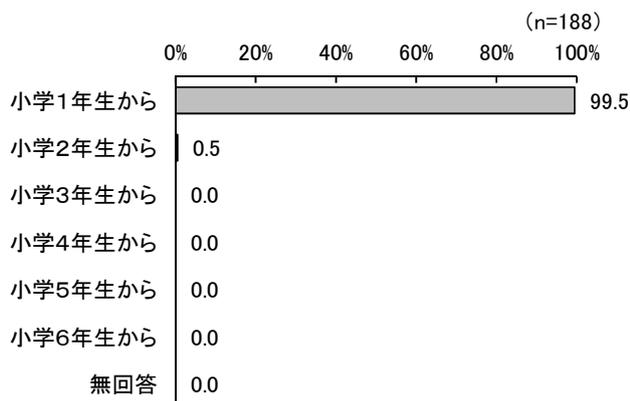
		(n=)	13時前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降まで	無回答
の子ども	4～5歳	88	0	1	4	5	38	31	9	0	0
	5～6歳	96	0	0	1	8	48	28	9	2	0
地区	我孫子	99	0	1	2	6	44	35	10	1	0
	天王台	53	0	0	2	4	22	17	7	1	0
	湖北	12	0	0	1	1	8	1	1	0	0
	新木	10	0	0	0	1	6	3	0	0	0
	布佐	9	0	0	0	1	6	2	0	0	0

問 20 で学童保育室を利用したいとお答えの方

問 20-8 学童保育室を何年生から何年生まで利用したいと考えていますか。

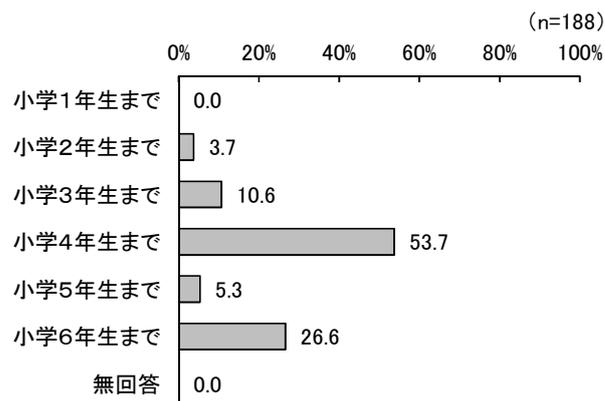
①何年生から

「小学1年生から」が回答者のほぼ全員である99.5%となっています。



②何年生まで

「小学4年生まで」が53.7%と約半数となっています。次いで「小学6年生まで」26.6%、「小学3年生まで」10.6%、「小学5年生まで」5.3%、「小学2年生まで」3.7%となっています。



【子どもの年齢別】

「小学4年生まで」は4～5歳48人、5～6歳53人、「小学6年生まで」は4～5歳27人、5～6歳23人となっています。

【地区別】

いずれの地区も「小学4年生まで」が最も多く、我孫子59人、天王台27人となっています。また、「小学6年生まで」は我孫子で25人、天王台で16人となっています。

②何年生まで

単位:人

		(n=)	小学1年生まで	小学2年生まで	小学3年生まで	小学4年生まで	小学5年生まで	小学6年生まで	無回答
の子ども年齢も	4～5歳	90	0	3	7	48	5	27	0
	5～6歳	98	0	4	13	53	5	23	0
地区	我孫子	101	0	5	9	59	3	25	0
	天王台	53	0	0	7	27	3	16	0
	湖北	12	0	1	2	5	2	2	0
	新木	11	0	1	1	6	1	2	0
	布佐	10	0	0	1	3	1	5	0

問 20 でファミリーサポートセンターを利用したいとお答えの方

問 20-9 ファミリーサポートセンターを何年生から何年生まで利用したいと考えていますか。

①何年生から

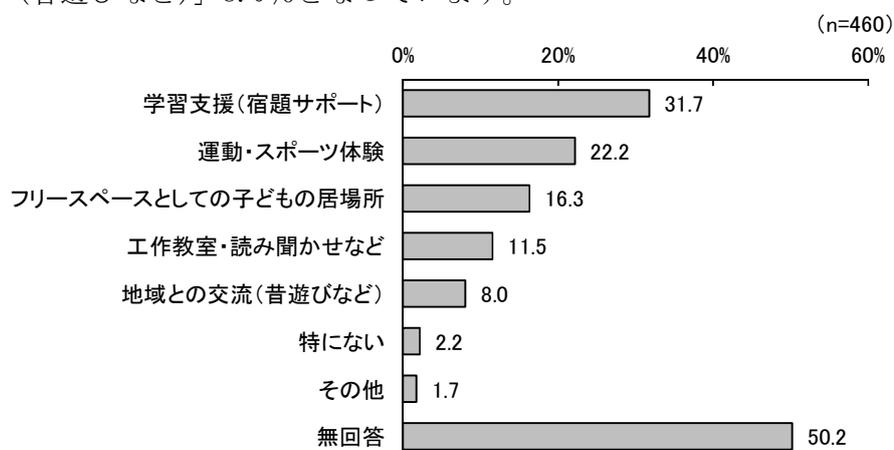
有効回答がありません。

②何年生まで

有効回答がありません。

問 21 あびっ子クラブに今後望むものは何ですか。2つまで選んでください。

「学習支援（宿題サポート）」31.7%が最も多く、次いで「運動・スポーツ体験」22.2%、「フリースペースとしての子どもの居場所」16.3%、「工作教室・読み聞かせなど」11.5%、「地域との交流（昔遊びなど）」8.0%となっています。



【子どもの年齢別】

いずれの年齢も「学習支援（宿題サポート）」が最も多く、なかでも0歳は74.1%となっています。また、「地域との交流（昔遊びなど）」は0歳25.9%、2～3歳20.7%で、「フリースペースとしての子どもの居場所」は0～1歳38.5%、3～4歳38.3%で多くなっています。

【地区別】

いずれの地区も「学習支援（宿題サポート）」が最も多くあげられ、布佐39.1%、新木37.5%の順となっています。また、「フリースペースとしての子どもの居場所」は湖北で32.7%と「学習支援（宿題サポート）」と同率で最も多くあげられています。

単位：人

		(n=)	学習支援 宿題サポート	運動 スポーツ体験	フリースペースとしての 子どもの居場所	工作教室 読み聞かせ など	地域との交流 昔遊びなど	特にな い	その他	無回 答
子どもの 年齢	0歳	27	74.1	48.1	29.6	11.1	25.9	3.7	3.7	0.0
	0～1歳	26	69.2	46.2	38.5	19.2	11.5	3.8	3.8	0.0
	1～2歳	19	52.6	47.4	31.6	10.5	10.5	15.8	5.3	0.0
	2～3歳	29	69.0	48.3	20.7	24.1	20.7	0.0	3.4	0.0
	3～4歳	47	59.6	38.3	38.3	27.7	17.0	4.3	4.3	0.0
	4～5歳	39	59.0	48.7	30.8	30.8	15.4	2.6	2.6	0.0
	5～6歳	260	6.5	4.2	4.2	2.7	1.5	0.8	0.4	88.8
地区	我孫子	196	30.6	20.4	11.2	9.7	6.6	3.1	1.5	55.1
	天王台	155	30.3	25.8	15.5	14.8	8.4	1.9	1.3	48.4
	湖北	52	32.7	17.3	32.7	15.4	13.5	0.0	1.9	38.5
	新木	32	37.5	21.9	25.0	3.1	9.4	0.0	3.1	50.0
	布佐	23	39.1	26.1	13.0	8.7	4.3	4.3	4.3	47.8

問 22 子育ての環境や支援について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。(助かっているサポートやこんなサポートが欲しいなど)

子育ての環境や支援に関しての意見を、自由記入方式でたずねました。594人(全体の30.6%)の回答者から計972件の意見があり、その内容を項目別にまとめると、以下のようになります。意見については、延べ件数でまとめています。

大分類	小分類	回答件数	順位
(1) 幼稚園・保育園・認定こども園等について	①施設整備(保育園の増設、待機児童の解消等)	8	21
	②受け入れの充実(時間外、長期休暇等)	16	9
	③保育料の見直し	8	21
	④入園条件の見直し	9	19
	⑤保育内容の充実	5	33
	⑥人員体制の充実	1	49
	⑦その他	16	9
(2) 小学校について	①教育内容の充実と見直し	2	43
	②登下校時の安全確保	5	33
	③校舎、設備の改修	2	43
	④いじめ	0	53
	⑤給食、給食費	2	43
	⑥PTA、学校と保護者の関わり	4	38
	⑦不登校	8	21
	⑧その他	10	15
(3) 中学校について	①教育内容の充実と見直し	2	43
	②登下校時の安全確保	2	43
	③校舎、設備の改修	1	49
	④いじめ	0	53
	⑤給食、給食費	0	53
	⑥PTA、学校と保護者の関わり	3	40
	⑦不登校	5	33
	⑧その他	2	43
(4) 学童保育室について	①施設整備(保育室の増設、待機児童の解消等)	1	49
	②受け入れの充実(時間外、長期休暇等)	6	29
	③利用料の見直し	6	29
	④利用条件の見直し	5	33
	⑤保育内容、活動内容の充実	7	25
	⑥人員体制の充実	3	40
	⑦その他	32	4

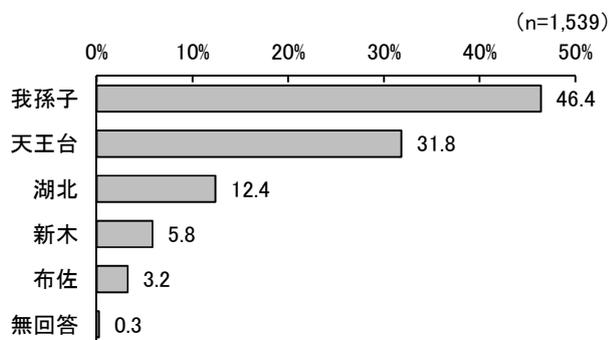
(5)あびっ子クラブについて	あびっ子クラブについて	76	1
(6)高校、高等教育について	高校、高等教育について	0	53
(7)子育て支援全般について	①情報発信	6	29
	②相談先の充実	10	15
	③母子保健(健診等)	1	49
	④子育て支援施設	10	15
	⑤一時預かり事業	16	9
	⑥病児・病後児保育事業	15	12
	⑦経済的支援(医療費助成、児童手当等)	26	6
	⑧ひとり親支援	6	29
	⑨障害児支援	15	12
	⑩学習支援	7	25
	⑪その他	36	3
(8)子育て環境について	①公園の整備	23	8
	②子どもの居場所(公共施設等)の充実	47	2
	③運動施設(プール、サッカー場等)の充実	4	38
	④交通手段	3	40
	⑤歩道の整備	5	33
	⑥安全対策(防犯等)	9	19
	⑦商業施設等	0	53
	⑧医療機関の充実	10	15
	⑨地域のつながり	7	25
	⑩イベントの充実	7	25
	⑪その他	11	14
(9)その他	①市政について	26	6
	②アンケートについて	8	21
	③その他	30	5

2 小学生の保護者

(1) 子どもと家族の状況について

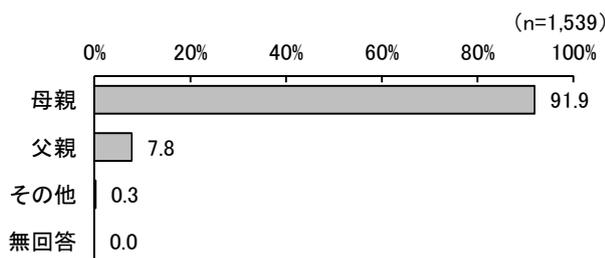
問1 あなたがお住まいの地区はどちらですか。

「我孫子」46.4%、「天王台」31.8%、「湖北」12.4%、「新木」5.8%、「布佐」3.2%となっています。



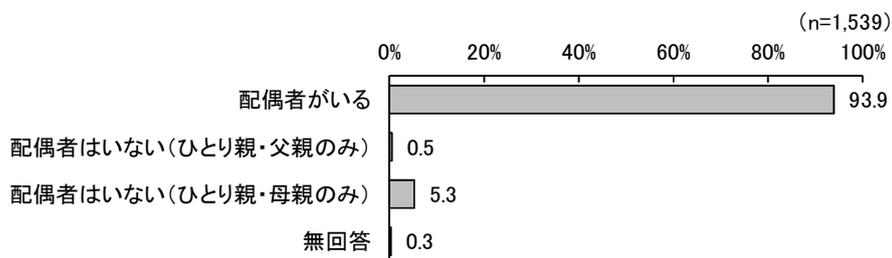
問2 この調査にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

「母親」91.9%、「父親」7.8%となっています。



問3 この調査にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

「配偶者がいる」93.9%、「配偶者はいない（ひとり親・母親のみ）」5.3%、「配偶者はいない（ひとり親・父親のみ）」0.5%となっています。

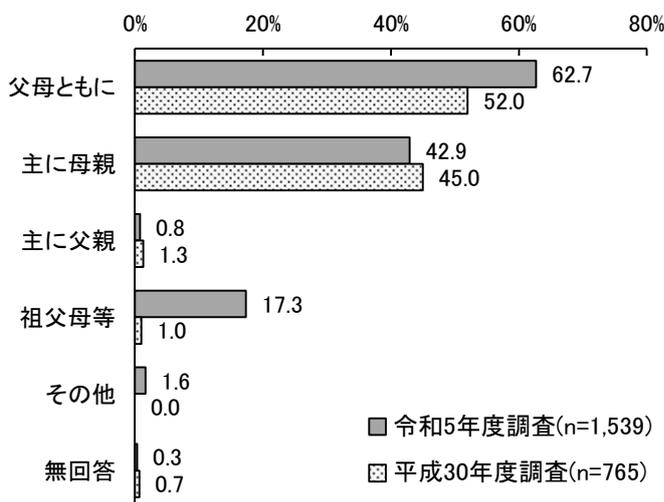


(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問4 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で選んでください。

「父母ともに」62.7%、「主に母親」42.9%、「祖父母等」17.3%、「主に父親」0.8%となっています。

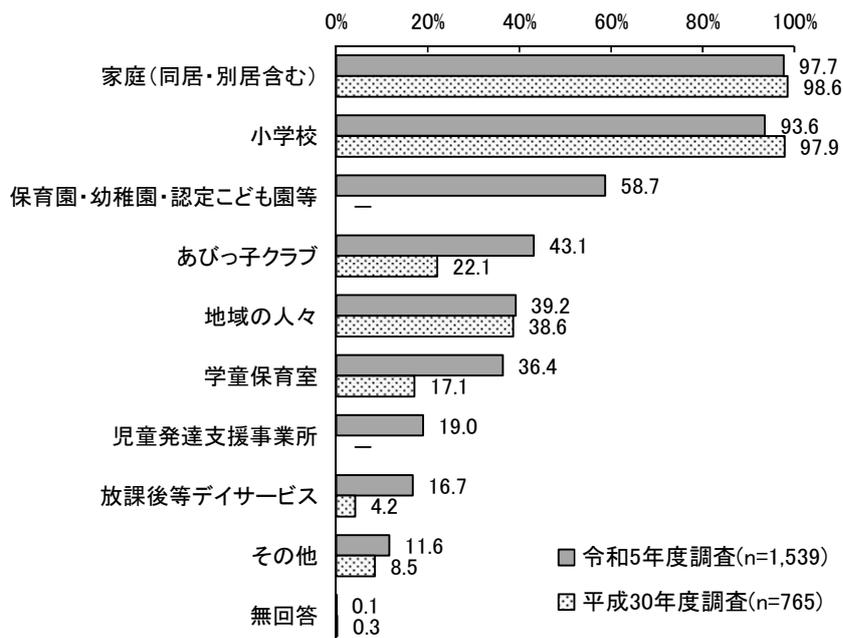
平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」が増加しています。



問5 お子さんの子育てに影響すると思われる環境をすべて選んでください。

「家庭（同居・別居含む）」97.7が最も多く、次いで「小学校」93.6%、「保育園・幼稚園・認定こども園等」58.7%、「あびっ子クラブ」43.1%、「地域の人々」39.2%、「学童保育室」36.4%、「児童発達支援事業所」19.0%、「放課後等デイサービス」16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「小学校」がやや減少し、「あびっ子クラブ」「学童保育室」が大きく増加しています。

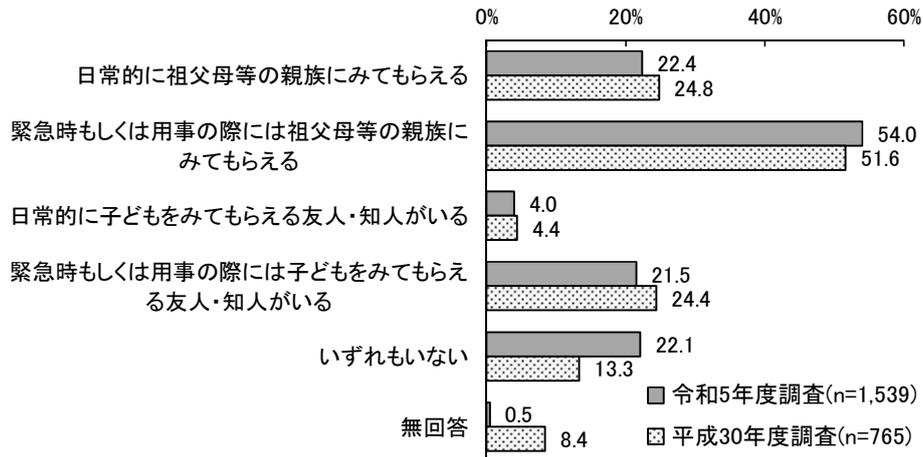


※平成30年度調査には、「保育園・幼稚園・認定こども園等」「児童発達支援事業所」の選択肢はありません。

問6 日頃お子さんを見てもらえる親族や友人・知人はいますか。当てはまるものをすべて選んでください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」54.0%が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」22.4%、「いずれもない」22.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」21.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」は10ポイント近くも増加し、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」のやや増加以外は、すべて減少しています。



【地区別】

地区別でみると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は布佐が38.0%と最も多く、最も少ないのは我孫子19.7%となっています。「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」は新木62.2%に多くなっています。「日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる」は布佐が26.0%なのに対し、他の地区は1ケタにとどまっています。

単位: %

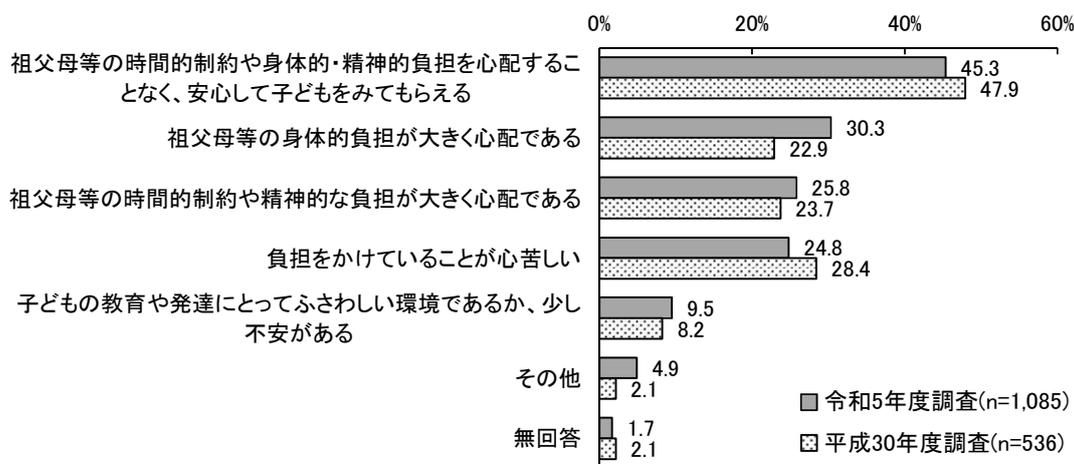
	(n=)	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
我孫子	714	19.7	53.1	2.9	21.0	24.5	0.4
天王台	490	22.0	54.1	3.3	22.4	21.2	0.4
湖北	191	25.7	52.9	3.1	18.8	20.4	1.0
新木	90	26.7	62.2	4.4	24.4	20.0	0.0
布佐	50	38.0	56.0	26.0	24.0	8.0	0.0

問6で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した方

問6-1 親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまるものをすべて選んでください。

「祖父母等の時間的制約や身体的・精神的負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」45.3%が最も多く、次いで「祖父母等の身体的負担が大きく心配である」30.3%、「祖父母等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」25.8%、「負担をかけていることが心苦しい」24.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母等の身体的負担が大きく心配である」「祖父母等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」いずれも増加しています。

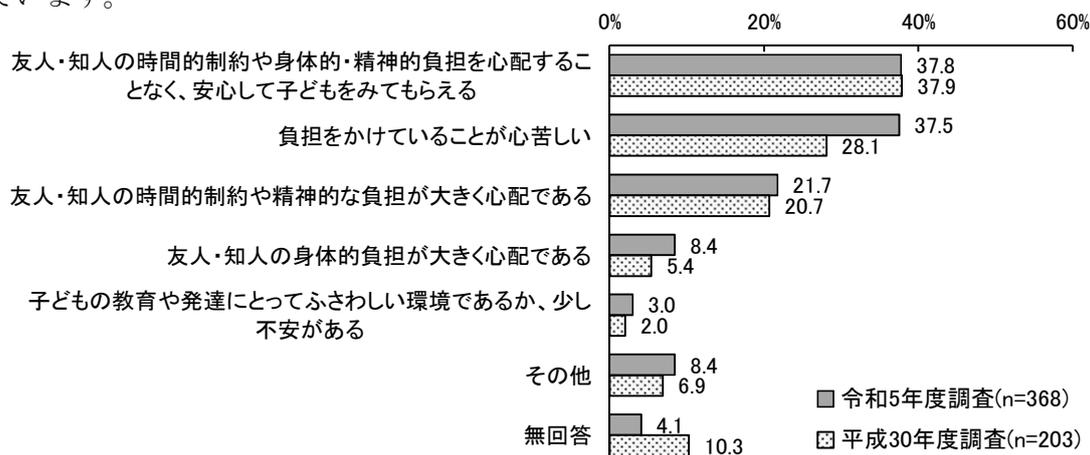


問6で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した方

問6-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまるものをすべて選んでください。

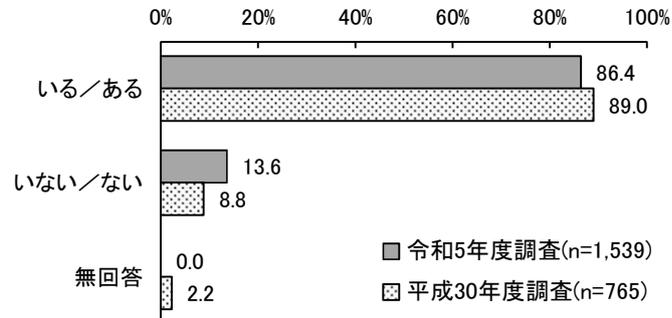
「友人・知人の時間的制約や身体的・精神的負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」37.8%、「負担をかけていることが心苦しい」37.5%、ほとんど差がなくあげられています。次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」21.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「負担をかけていることが心苦しい」は、10ポイント近く増えています。



問7 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所
はありますか。

「いる／ある」が86.4%、「いない／ない」が13.6%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「いない／ない」が増加しています。



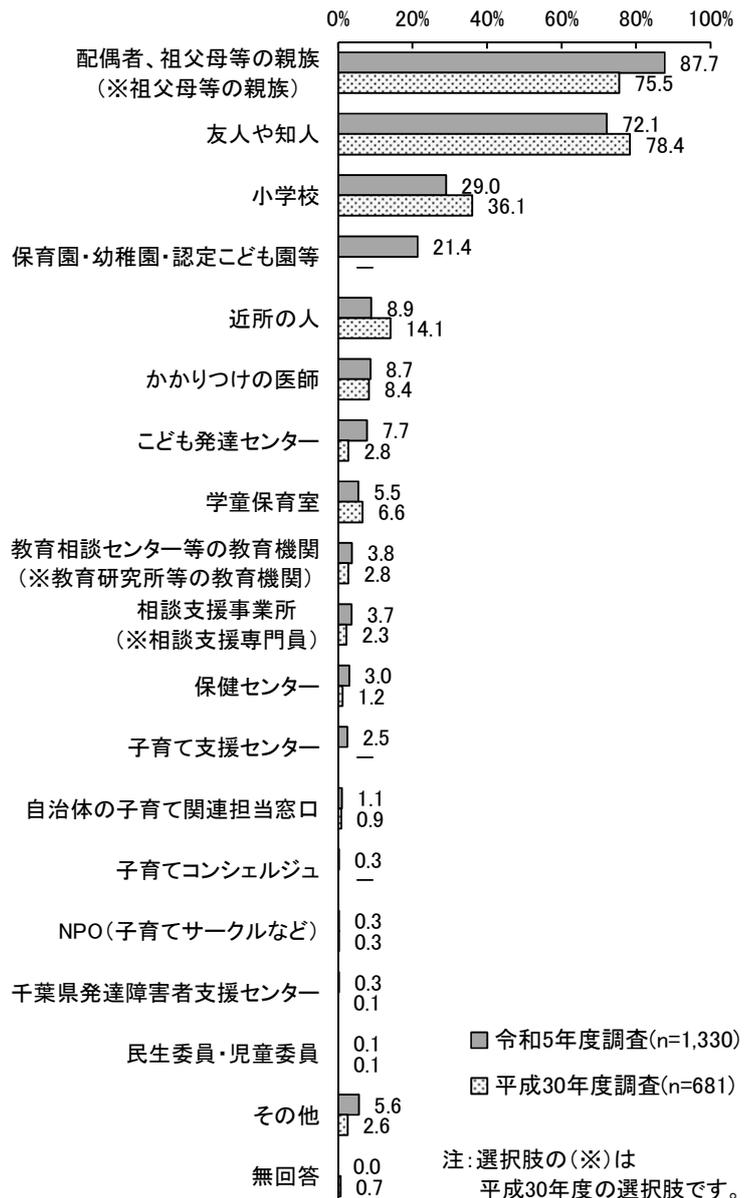
問7で「いる／ある」と回答した方

問7-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまるものをすべて選んでください。

「配偶者、祖父母等の親族」87.7%、
「友人や知人」72.1%、「小学校」
29.0%、「保育園・幼稚園・認定こども
園等」21.4%、「近所の人」8.9%、「か
かりつけの医師」8.7%となっていま
す。

平成30年度と比較すると、「配偶者、
祖父母等の親族」が増えています。

※平成30年度調査には、「子育て支援センタ
ー」「子育てコンシェルジュ」「保育園・幼稚
園・認定こども園等」の選択肢はありません。



注：選択肢の(※)は
平成30年度の選択肢です。

【学年別】

子どもの年齢別でみると、いずれの年齢も「配偶者、祖父母等の親族」及び「友人や知人」が多く、「小学校」は6～7歳（1年生）、7～8歳（2年生）及び10～11歳（5年生）、11～12歳（6年生）に、「保育園・幼稚園・認定こども園等」は8～9歳（3年生）以下にやや多くなっています。

単位：%

	(n=)	配偶者 の親族 祖父母等	友人や知人	小学校	保育園 幼稚園 認定こども園等	近所の人	かかりつけの医師	こども発達センター	学童保育室	教育相談センター 等の教育機関	相談支援事業所
6～7歳(1年生)	245	89.8	71.4	32.2	25.3	10.6	10.2	9.4	11.4	3.3	4.9
7～8歳(2年生)	246	90.7	72.8	32.5	22.4	9.3	8.9	5.7	4.9	2.0	2.8
8～9歳(3年生)	206	85.9	72.8	26.2	26.2	8.7	7.8	9.7	3.9	4.4	2.9
9～10歳(4年生)	184	85.3	71.7	23.4	16.3	8.7	7.1	4.9	3.8	4.3	2.7
10～11歳(5年生)	211	89.6	73.0	31.3	13.7	6.6	7.6	8.5	3.8	3.3	2.4
11～12歳(6年生)	141	82.3	73.8	29.8	13.5	7.8	12.8	5.7	2.8	8.5	2.8

	(n=)	保健センター	子育て支援センター	自治体の子育て関 連担当窓口	子育てコンシェルジュ	子育てサークル など	千葉県発達障害者 支援センター	民生委員 児童委員	その他	無回答
6～7歳(1年生)	245	4.5	3.3	2.0	0.8	0.4	0.4	0.4	6.5	0.0
7～8歳(2年生)	246	4.1	3.3	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	6.1	0.0
8～9歳(3年生)	206	1.9	1.0	1.5	0.0	0.0	1.0	0.0	6.8	0.0
9～10歳(4年生)	184	1.6	2.2	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
10～11歳(5年生)	211	2.8	2.4	2.4	0.0	0.9	0.0	0.0	4.3	0.0
11～12歳(6年生)	141	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5	0.0

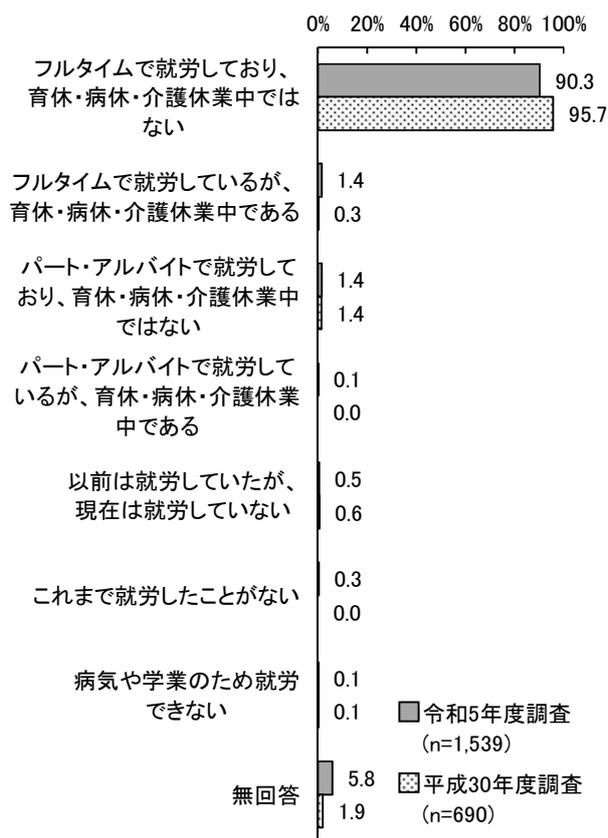
(3) 保護者の就労状況について

問8 保護者の現在の就労状況について、当てはまるものを選んでください。

①父親

「フルタイムで就労しており、育休・病休・介護休業中ではない」が90.3%となっています。

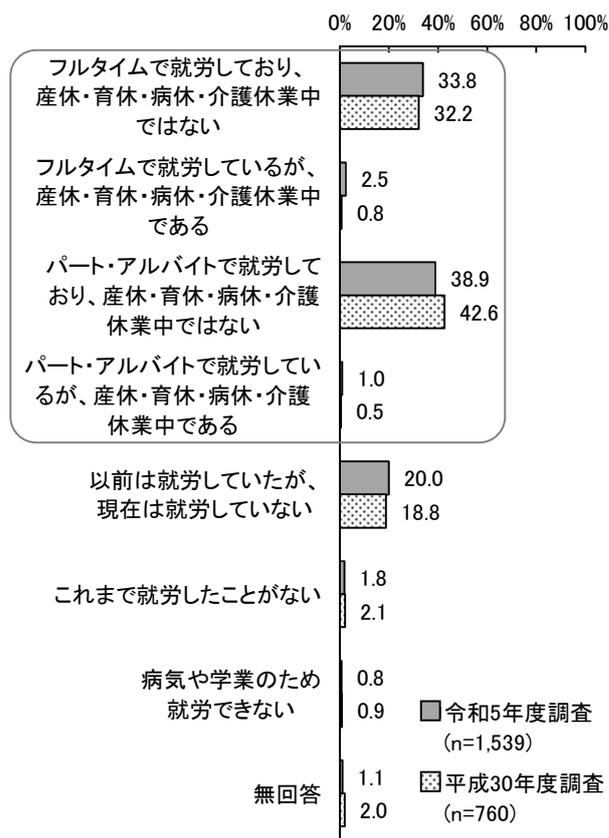
平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、育休・病休・介護休業中ではない」はやや減っています。



②母親

就労している母親（グラフの囲み部分）は76.2%となっています。就労形態は「パート・アルバイトで就労しており、産休・育休・病休・介護休業中ではない」38.9%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・病休・介護休業中ではない」33.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、フルタイム就労及びパート・アルバイトでも「産休・育休・病休・介護休業中である」がやや増えています。

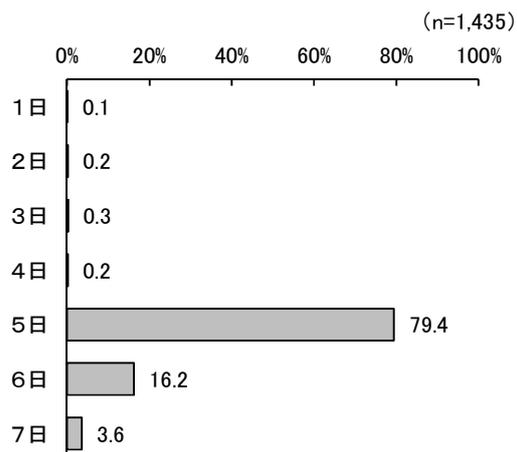


問8で「フルタイムで就労しており、(産休・)育休・病休・介護休業中ではない」から「パート・アルバイトで就労しているが、(産休・)育休・病休・介護休業中である」と回答した方(問8-4まで同様)

問8-1 1週当たりの就労日数(土日・祝日を含む)は何日ですか。就労日数が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

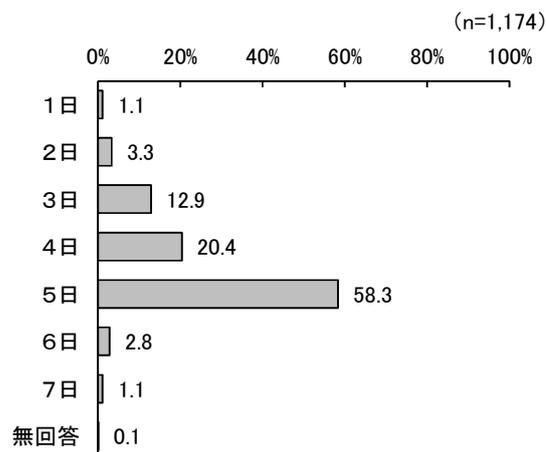
①父親

「5日」79.4%、「6日」16.2%となっています。



②母親

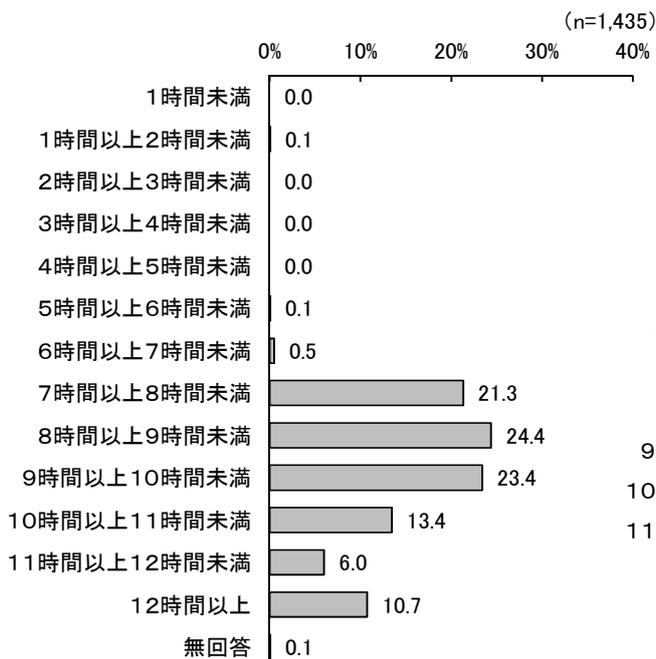
「5日」58.3%、次いで「4日」20.4%、「3日」12.9%となっています。



問8-2 1日当たりの勤務時間(残業時間を含む)は何時間ですか。勤務時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

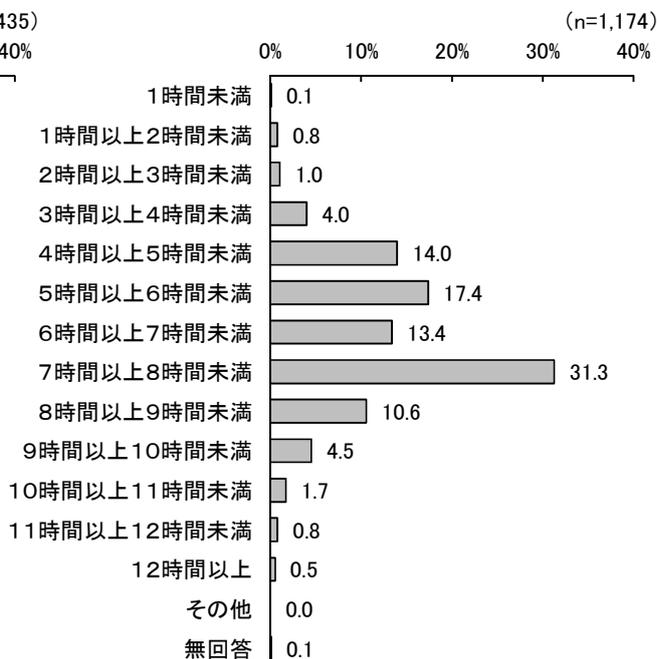
①父親

「8時間以上9時間未満」24.4%、「9時間以上10時間未満」23.4%、「7時間以上8時間未満」21.3%、「10時間以上11時間未満」13.4%となっています。



②母親

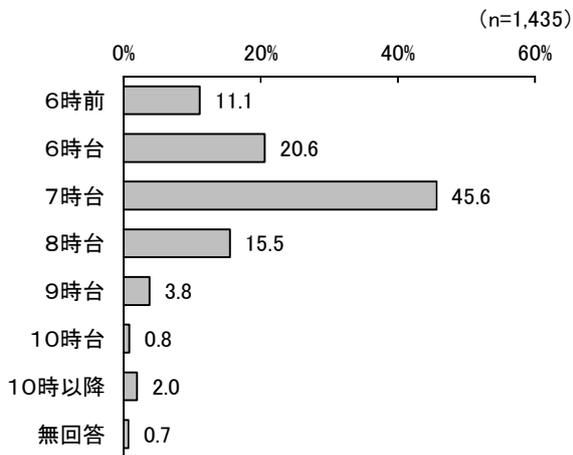
「7時間以上8時間未満」31.3%、「5時間以上6時間未満」17.4%、「4時間以上5時間未満」14.0%、「6時間以上7時間未満」13.4%となっています。



問8-3 家を出る時間は何時ですか。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

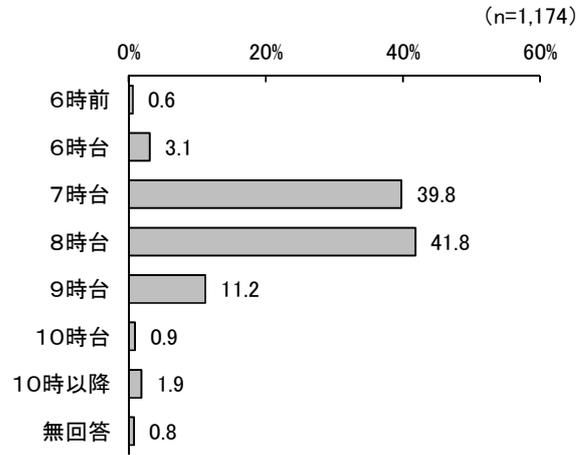
①父親

「7時台」45.6%、「6時台」20.6%、「8時台」15.5%となっています。



②母親

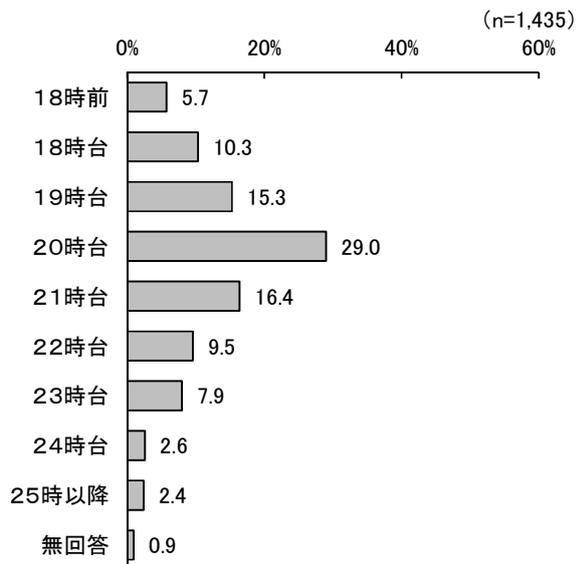
「8時台」41.8%、「7時台」39.8%、「9時台」11.2%となっています。



問8-4 帰宅時間は何時ですか。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

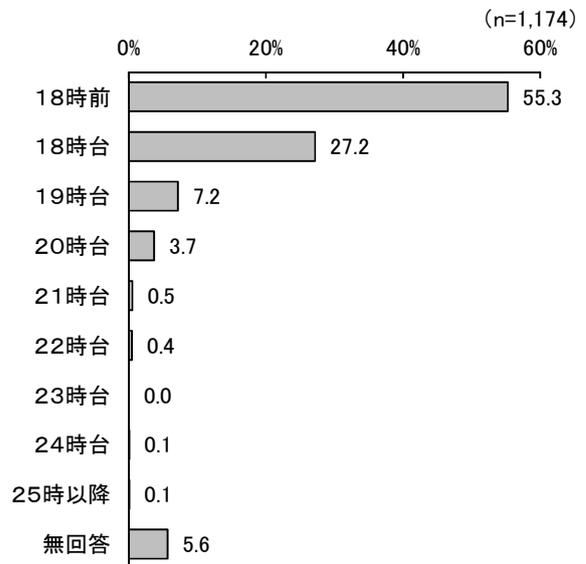
①父親

「20時台」29.0%、「21時台」16.4%、「19時台」15.3%、「18時台」10.3%となっています。



②母親

「18時前」55.3%、「18時台」27.2%、「19時台」7.2%となっています。



問8で「パート・アルバイトで就労しており、(産休・)育休・病休・介護休業中ではない」「パート・アルバイトで就労しているが、(産休・)育休・病休・介護休業中である」と回答した方

問8-5 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまるものを選んでください。

①父親

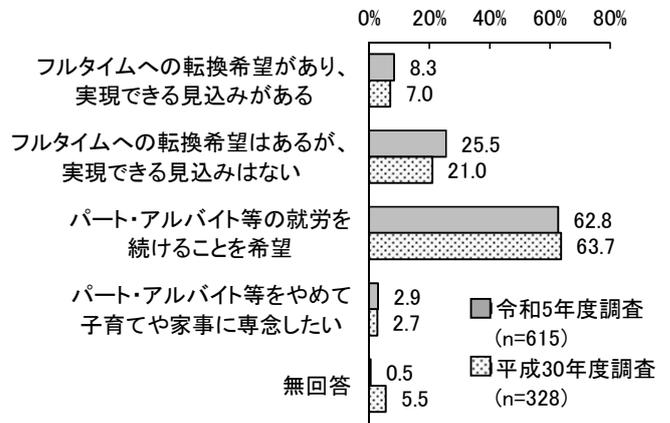
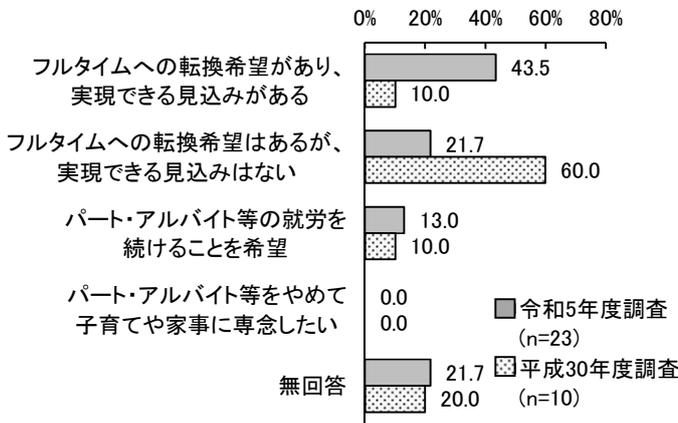
「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」43.5%が、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」21.7%を上回ります。「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は13.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が大きく増加しています。

②母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が62.8%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」25.5%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」8.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、フルタイムへの転換希望が増加しています。

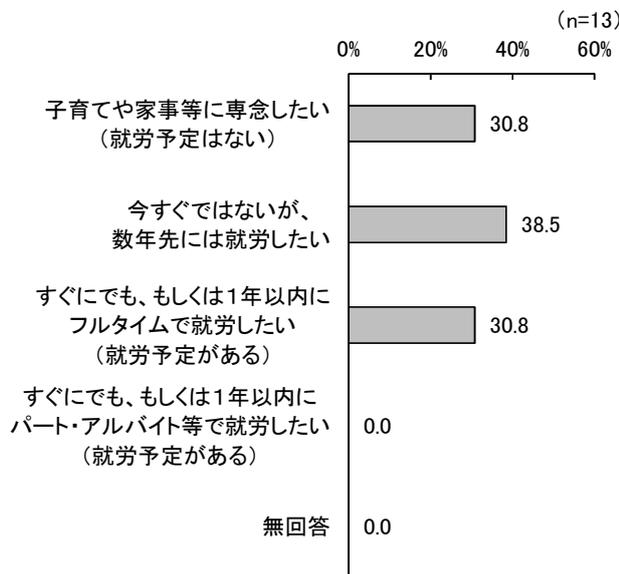


問8で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と回答した方

問8-6 就労したいという希望はありますか。当てはまるものを選んでください。

①父親

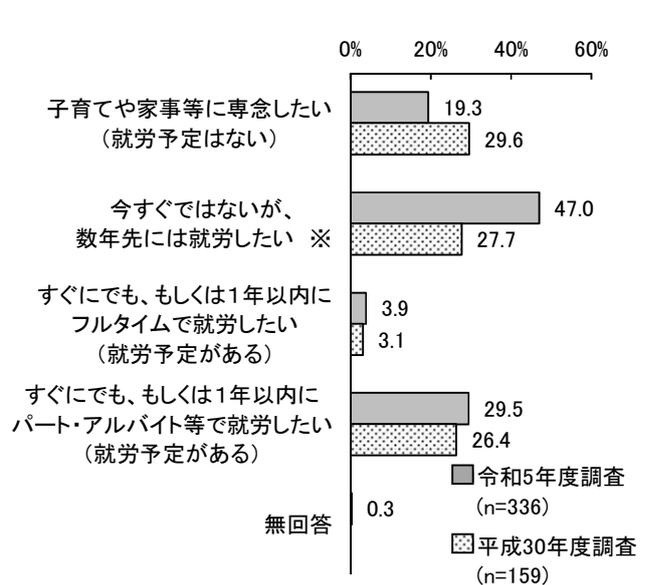
「今すぐではないが、数年先には就労したい」5件、38.5%、「すぐにでも、もしくは1年以内にフルタイムで就労したい（就労予定がある）」「子育てや家事等に専念したい（就労予定はない）」ともに4件、30.8%となっています。



②母親

「今すぐではないが、数年先には就労したい」47.0%、「すぐにでも、もしくは1年以内にパート・アルバイト等で就労したい（就労予定がある）」29.5%、「子育てや家事等に専念したい（就労予定はない）」19.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「就労したい」意向が増えています。



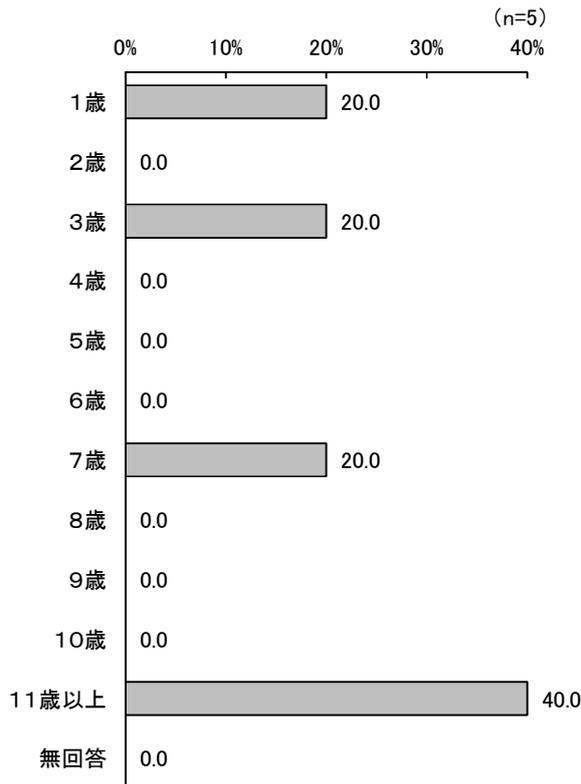
※平成30年度調査では、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」

問8-6で「今すぐではないが、数年先には就労したい」と回答した方

問8-7 一番下の子どもが何歳になったところに就労したいですか。

①父親

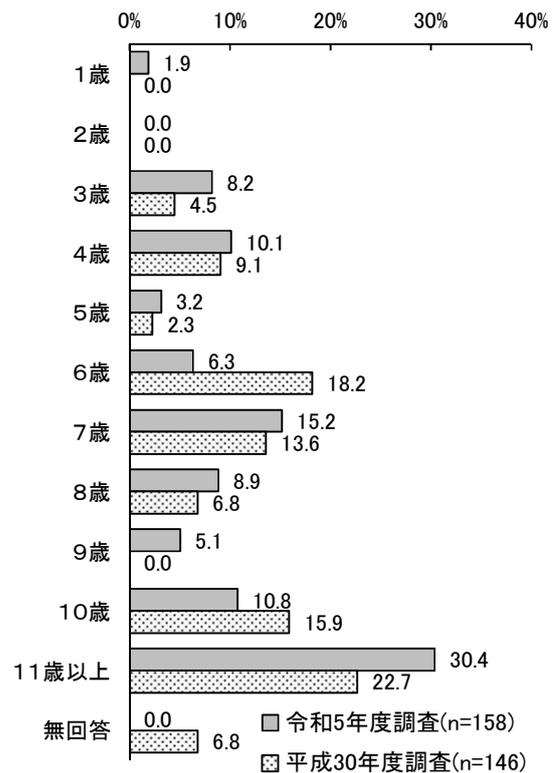
「11歳以上」が2件、「1歳」「3歳」「7歳」がそれぞれ1件となっています。



②母親

「11歳以上」30.4%、「7歳」15.2%、「10歳」10.8%、「4歳」10.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「11歳以上」が大きく増加しています。



問8-6で「すぐにでも、もしくは1年以内にパート・アルバイト等で就労したい（就労予定がある）」と回答した方

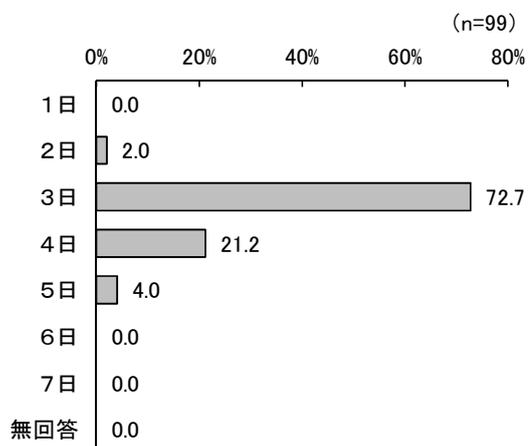
問8-8 希望する就労形態は1週当たり何日ですか。

①父親

有効回答はありません。

②母親

「3日」72.7%、「4日」21.2%となっています。



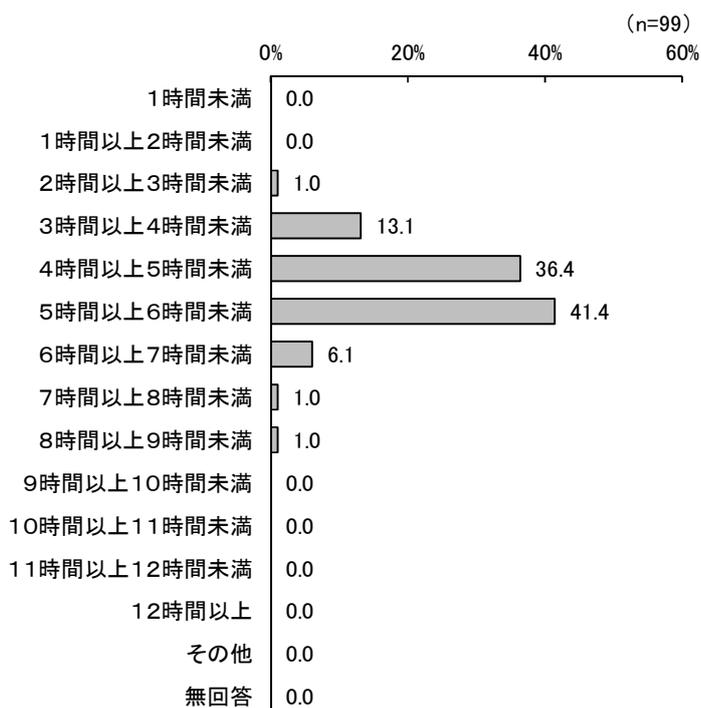
問8-9 希望する就労形態は1日当たり何時間ですか。

①父親

有効回答はありません。

②母親

「5時間以上6時間未満」41.4%、「4時間以上5時間未満」36.4%、「3時間以上4時間未満」13.1%となっています。

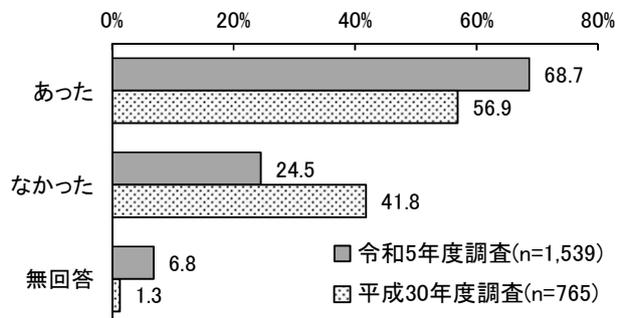


(4) 病気の際の対応について

問9 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校に行けなかったことはありますか。

「あった」68.7%、「なかった」24.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あった」が増えています。



【学年別】

学年別にみると、「あった」は7～8歳（2年生）80.4%、6～7歳（1年生）77.3%、8～9歳（3年生）74.4%の順となっています。

平成30年度調査と比較すると、いずれの学年も「あった」が増加しています。

単位: %

	(n=)	あ た	な か た	無 回 答
6～7歳(1年生)	277	77.3	21.7	1.1
7～8歳(2年生)	281	80.4	19.6	0.0
8～9歳(3年生)	242	74.4	25.2	0.4
9～10歳(4年生)	210	68.6	31.4	0.0
10～11歳(5年生)	243	70.0	30.0	0.0
11～12歳(6年生)	180	66.7	33.3	0.0

問9で「あった」と回答した方

問9-1 お子さんが病気やケガで学校に行けなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまるものの日数を選んでください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

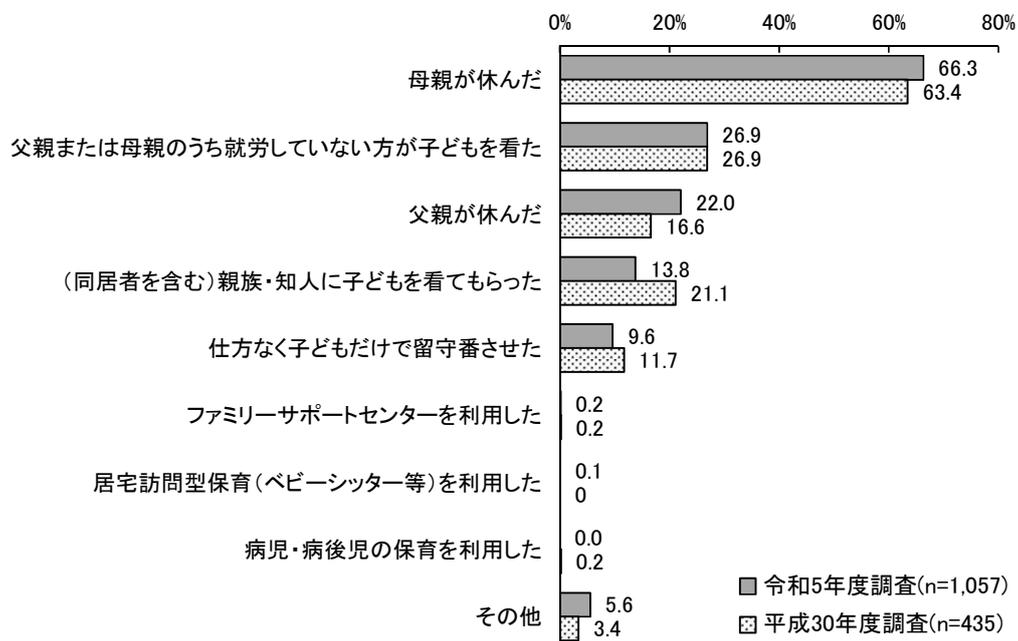
「1日～4日」から「50日以上」の合計は、「母親が休んだ」が最も多く66.3%、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」26.9%、「父親が休んだ」22.0%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを見てもらった」13.8%、となっています。

日数は、いずれも「1日～4日」が多く、「母親が休んだ」36.7%、「父親が休んだ」16.6%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」11.3%となっています。

単位:%

(n=1,057)	0日	1日～4日	5日～9日	10日～19日	20日～29日	30日～49日	50日以上	無回答	1日～50日以上
父親が休んだ	76.8	16.6	4.2	0.9	0.2	0.2	0.0	1.1	22.0
母親が休んだ	32.5	36.7	19.1	7.7	1.4	0.7	0.8	1.2	66.3
父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た	72.0	11.3	8.2	5.6	0.8	0.5	0.6	1.1	26.9
(同居者を含む)親族・知人に子どもを見てもらった	85.1	9.9	2.8	0.9	0.0	0.0	0.1	1.1	13.8
病児・病後児の保育を利用した	98.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
居宅訪問型保育(ベビーシッター等)を利用した	98.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.1
ファミリーサポートセンターを利用した	98.7	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.2
仕方なく子どもだけで留守番させた	89.2	7.6	1.6	0.3	0.1	0.0	0.1	1.1	9.6
その他	93.3	3.0	1.7	0.6	0.0	0.1	0.2	1.1	5.6

「1日～4日」から「50日以上」の合計を平成30年度調査と比較すると、「母親が休んだ」「父親が休んだ」がともに増加しています。



【学年別】

「1日～4日」から「50日以上」の合計を学年別で見ると、「母親が休んだ」は6～7歳（1年生）73.8%、11～12歳（6年生）70.8%、8～9歳（3年生）66.1%、9～10歳（4年生）64.6%となっています。

「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」は7～8歳（2年生）33.2%、8～9歳（3年生）30.6%となっています。

また、「仕方なく子どもだけで留守番させた」は11～12歳（6年生）24.2%、10～11歳（5年生）18.2%にやや多くあげられています。

単位:%

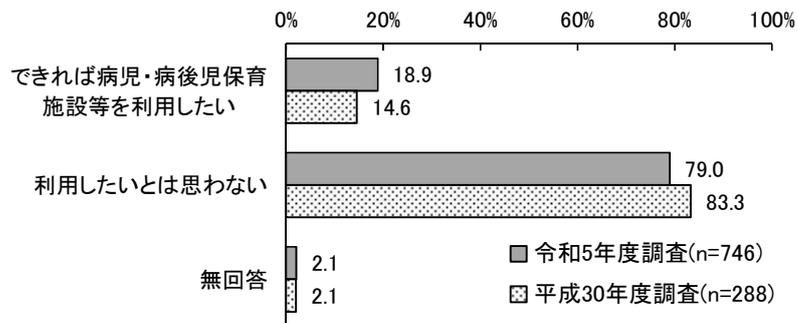
	(n=)	父親が休んだ	母親が休んだ	父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た	（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった	病児・病後児の保育を利用した	居宅訪問型保育ベビーマッサージ等を利用した	ファミリーサポートセンターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番させた	その他
6～7歳(1年生)	214	33.6	73.8	22.9	15.4	0.0	0.0	0.0	2.8	5.6
7～8歳(2年生)	226	23.5	60.6	33.2	13.3	0.0	0.4	0.4	4.4	4.0
8～9歳(3年生)	180	15.6	66.1	30.6	12.8	0.0	0.0	0.6	6.1	7.2
9～10歳(4年生)	144	20.1	64.6	21.5	12.5	0.0	0.0	0.0	10.4	8.3
10～11歳(5年生)	170	18.8	62.9	28.2	14.1	0.0	0.0	0.0	18.2	4.1
11～12歳(6年生)	120	15.0	70.8	20.8	14.2	0.0	0.0	0.0	24.2	4.2

問9-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」と回答した方

問9-2 父親または母親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまるものを選んでください。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」18.9%、「利用したいとは思わない」79.0%となっています。

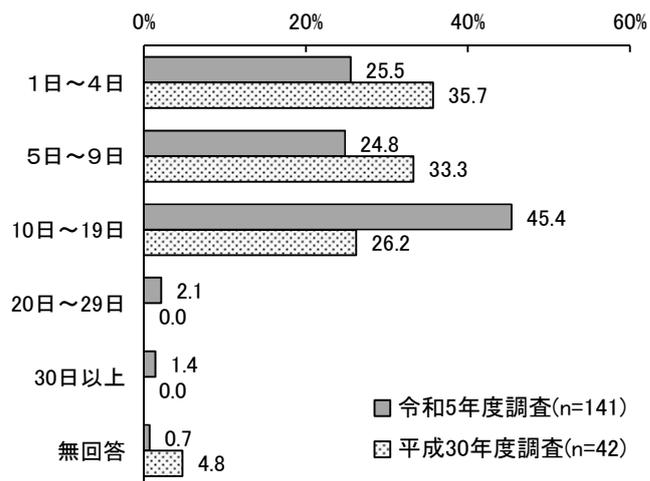
平成30年度調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」がやや増えています。



問9-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方

問9-3 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われた利用希望日数は年間何日ですか。

「10日～19日」45.4%、「1日～4日」25.5%、「5日～9日」24.8%となっています。平成30年度と比較すると、「10日～19日」が大きく増加しています。

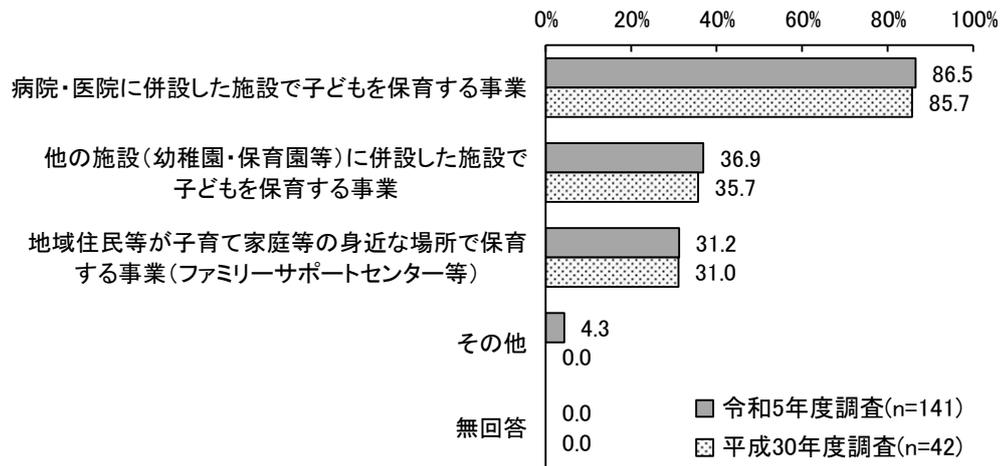


問9-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方

問9-4 病児・病後児の子どもを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまるものをすべて選んでください。

「病院・医院に併設した施設で子どもを保育する事業」86.5%、次いで「他の施設（幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」36.9%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリーサポートセンター等）」31.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、ほぼ同じとなっています。

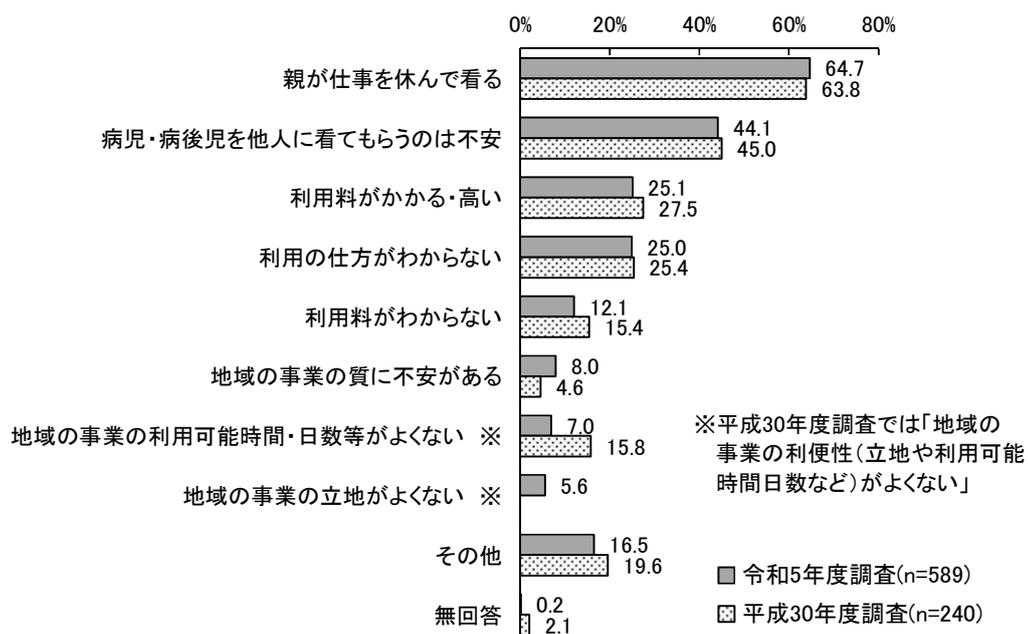


問9-2で「利用したいと思わない」と回答した方

問9-5 「利用したいと思わない」理由として、当てはまるものをすべて選んでください。

「親が仕事を休んで見る」64.7%、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」44.1%、「利用料がかかる・高い」25.1%、「利用の仕方がわからない」25.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、ほぼ同じとなっていますが、「利用料がわからない」がやや減り、「地域の事業の質に不安がある」がやや増えています。

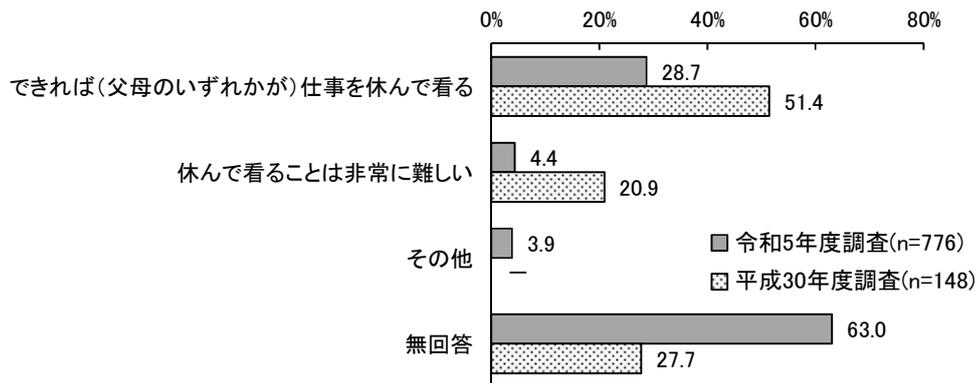


問9-1で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」から「その他」と回答した方

問9-6 お子さんが病気やケガで学校等に行けなかった際、「仕事を休めなかったときも、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまるものを選んでください。

「できれば(父母のいずれかが)仕事を休んで看る」が28.7%、「休んで看ることは非常に難しい」4.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「できれば(父母のいずれかが)仕事を休んで看る」が大きく減少し、無回答が大きく増加しています。

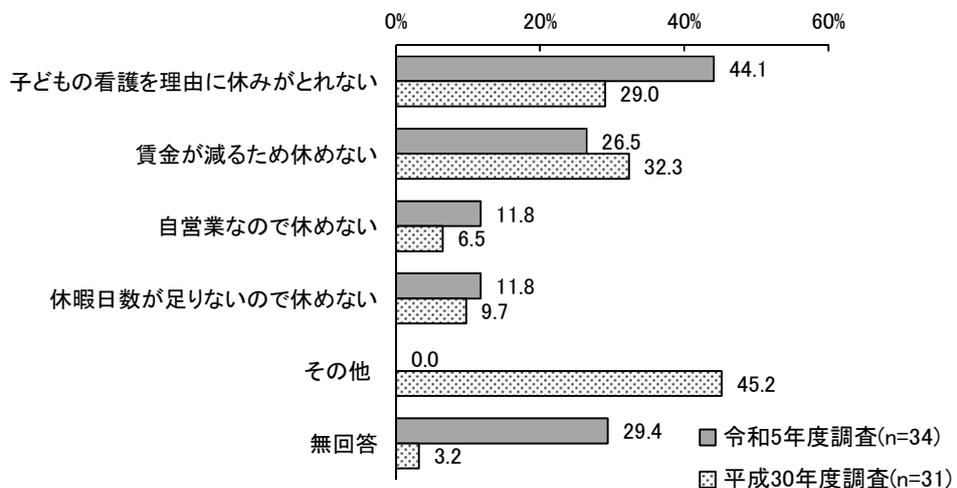


問9-6で「休んで看ることは非常に難しい」と回答した方

問9-7 「休んで看ることは非常に難しい」と思う理由について、当てはまるものをすべて選んでください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」44.1%、「賃金が減るため休めない」26.5%となっています。

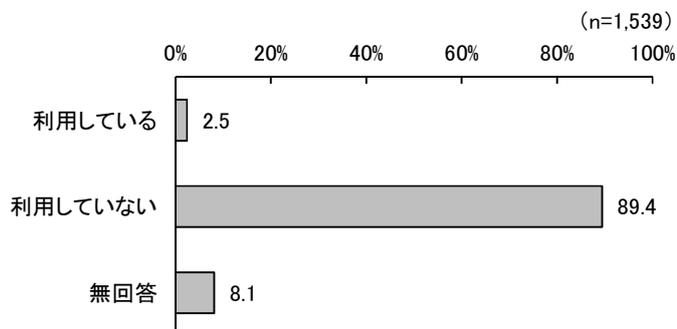
平成30年度と比較すると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が増加し、「賃金が減るため休めない」は減少しています。



(5) 子どもの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 10 私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、ファミリーサポートセンター等の事業を不規則で利用していますか。

「利用している」2.5%、「利用していない」89.4%となっています。



問 10 で「利用している」と回答した方

問 10-1 私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、不規則で利用している事業について、当てはまるものすべての事業と、その1年間の利用日数（おおよそ）を選んでください。

「ファミリーサポートセンター」は「5日～9日」26.3%、「1日～4日」15.8%となっています。

単位: %

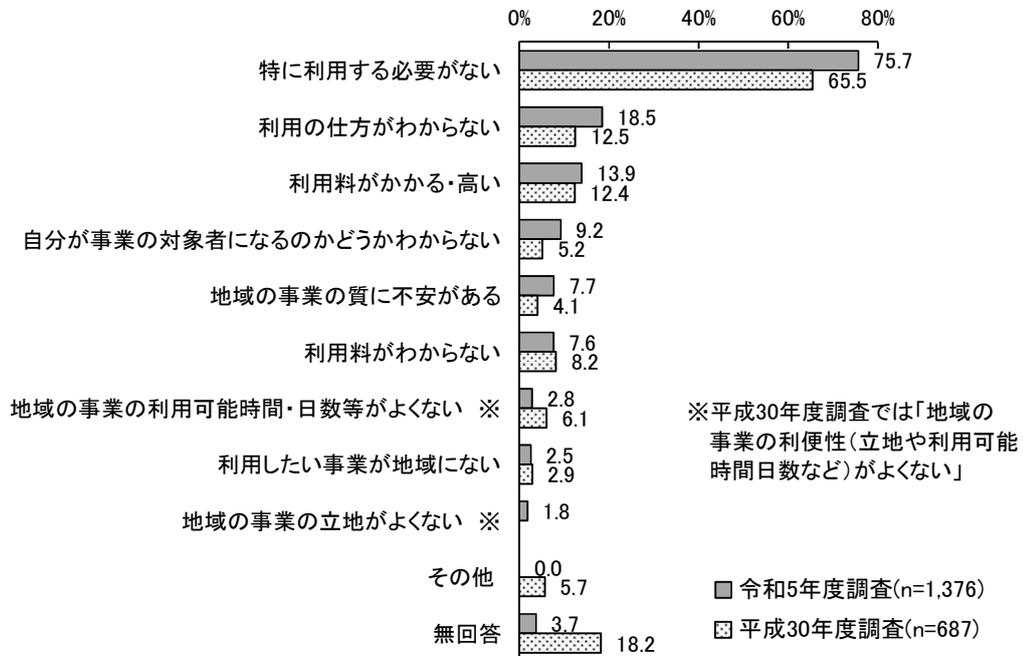
(n=38)	0日	1日 ～4日	5日 ～9日	10日 ～19日	20日 ～29日	30日 ～49日	50日 以上	無回答	1日 ～50日 以上
ファミリーサポートセンター	34.2	15.8	26.3	7.9	5.3	0.0	7.9	2.6	63.2
子ども短期入所事業	97.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0
居宅訪問型保育	92.1	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	5.3
その他	76.3	5.3	2.6	5.3	0.0	2.6	5.3	2.6	21.1

問 10 で「利用していない」と回答した方

問 10-2 現在利用していない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。

「特に利用する必要がない」が 75.7%と最も多く、次いで「利用の仕方がわからない」18.5%、「利用料がかかる・高い」13.9%、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」9.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「特に利用する必要がない」が増加しています。

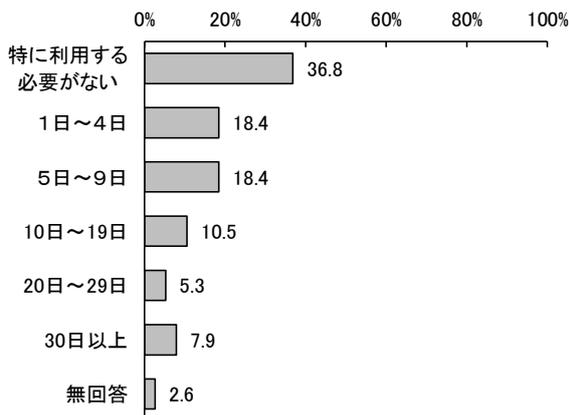


問 10 で「利用している」と回答した方

問 10-3 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、お子さんについて、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。必要な日数を選んでください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

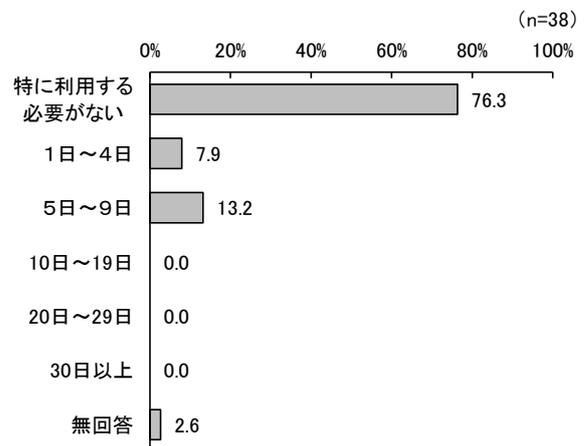
①私用(買い物、きょうだいや親の習い事等)リフレッシュ目的

「1日～4日」「5日～9日」とともに18.4%、「10～19日」10.5%、「30日以上」7.9%、「20～29日」5.3%となっています。(n=38)



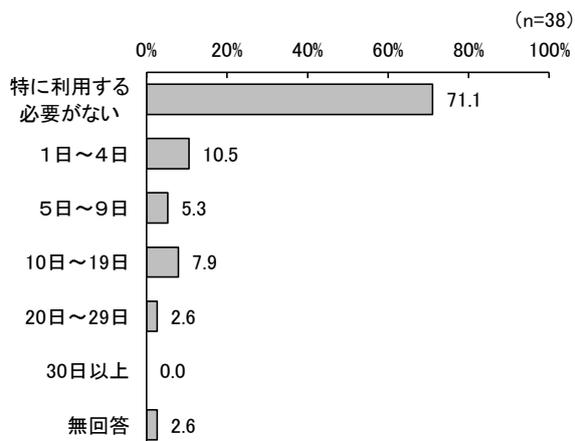
②冠婚葬祭、学校行事、きょうだいや親の通院等

「5日～9日」13.2%、「1日～4日」7.9%となっています。(n=38)



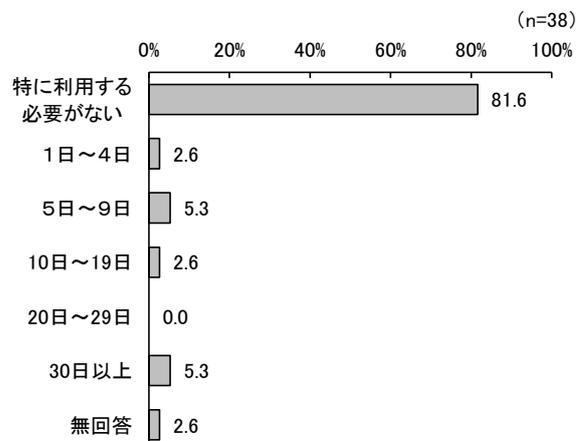
③不定期の就労

「1日～4日」10.5%、「10日～19日」7.9%、「5日～9日」5.3%となっています。



④その他

「5日～9日」及び「30日以上」とともに5.3%となっています。

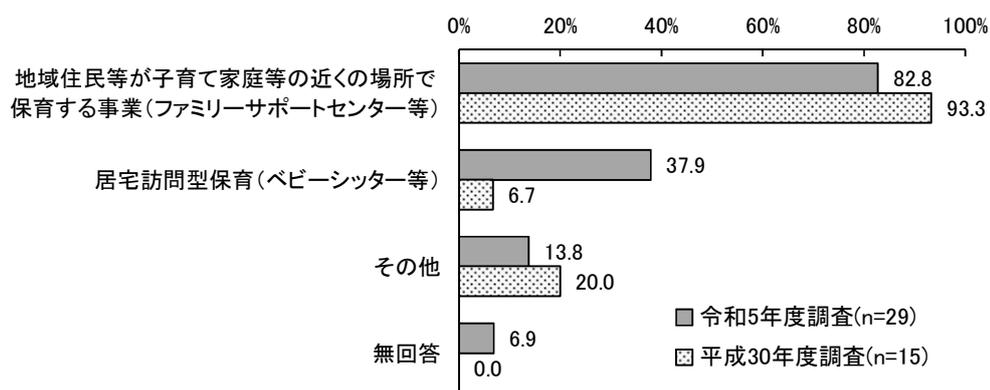


問 10-3 で「特に利用する必要がある」以外を回答した方

問 10-4 お子さんを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまるものをすべて選んでください。

「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（ファミリーサポートセンター等）」82.8%、「居宅訪問型保育（ベビーシッター等）」37.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（ファミリーサポートセンター等）」がやや減り、「居宅訪問型保育（ベビーシッター等）」が増加しています。



問 11 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。子ども短期入所事業（ショートステイ）（児童養護施設「晴香園」で子どもを預かる事業）の利用希望がある場合は、目的ごとに利用したい泊数を選んでください。

いずれも「0泊」が多くなっており、次いで「1～4泊」は「冠婚葬祭」10.6%、「保護者や家族（きょうだい含む）の病気」10.0%、「保護者や家族（きょうだい含む）の育児疲れ・不安」8.4%となっています。「5泊～9泊」は、「保護者や家族の病気」3.3%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」2.2%となっています。

単位：%

(n=1,539)	0泊	1日～4泊	5日～9泊	10泊以上	無回答
冠婚葬祭	80.8	10.6	0.6	0.1	7.9
保護者や家族(きょうだい含む)の育児疲れ・不安	80.6	8.4	2.2	1.0	7.8
保護者や家族(きょうだい含む)の病気	77.8	10.0	3.3	1.1	7.8
その他	91.2	0.5	0.3	0.3	7.8

(6) 子どもの放課後等の過ごし方について

問 12 お子さんは、放課後（平日の小学校終了後）、土曜日、日曜日・祝日、夏休み等の長期休暇期間の時間をどのような場所で過ごしていますか。それぞれの週当たり日数を選んでください。

「4日」以上は自宅が最も多くなっていますが、「5日」では学童保育室が9.3%となっています。「3日」以下では習い事が多く、「2日」は15.4%となっています。

単位：%

(n=1, 539)	利用していない	利用している							無回答
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	
自宅	14.1	3.7	11.6	9.2	7.9	12.2	3.6	29.2	8.4
祖父母宅や友人・知人の家	73.5	8.1	4.0	1.6	1.0	1.9	0.0	1.1	8.8
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)	43.5	11.8	15.4	10.3	6.0	3.2	1.1	0.5	8.3
あびっ子クラブ(子どもの居場所事業)	75.8	6.1	3.2	2.2	0.8	3.2	0.0	0.2	8.3
学童保育室	73.6	0.6	1.4	2.7	4.0	9.3	0.0	0.1	8.4
ファミリーサポートセンター	91.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	8.3
放課後等デイサービス	87.6	0.8	1.1	1.0	0.6	0.5	0.0	0.1	8.3
部活動	86.7	0.6	1.8	2.0	0.4	0.1	0.0	0.1	8.4
その他(公民館、近隣センター、図書館、公園、商業施設等)	75.8	6.2	4.9	2.4	0.6	1.4	0.1	0.2	8.4

【学年別】

「1日」から「7日」の合計をみると、学年が上がるにつれ「自宅」「部活動」が多くなっています。また、学年が下がるにつれ「あびっ子クラブ」「学童保育室」が多くなっています。「習い事」は、7～11歳で5割を超えます。

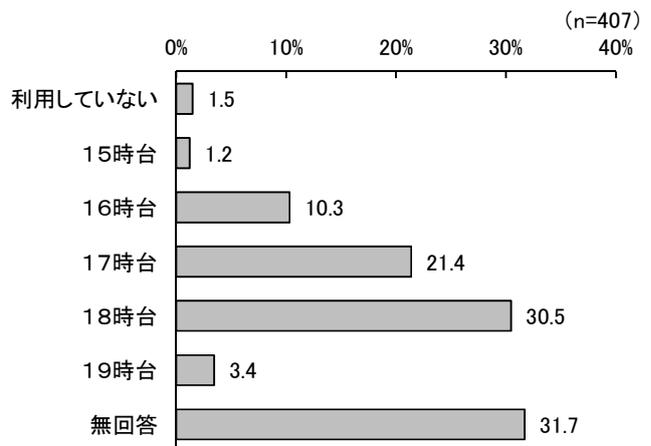
単位：%

	(n=)	自宅	祖父母宅や友人の 知人の家	習い事	あびっ子クラブ	学童保育室	ファミリーサポート センター	放課後等デイ サービス	部活動	その他
6～7歳(1年生)	277	71.1	15.5	43.0	32.9	40.8	0.4	5.4	0.0	16.6
7～8歳(2年生)	281	81.5	19.2	52.3	25.3	27.0	0.4	5.3	0.4	17.1
8～9歳(3年生)	242	84.7	20.2	54.5	16.9	21.1	0.0	6.6	0.8	18.6
9～10歳(4年生)	210	86.2	22.9	60.5	10.5	13.3	0.5	3.3	7.6	15.7
10～11歳(5年生)	243	89.7	20.2	54.7	6.6	2.5	0.0	2.1	15.2	14.4
11～12歳(6年生)	180	88.9	16.1	46.1	1.7	2.2	0.0	2.8	11.1	20.0

問 12 で学童保育室を利用しているとお答えの方

問 12-1 平日の学童保育室の利用について、下校時から何時まで利用していますか。

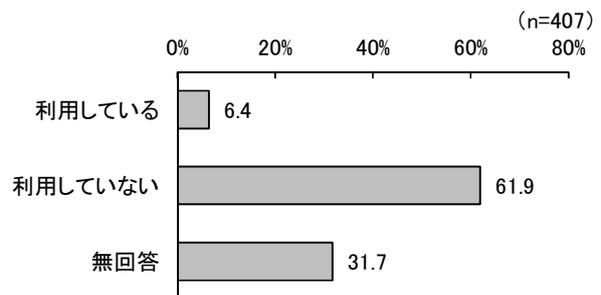
「18 時台」が 30.5%と最も多く、次いで「17 時台」21.4%、「16 時台」10.3%となっています。



問 12 で学童保育室を利用しているとお答えの方

問 12-2 土曜日に学童保育室を利用していますか。

「利用している」6.4%、「利用していない」61.9%となっています。



【学年別】

「利用している」は、7～8歳（2年生）13.3%、9～10歳（4年生）12.5%で1割を超えています。

単位: %

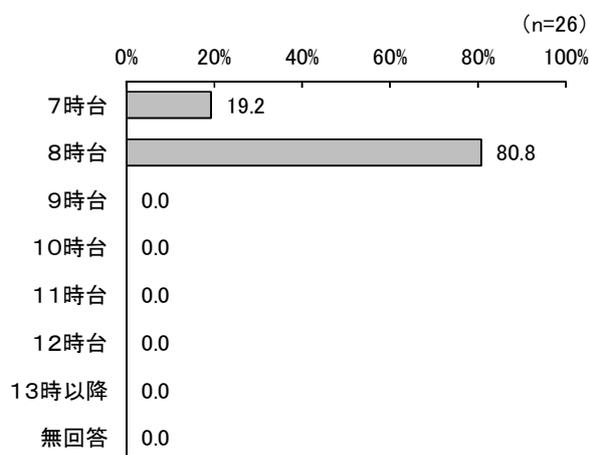
学年	(n=)	利用している	利用していない	無回答
6～7歳(1年生)	120	7.5	86.7	5.8
7～8歳(2年生)	83	13.3	78.3	8.4
8～9歳(3年生)	57	3.5	84.2	12.3
9～10歳(4年生)	32	12.5	75.0	12.5
10～11歳(5年生)	12	0.0	50.0	50.0
11～12歳(6年生)	5	0.0	80.0	20.0

問 12-2 で「利用している」とお答えの方

問 12-3 土曜日は学童保育室を何時から何時まで利用していますか。

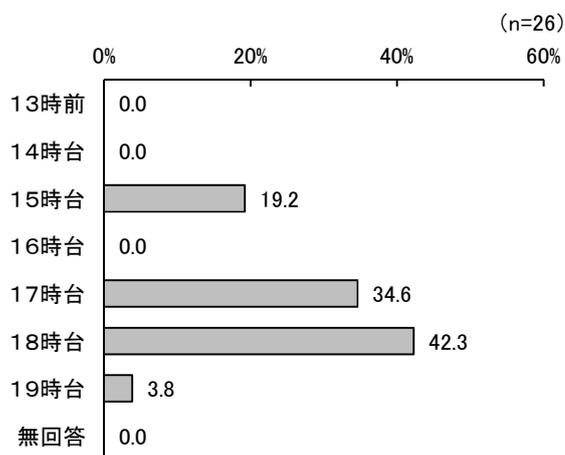
①何時から

「8時台」80.8%、「7時台」19.2%となっています。



②何時まで

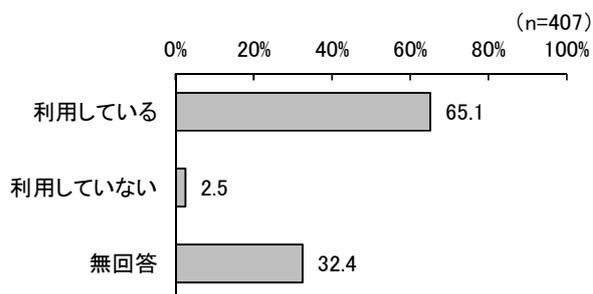
「18時台」42.3%、「17時台」34.6%となっています。



問 12 で学童保育室を利用しているとお答えの方

問 12-4 夏休み等の長期休業期間に学童保育室を利用していますか。

「利用している」65.1%、「利用していない」2.5%となっています。

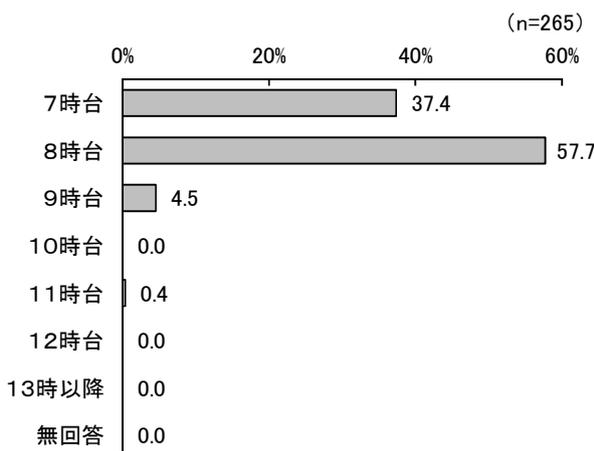


問 12-4 で「利用している」とお答えの方

問 12-5 夏休み等の長期休業期間は学童保育室を何時から何時まで利用していますか。

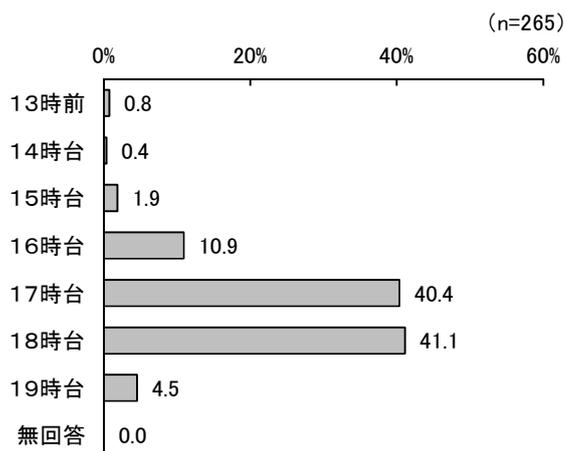
①何時から

「8時台」57.7%、「7時台」37.4%となっています。



②何時まで

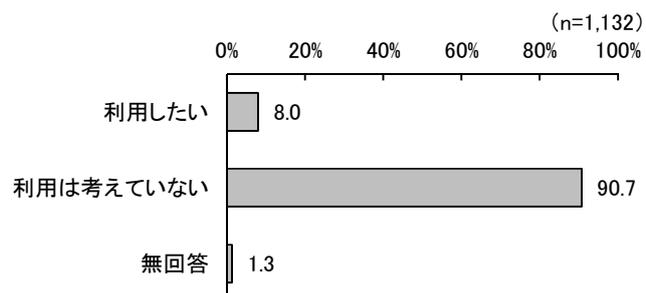
「18時台」41.1%、「17時台」40.4%となっています。



問 12 で学童保育室を「利用していない」とお答えの方

問 12-6 今は利用していないが、今後、学童保育室を利用したいと考えていますか。

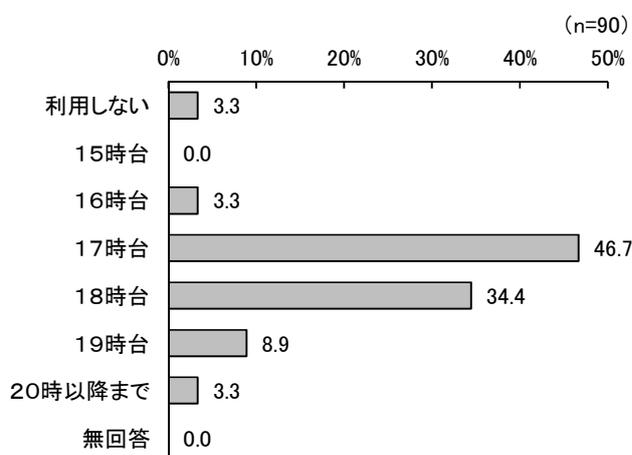
「利用したい」8.0%、「利用は考えていない」90.7%となっています。



問 12-6 で「利用したい」とお答えの方

問 12-7 平日、学童保育室を下校時から何時まで利用したいですか。

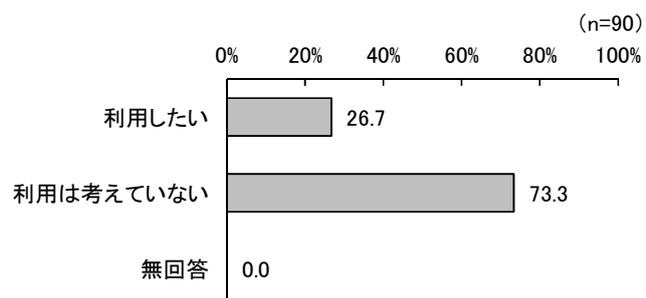
「17 時台」46.7%、「18 時台」34.4%、「19 時台」8.9%となっています。



問 12-6 で「利用したい」とお答えの方

問 12-8 土曜日に学童保育室を利用したいですか。

「利用したい」26.7%、「利用は考えていない」73.3%となっています。

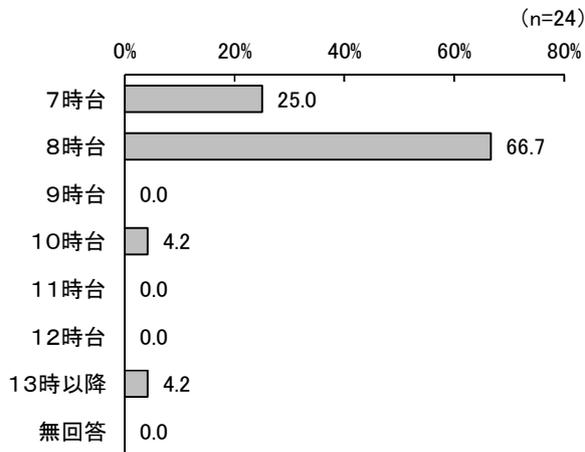


問 12-8 で「利用したい」とお答えの方

問 12-9 土曜日は学童保育室を何時から何時まで利用したいですか。

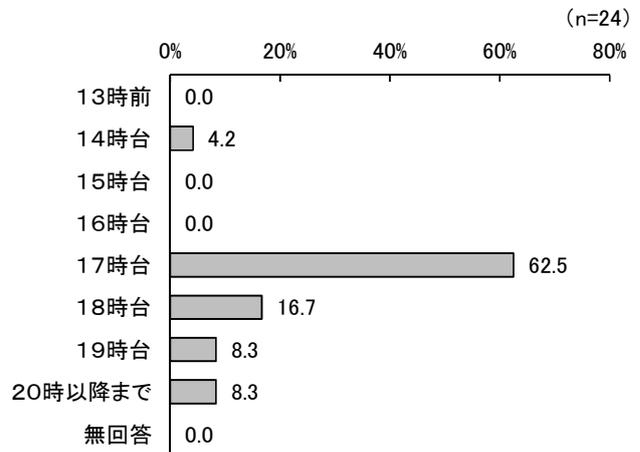
①何時から

「8時台」66.7%、「7時台」25.0%となっています。



②何時まで

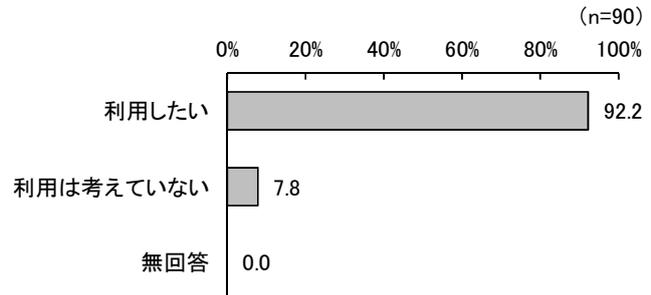
「17時台」62.5%、「18時台」16.7%となっています。



問 12-6 で「利用したい」とお答えの方

問 12-10 夏休み等の長期休業期間に学童保育室を利用したいですか。

「利用したい」92.2%、「利用は考えていない」7.8%となっています。

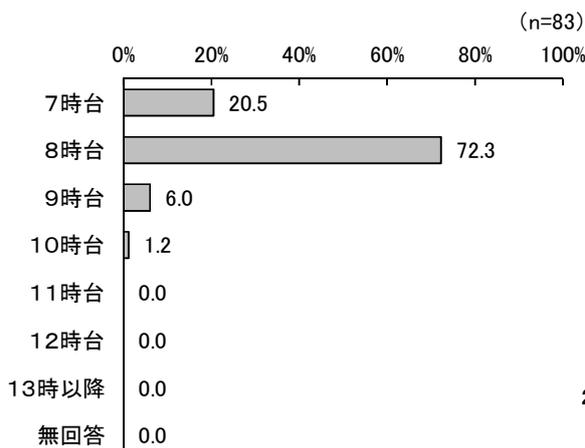


問 12-10 で「利用したい」とお答えの方

問 12-11 夏休み等の長期休業期間に学童保育室を何時から何時まで利用したいですか。

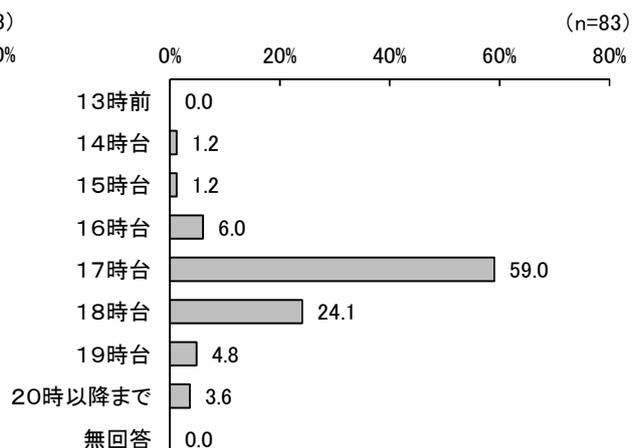
①何時から

「8時台」72.3%、「7時台」20.5%となっています。



②何時まで

「17時台」59.0%、「18時台」24.1%となっています。



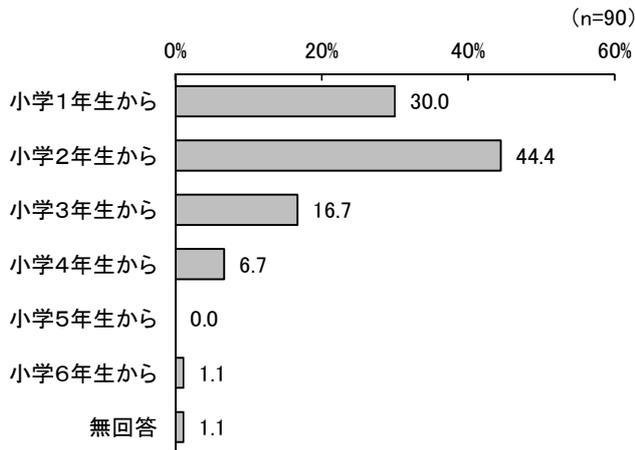
①何年生から：問 12-6 で「利用したい」とお答えの方

②何年生まで：問 12 で学童保育室を利用しているとお答えの方、問 12-6 で「利用したい」とお答えの方

問 12-12 学童保育室は何年生から何年生まで利用したいですか。

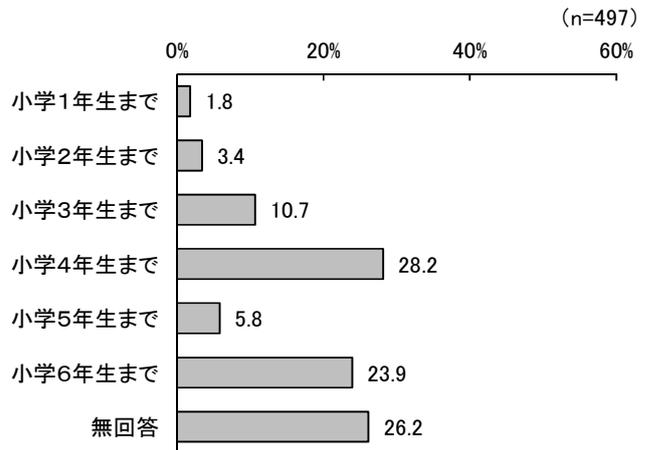
①何年生から

「小学2年生から」44.4%、「小学1年生かた」30.0%、「小学3年生から」16.7%となっています。



②何年生まで

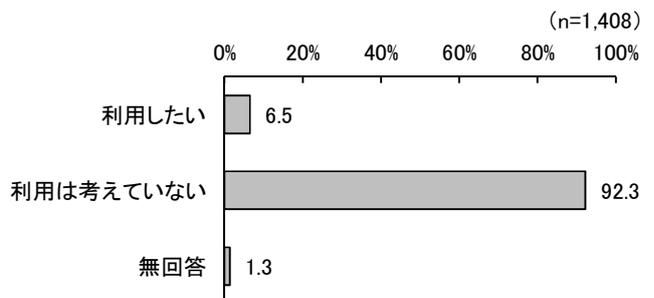
「小学4年生まで」28.2%、「小学6年生まで」23.9%となっています。



問 12 でファミリーサポートセンターを「利用していない」とお答えの方

問 12-13 今は利用していないが、今後、ファミリーサポートセンターを利用したいと考えていますか。

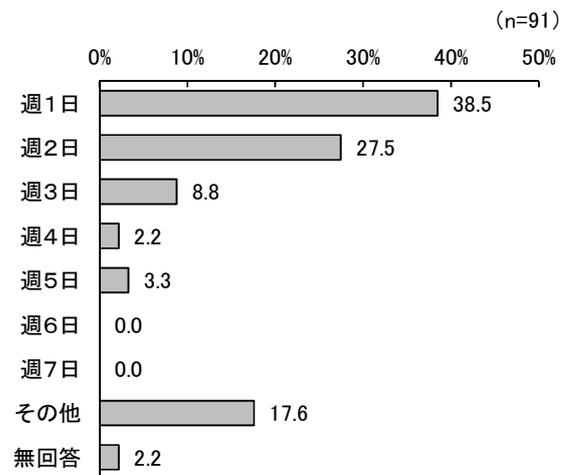
「利用したい」6.5%、「利用は考えていない」92.3%となっています



問 12-3 で「利用したい」とお答えの方

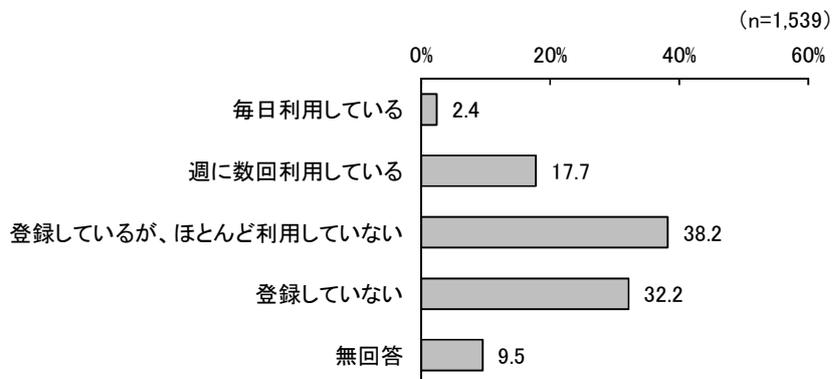
問 12-14 今後、ファミリーサポートセンターをどのくらいの頻度（週何日）で利用したいと考えていますか。

「週 1 回」38.5%、「週 2 回」27.5%となっています。



問 13 あびっ子クラブの利用についてうかがいます。お子さんはあびっ子クラブをどの程度利用していますか。当てはまるものを選んでください。

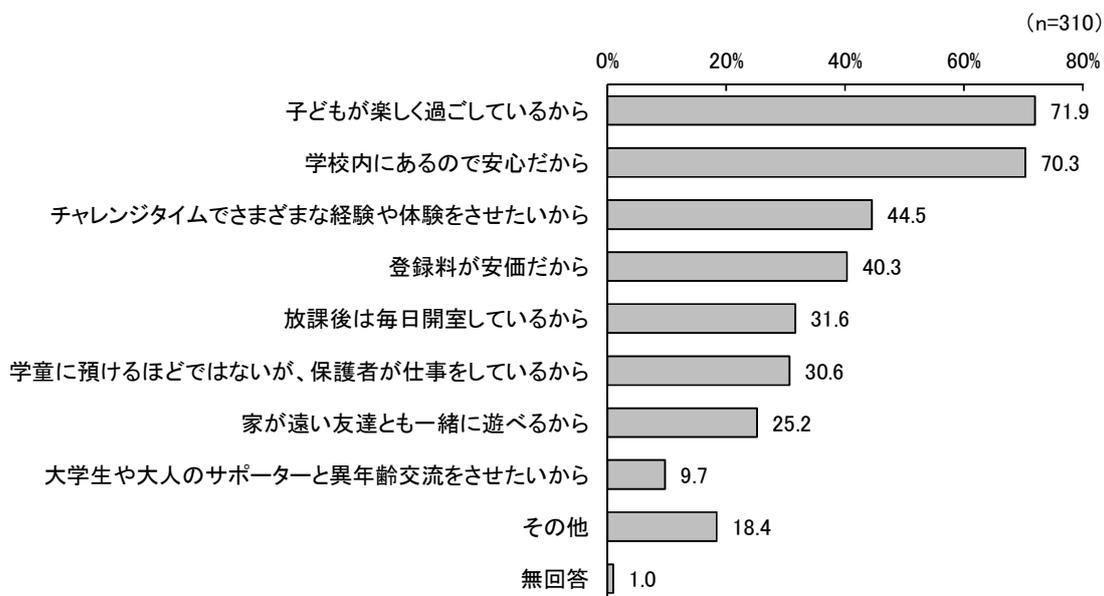
「登録しているが、ほとんど利用していない」38.2%、「登録していない」32.2%、「週に数回利用している」17.7%、「毎日利用している」2.4%となっています。



問 13 で「毎日利用している」「週に数回利用している」とお答えの方

問 13-1 あびっ子クラブをよく利用している理由として、該当するものをすべて選んでください。

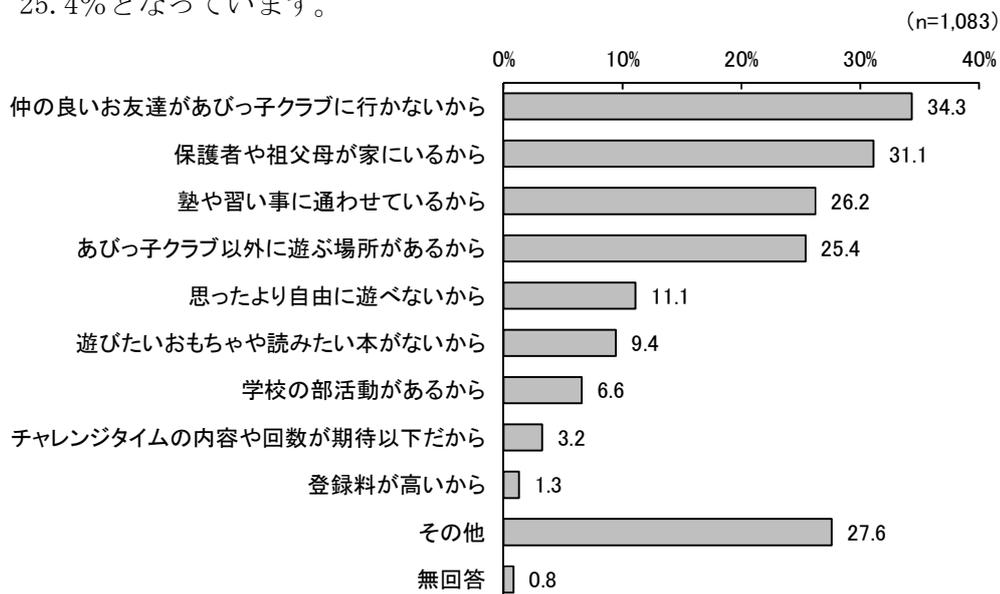
「子どもが楽しく過ごしているから」71.9%、「学校内にあるので安心だから」70.3%、「チャレンジタイムでさまざまな経験や体験をさせたいから」44.5%、「登録料が安価だから」40.3%、「放課後は毎日開室しているから」31.6%、「学童に預けるほどではないが、保護者が仕事をしているから」30.6%となっています。



問 13 で「登録しているが、ほとんど利用していない」「登録していない」とお答えの方

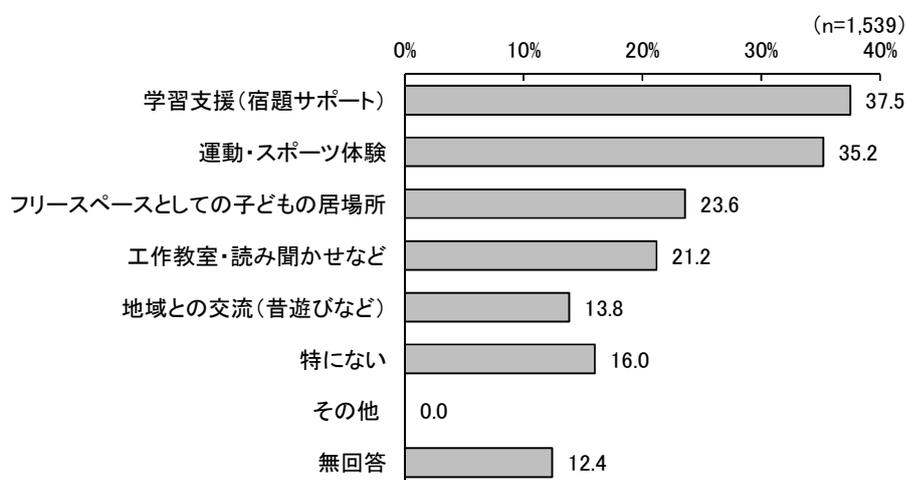
問 13-2 あびっ子クラブを利用していない（あまり利用していない）理由として、該当するものをすべて選んでください。

「仲の良いお友達があびっ子クラブに行かないから」34.3%、「保護者や祖父母が家にいるから」31.1%、「塾や習い事に通わせているから」26.2%、「あびっ子クラブ以外に遊ぶ場所があるから」25.4%となっています。



問 14 あびっ子クラブに今後望むことは何ですか。2つまで選んでください。

「学習支援（宿題サポート）」37.5%、「運動・スポーツ体験」35.2%、「フリースペースとしての子どもの居場所」23.6%、「工作教室・読み聞かせなど」21.2%、「地域との交流（昔遊びなど）」13.8%となっています。



問 15 子育ての環境や支援について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。（助かっているサポートやこんなサポートが欲しいなど）

子育ての環境や支援に関する意見を、自由記入方式でたずねました。384人(全体の25.0%)の回答者から計585件の意見があり、その内容を項目別にまとめると、以下のようになります。意見については、延べ件数でまとめています。

大分類	小分類	回答件数	順位
(1) 幼稚園・保育園・認定こども園等について	①施設整備(保育園の増設、待機児童の解消等)	8	21
	②受け入れの充実(時間外、長期休暇等)	16	9
	③保育料の見直し	8	21
	④入園条件の見直し	9	19
	⑤保育内容の充実	5	33
	⑥人員体制の充実	1	49
	⑦その他	16	9
(2) 小学校について	①教育内容の充実と見直し	2	43
	②登下校時の安全確保	5	33
	③校舎、設備の改修	2	43
	④いじめ	0	53
	⑤給食、給食費	2	43
	⑥PTA、学校と保護者の関わり	4	38
	⑦不登校	8	21
	⑧その他	10	15

(3) 中学校について	①教育内容の充実と見直し	2	43
	②登下校時の安全確保	2	43
	③校舎、設備の改修	1	49
	④いじめ	0	53
	⑤給食、給食費	0	53
	⑥PTA、学校と保護者の関わり	3	40
	⑦不登校	5	33
	⑧その他	2	43
(4) 学童保育室について	①施設整備(保育室の増設、待機児童の解消等)	1	49
	②受け入れの充実(時間外、長期休暇等)	6	29
	③利用料の見直し	6	29
	④利用条件の見直し	5	33
	⑤保育内容、活動内容の充実	7	25
	⑥人員体制の充実	3	40
	⑦その他	32	4
(5) あびっ子クラブについて	あびっ子クラブについて	76	1
(6) 高校、高等教育について	高校、高等教育について	0	53
(7) 子育て支援全般について	①情報発信	6	29
	②相談先の充実	10	15
	③母子保健(健診等)	1	49
	④子育て支援施設	10	15
	⑤一時預かり事業	16	9
	⑥病児・病後児保育事業	15	12
	⑦経済的支援(医療費助成、児童手当等)	26	6
	⑧ひとり親支援	6	29
	⑨障害児支援	15	12
	⑩学習支援	7	25
	⑪その他	36	3
(8) 子育て環境について	①公園の整備	23	8
	②子どもの居場所(公共施設等)の充実	47	2
	③運動施設(プール、サッカー場等)の充実	4	38
	④交通手段	3	40
	⑤歩道の整備	5	33
	⑥安全対策(防犯等)	9	19
	⑦商業施設等	0	53
	⑧医療機関の充実	10	15
	⑨地域のつながり	7	25

(8)子育て環境について	⑩イベントの充実	7	25
	⑪その他	11	14
(9)その他	①市政について	26	6
	②アンケートについて	8	21
	③その他	30	5

